"HIS MASTER'S VOICE" Victor

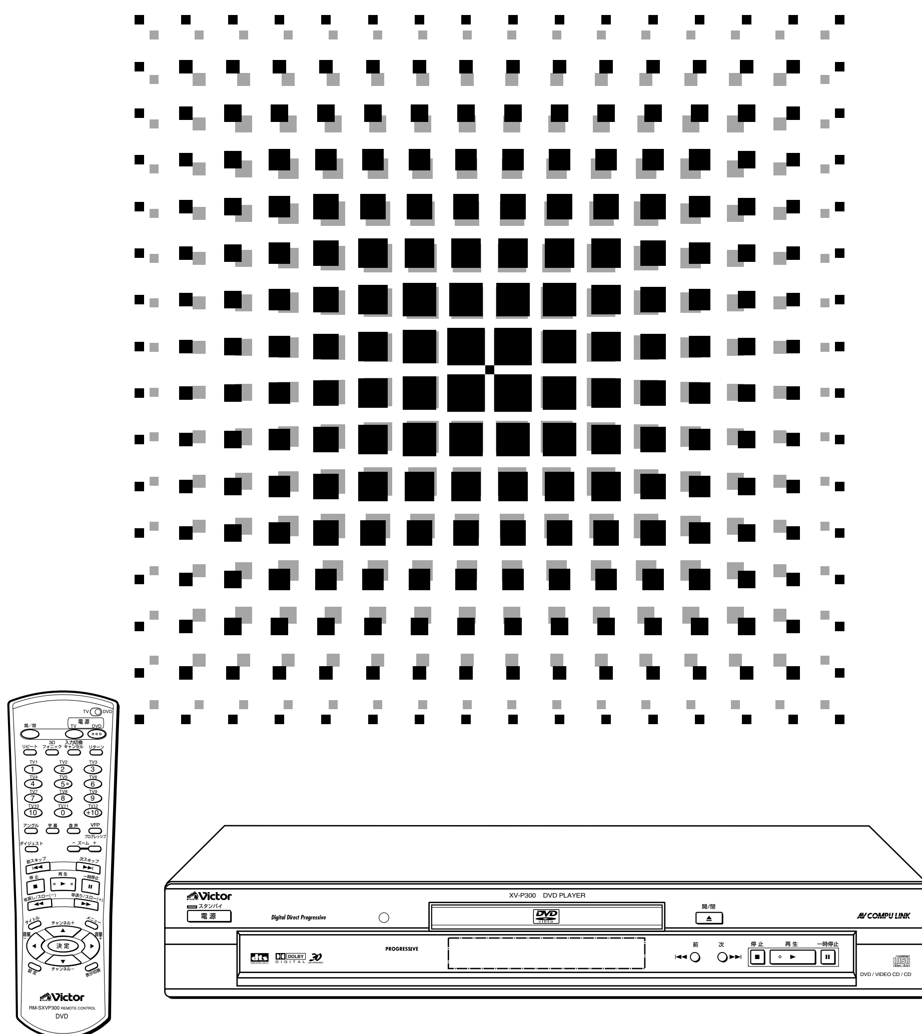
取扱説明書

DVDプレーヤー

型名 XV-P300



DVD PLAYER
XV-P300



お買い上げいただき、ありがとうございます。

⚠ご使用の前に

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に4～7ページの「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

LET0184-003C

もくじ

はじめにお読みください　ページ

予備知識　ページ

準備する　ページ

とりあえず、カンタン操作　ページ

いろいろな再生のしかた　ページ

MP3ディスクの再生　ページ

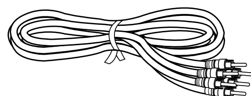
初期設定をする　ページ

ご参考に　ページ

付属品

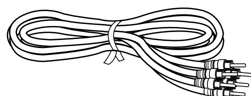
本機には、次の付属品が同梱されています。お使いになる前にお確かめください。

- オーディオ / ビデオコード（1 本）



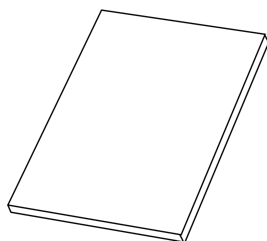
［白赤黄］

- コンポーネント映像コード（1 本）

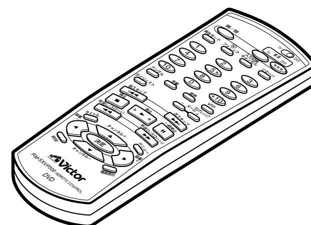


［青緑赤］

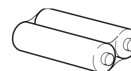
- 取扱説明書（1 冊）



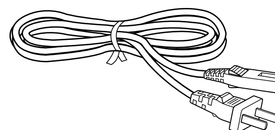
- リモコン : RM-SXVP300（1個）



- 単３形乾電池（2 本）…リモコン動作確認用



- 電源コード（1 本）



安全上のご注意 —はじめにお読みください—

絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。
これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

● この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。

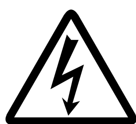
⚠注意

● この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「傷害を負ったり物的損害が想定される」内容を示しています。

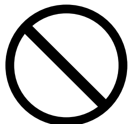
●絵表示の説明

注意をうながす記号

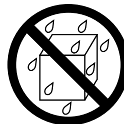

一般的注意


感電

行為を禁止する記号

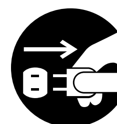

禁止


分解禁止


水ぬれ禁止

行為を指示する記号

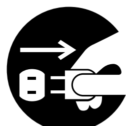

一般的指示

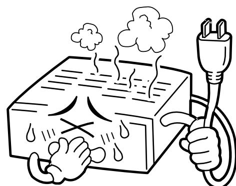

電源プラグを抜く

⚠警告

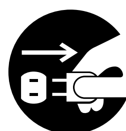
万一、次のような異常が発生したときはすぐ使用をやめる。

● 煙が出ていたりへんなにおいがするとき


電源プラグを抜く



● 内部に水や異物が入ってしまったとき
● 落としたり、破損したとき
● 電源コードが傷んだとき（芯線の露出や断線など）


電源プラグを抜く

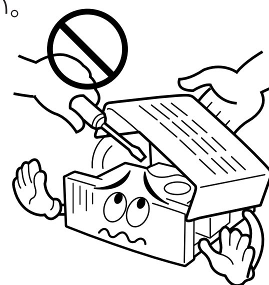


すぐに電源を「切」にし、必ず電源プラグをコンセントから抜いく。
異常が発生したまま使用していると、火災や感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

分解や改造をしない。カバーを外さない。

火災や感電の原因となります。
内部の点検や修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

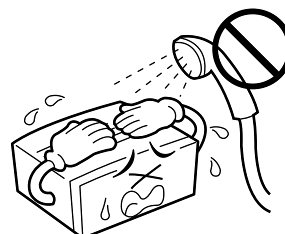

分解禁止



風呂場やシャワー室では使用しない。

本機の中に水が入ると、火災や感電の原因となります。

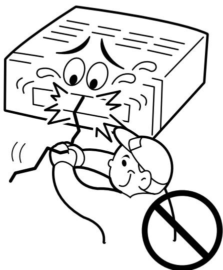

水場での使用禁止



⚠警告

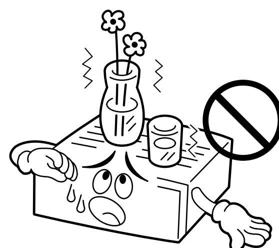
本機の中に物を入れない。

通風孔やディスク挿入口などから、金属物や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。



本機の上に水などの入った容器を置かない。

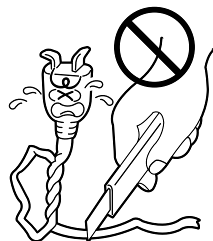
花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など水の入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に水が入った場合は、火災や感電の原因となります。



電源コードを傷つけない。

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。特に、次のことに注意してください。

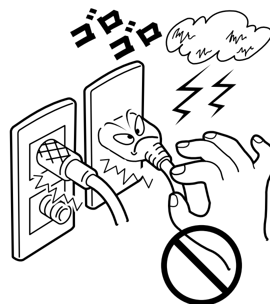
- 電源コードを加工しない
- 電源コードを無理に曲げない
- 電源コードをねじらない
- 電源コードを引っ張らない
- 電源コードを熱器具に近づけない
- 電源コードの上に家具などの重い物をのせない



雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない。

感電の原因となります。

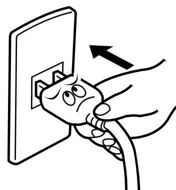

接触禁止



電源プラグは根元まで確実に差し込む。

差し込みが不完全ですと、発熱したりほこりが付着して火災や感電の原因となります。また、たこ足配線も、コードが熱を持ち危険ですのでしないでください。





表示された電源電圧(交流100ボルト)で使用する。

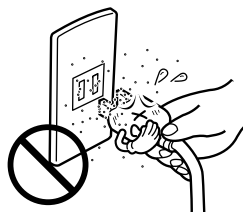
火災の原因となります。
本機を使用できるのは日本国内のみです。

This set is designed for use only in Japan and can not be used in any other country.



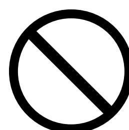
電源プラグは定期的に清掃する。

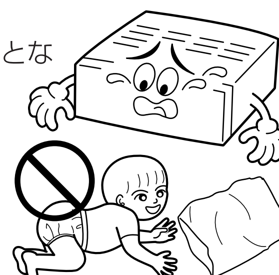
電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを乾いた布で取ってください。



本機の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない。

頭からかぶると窒息の原因となります。

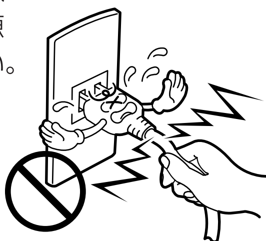




⚠注意

電源プラグは、コードの部分を持って抜かない。

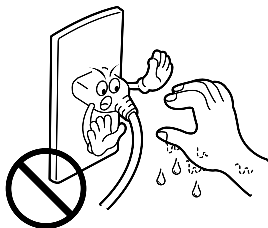
電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。電源プラグを持って抜いてください。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因となることがあります。

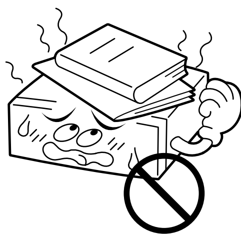

ぬれ手禁止



通風孔をふさいだり、風通しの悪い場所で使用しない。

本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。

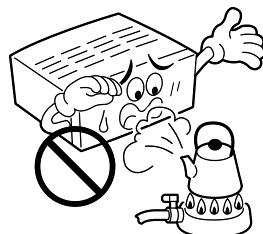
- あお向けや横倒し、逆さまにしない
- 本箱、押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- テーブルクロスを掛けない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- 設置するときは、壁などから10cm以上離す



置き場所に注意する。

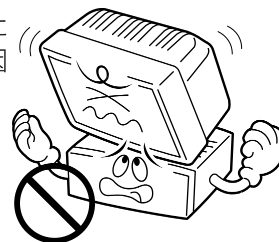
次のような所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる所
- 湿気やほこりの多い所
- 熱器具の近くなど高温になる所
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすい所



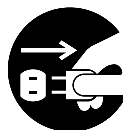
本機の上に重い物を置かない。

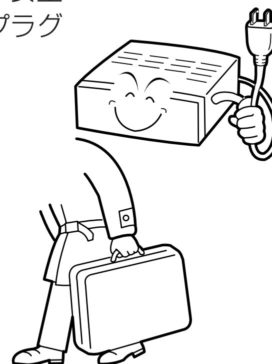
テレビなどの重い物や本機からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。



長期間使用しないときは、電源プラグを抜く。

電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。安全および節電のため、電源プラグを抜いてください。

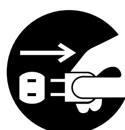

電源プラグを抜く

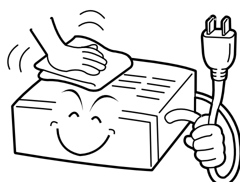


⚠注意

お手入れをするときは、電源プラグを抜く。

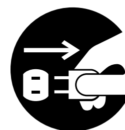
電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。電源プラグがコンセントに接続されていると、感電の原因となることがあります。

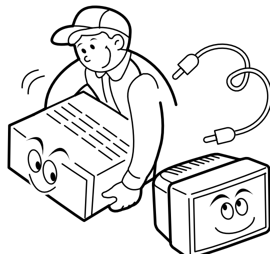

電源プラグを抜く



移動するときは、接続コード類や電源プラグを抜く。

接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

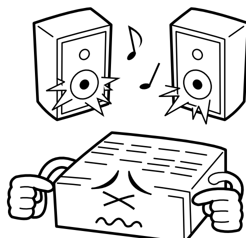

電源プラグを抜く



はじめから音量を上げすぎない。

突然大きな音が出て、スピーカーを破損したり、聴力障害の原因となることがあります。
電源を切る前に接続したテレビやアンプなどの音量（ボリューム）を下げておき、電源が入ってから徐々に上げてください。

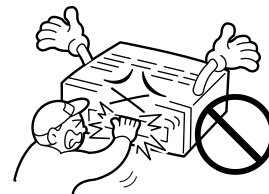




ディスク挿入口に、手を入れない。

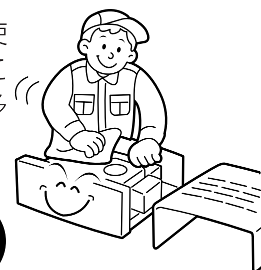
けがの原因になることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。


手を挟まれないよう注意



3年に一度は内部の清掃を販売店に依頼する。

内部にほこりがたまったまま使用すると、火災の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。

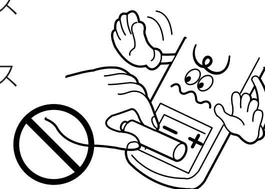




電池の取り扱いに注意する。

電池の取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災・けがや周囲を汚す原因となることがあります。次のことに注意してください。

- 指定以外の電池を使用しない
- 電池のプラス（＋）とマイナス（－）を間違えない
- 電池のプラス（＋）とマイナス（－）をショートさせない
- 電池を加熱しない
- 分解しない
- 火や水の中に入れない
- 新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池と混ぜて使用しない
- 乾電池は充電しない
- 長期間使わないときは、電池を取り出しておく



もし、電池が液もれをしてしまったときは、電池ケースについた液をよく拭きとってください。万一、もれた液体が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

使用上のご注意

設置場所

本機は5℃から35℃までの温度で使用できるように設計されています。これを超える温度の環境で使用すると、誤動作したり、故障の原因となります。特に、次のような環境は避けてください。

- 直射日光が当たるところ
- アンプの上など高温になるところ

テレビやラジオの受信状態が悪くなったら…

- 本機を遠ざけてください。本機は、テレビやラジオなど電波を受信する機器の近くに設置すると、受信に影響を及ぼすことがあります。

本機の移動

- 寒いところから急に暖かいところへ移動すると、移動した直後正常に働かないことがあります。これは内部に露が発生したためです。電源を「入」にしたまま約１～２時間すれば正常な状態になります。
- 本機を移動するときは、ディスクを取り出しておいてください。入れたまま移動すると、ディスクが本機の中へ入り込み、取り出せなくなったり、故障の原因となります。

壊れたディスクや特殊形状のディスクは入れないで

- ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したような壊れたディスクや、ハート型や八角形など、特殊形状のディスク（シェイプCDなど）は本機に入れないでください。故障の原因となることがあります。

外装の清掃

- 本機のカバーなど外装の清掃には、乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。シンナーやベンジンなど揮発性のものは絶対に使用しないでください。「くもり」「変色」の原因となります。

商標と著作権

- 本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。DOLBY DIGITAL、Dolby、ドルビー、ダブルD記号 DD、およびドルビーデジタルは、ドルビーラボラトリーズの商標です。
  非公開機密著作物。著作権 1992-1997 年ドルビーラボラトリーズ社。不許複製。
- 本機はデジタルシアターシステムズ社からの実施権に基づき製造されています。
  dts DIGITAL OUT、DTS および DTS Digital Surround は、デジタルシアターシステムズ社の商標です。
  著作権 1996 年デジタルシアターシステムズ社。不許複製。
- 本機はコピープロテクション技術が採用されています。このコピープロテクション技術は、マクロビジョン社やそのほか権利者が米国などで特許等の知的財産権を所有しており、この技術を使用する際にはマクロビジョン社のライセンスが必要となります。マクロビジョン社が認めない限り、家庭をはじめとする限られた範囲での視聴目的以外にはこの技術の使用はできません。また、改造または分解 、リバースエンジニアリングは禁止されています。
- ディスクを著作権者に無断で複製したり放送、上映、演奏、レンタルすることは、法律により禁止されています。
- DVD ビデオのロゴは商標です。

本取扱説明書について

- 本取扱説明書では、以下のように機能操作の説明をしています。
- MP3 ディスク * の再生については「MP3 ディスクの操作」（50 ページ～52 ページ）にまとめて説明します。「とりあえず、カンタン操作」（26 ページ～29 ページ）と「いろいろな再生のしかた」（30 ページ～49 ページ）では MP3 ディスク以外のディスクの再生について説明します。

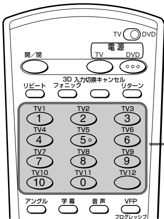
*MP3ディスクとは...
MP3は、音声情報圧縮の国際規格で「MPEG-1 Audio Layer-3」の略です。元の音声データの音質を大きく損なうことなく約1/10に圧縮することができるシステムです。このMP3フォーマットで記録したCD-R/CD-RWディスクを、本機では「MP3ディスク」と呼んでいます。

再生するところを番号で指定する



機能を使えるディスクのタイプをシンボル表示しています。

DVD ビデオのタイトルやチャプター、オーディオ CD/ビデオ CD のトラックを指定し、そこから再生を始めることができます



指しているボタンが、以下の説明中のこの手順で使われます。
なお、本体に同じ働きのボタンがある場合は、そちらを使うこともできます。

■ DVDビデオ　：いつでも
オーディオ CD　：いつでも
ビデオ CD　：停止中または PBC オフで再生中に

操作の手順番号です。

1 数字ボタンを使って番号を指定する

とくに明記していないかぎりリモコンのボタン名です。

ディスクの種類および本機の動作状態によって、指定する項目が異なります。

動作状態	ディスク種類	指定される項目
停止中	DVDビデオ	タイトルまたはチャプター*1
	オーディオCD/ビデオCD	トラック
再生中	DVDビデオ	チャプター
	オーディオCD/ビデオCD	トラック

*1 ディスクにタイトルが複数ある場合はタイトル指定、1つしかない場合はチャプター指定になります。

- 数字ボタンの使いかたについては、17 ページをご覧ください。

指定した番号が本体ディスプレイに表示され、そこから再生が始まります（ダイレクト再生）。

ディスプレイ（表示窓）

GROUP TITLE TRACK CHAP
0501

補足説明、別の操作方法など



・オンスクリーン画面上にも指定した番号が表示されます。

追加情報、ちょっとした注意事項など

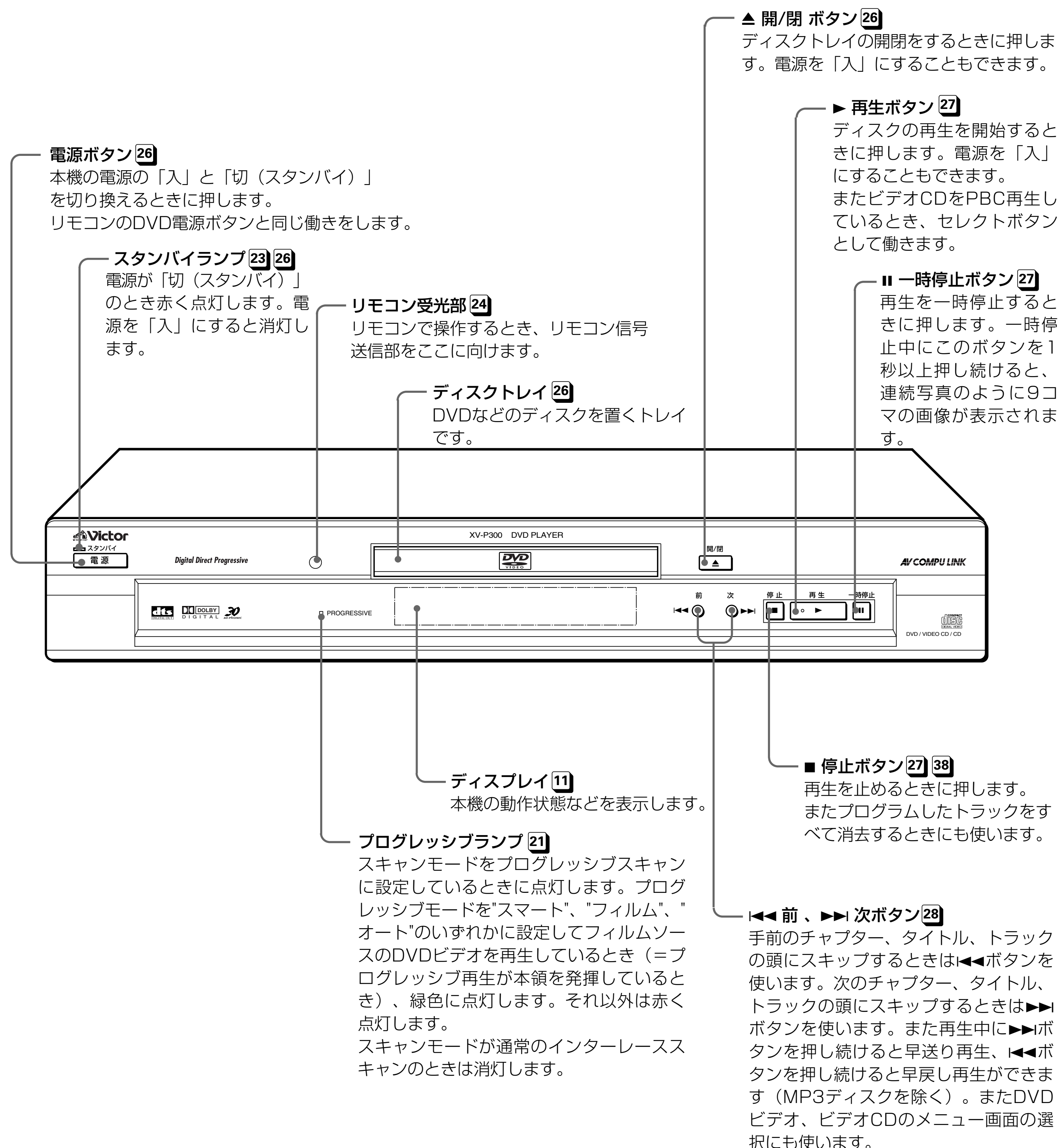
〈お知らせ〉

- **手順 1 で ⃠ が表示されたときは**
  押した番号のタイトルあるいはトラックが収録されておりません。

各部の名前

❑ 内の数字のページに説明があります。

本体前面



▲ 開/閉 ボタン 26
ディスクトレイの開閉をするときに押します。電源を「入」にすることもできます。

► 再生ボタン 27
ディスクの再生を開始するときに押します。電源を「入」にすることもできます。
またビデオCDをPBC再生しているとき、セレクトボタンとして働きます。

電源ボタン 26
本機の電源の「入」と「切（スタンバイ）」を切り換えるときに押します。
リモコンのDVD電源ボタンと同じ働きをします。

スタンバイランプ 23 26
電源が「切（スタンバイ）」のとき赤く点灯します。電源を「入」にすると消灯します。

リモコン受光部 24
リモコンで操作するとき、リモコン信号送信部をここに向けます。

II 一時停止ボタン 27
再生を一時停止するときに押します。一時停止中にこのボタンを1秒以上押し続けると、連続写真のように9コマの画像が表示されます。

ディスクトレイ 26
DVDなどのディスクを置くトレイです。

ディスプレイ 11
本機の動作状態などを表示します。

■ 停止ボタン 27 38
再生を止めるときに押します。
またプログラムしたトラックをすべて消去するときにも使います。

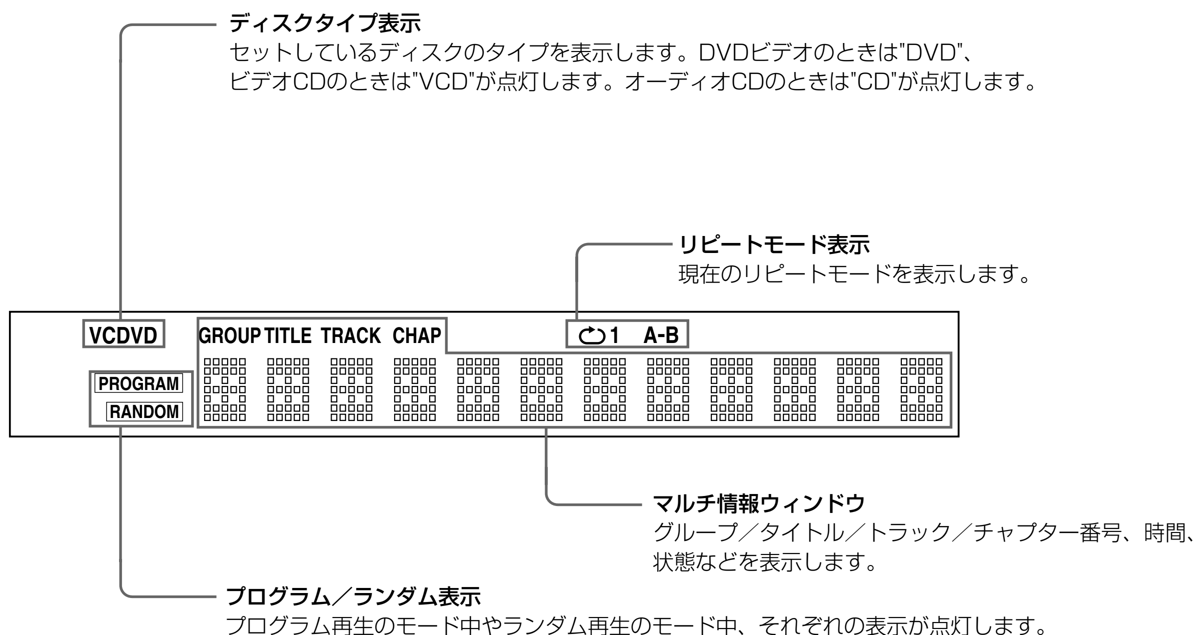
プログレッシブランプ 21
スキャンモードをプログレッシブスキャンに設定しているときに点灯します。プログレッシブモードを"スマート"、"フィルム"、"オート"のいずれかに設定してフィルムソースのDVDビデオを再生しているとき（＝プログレッシブ再生が本領を発揮しているとき）、緑色に点灯します。それ以外は赤く点灯します。
スキャンモードが通常のインターレーススキャンのときは消灯します。

I◄◄ 前 、►►I 次ボタン 28
手前のチャプター、タイトル、トラックの頭にスキップするときはI◄◄ボタンを使います。次のチャプター、タイトル、トラックの頭にスキップするときは►►Iボタンを使います。また再生中に►►Iボタンを押し続けると早送り再生、I◄◄ボタンを押し続けると早戻し再生ができます（MP3ディスクを除く）。またDVDビデオ、ビデオCDのメニュー画面の選択にも使います。

ディスプレイ

ディスクタイプ表示
セットしているディスクのタイプを表示します。DVDビデオのときは"DVD"、ビデオCDのときは"VCD"が点灯します。オーディオCDのときは"CD"が点灯します。

リピートモード表示
現在のリピートモードを表示します。



マルチ情報ウィンドウ
グループ／タイトル／トラック／チャプター番号、時間、状態などを表示します。

プログラム／ランダム表示
プログラム再生のモード中やランダム再生のモード中、それぞれの表示が点灯します。

本体背面

デジタル音声出力（PCM/ストリーム）端子 23
デジタルの音声信号が出力される端子です。
光端子と同軸端子を装備しています。

映像端子 20
映像信号（コンポジット）が出力される端子です。

コンポーネント映像端子 21
コンポーネント映像信号が出力される端子です。

D1/D2端子 21
コンポーネント映像信号が出力される端子です。

AVコンピュリンク端子 62
ビクター製のテレビやアンプなどを機器どうし接続することにより、複雑な切り換えが自動的に行なわれるようにするための端子です。

～AC IN（電源）端子 23
付属の電源コードを使って、交流100Vの家庭用コンセントと接続します。

PCM/ストリーム　光　同軸　デジタル音声出力
右・R　左・L　音声出力
映像　S1映像　D1/D2　コンポーネント映像　Y　CB/PB　CR/PR　映像出力
AVコンピュリンク
～AC IN

S1映像出力端子 20 21
S1映像信号が出力される端子です。

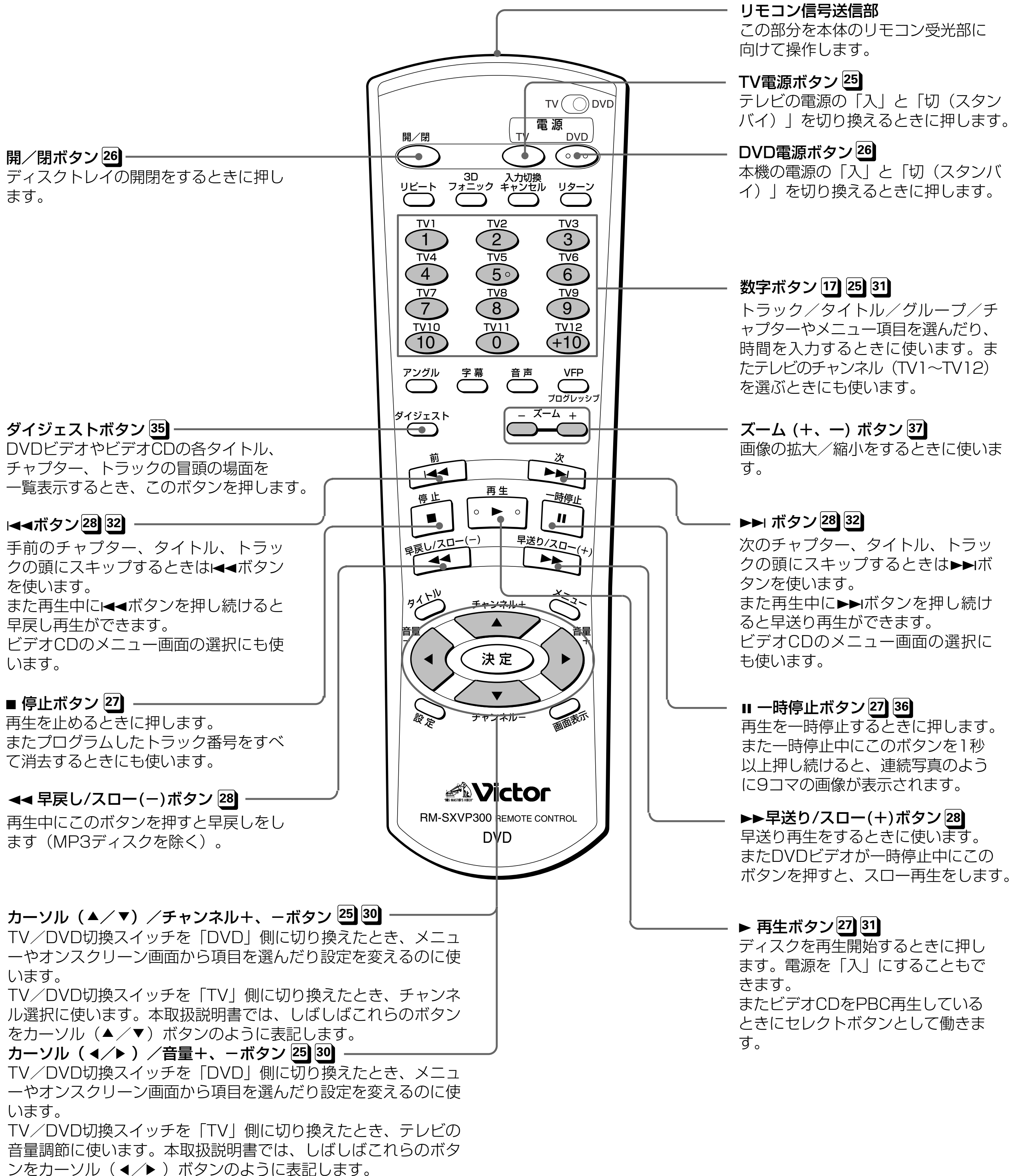
リージョン番号表示 18

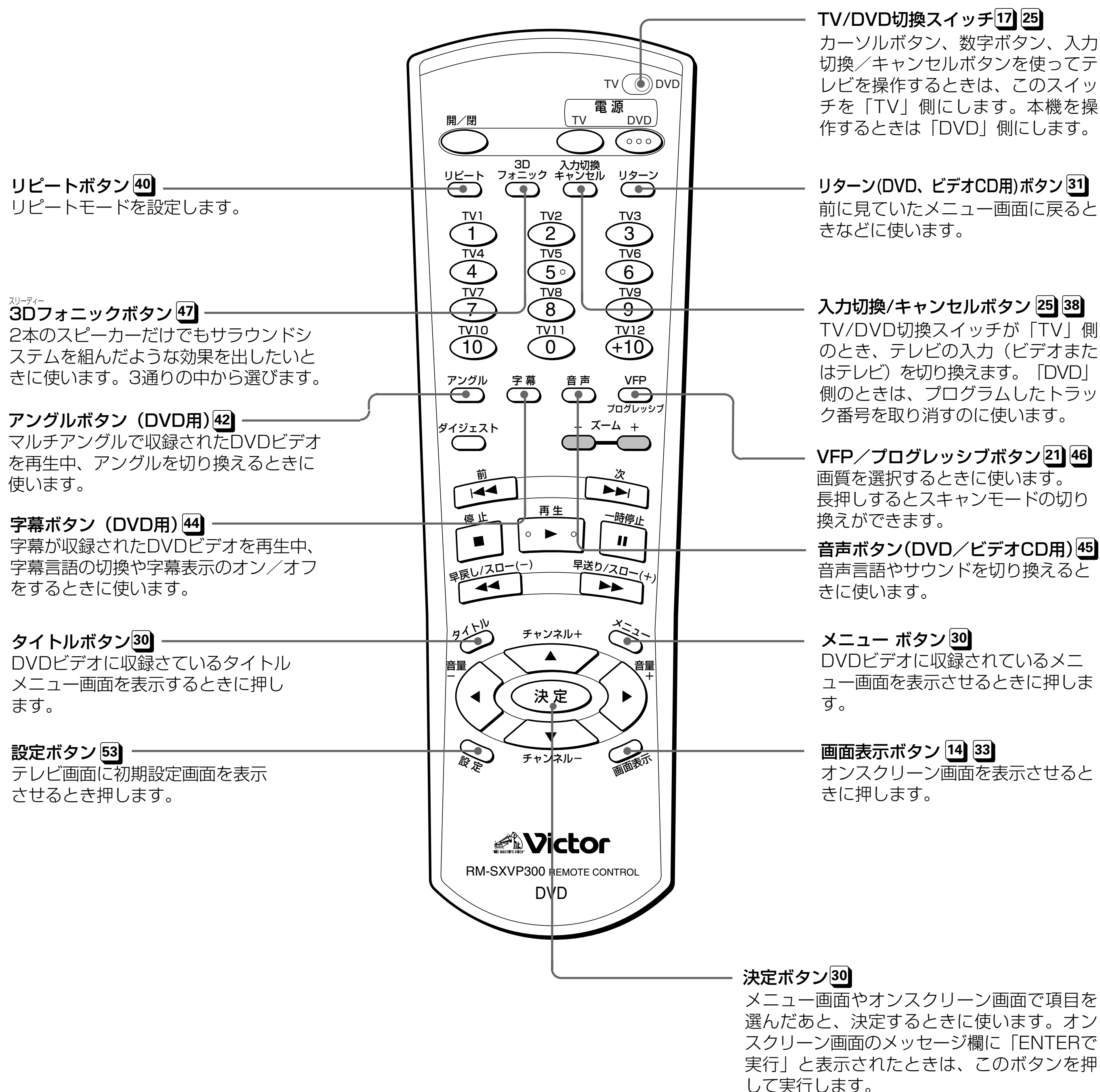
音声出力端子（右・R、左・L）20 21 22 23
アナログのステレオ音声が出力される端子です。

各部の名前（つづき）

❑ 内の数字のページに説明があります。

リモコン（RM-SXVP300）





TV/DVD切換スイッチ 17 25
カーソルボタン、数字ボタン、入力切換／キャンセルボタンを使ってテレビを操作するときは、このスイッチを「TV」側にします。本機を操作するときは「DVD」側にします。

リピートボタン 40
リピートモードを設定します。

リターン(DVD、ビデオCD用)ボタン 31
前に見ていたメニュー画面に戻るときなどに使います。

3D(スリーディー)フォニックボタン 47
2本のスピーカーだけでもサラウンドシステムを組んだような効果を出したいときに使います。3通りの中から選びます。

入力切換/キャンセルボタン 25 38
TV/DVD切換スイッチが「TV」側のとき、テレビの入力（ビデオまたはテレビ）を切り換えます。「DVD」側のときは、プログラムしたトラック番号を取り消すのに使います。

アングルボタン（DVD用） 42
マルチアングルで収録されたDVDビデオを再生中、アングルを切り換えるときに使います。

VFP／プログレッシブボタン 21 46
画質を選択するときに使います。
長押しするとスキャンモードの切り換えができます。

字幕ボタン（DVD用） 44
字幕が収録されたDVDビデオを再生中、字幕言語の切換や字幕表示のオン／オフをするときに使います。

音声ボタン(DVD／ビデオCD用) 45
音声言語やサウンドを切り換えるときに使います。

タイトルボタン 30
DVDビデオに収録さているタイトルメニュー画面を表示するときに押します。

メニュー ボタン 30
DVDビデオに収録されているメニュー画面を表示させるときに押します。

設定ボタン 53
テレビ画面に初期設定画面を表示させるとき押します。

画面表示ボタン 14 33
オンスクリーン画面を表示させるときに押します。

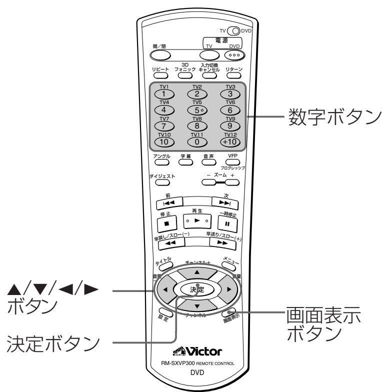
決定ボタン 30
メニュー画面やオンスクリーン画面で項目を選んだあと、決定するときに使います。オンスクリーン画面のメッセージ欄に「ENTERで実行」と表示されたときは、このボタンを押して実行します。

操作上の予備知識

本機を操作する上で、あらかじめ知っておいていただきたいことがらを説明します。（☞で示されたページは関連する説明のあるページです）

オンスクリーン画面

本機で使われているオンスクリーン画面を紹介します。オンスクリーン画面では初期設定やあまり頻繁に使わない機能を扱います。



オンスクリーン画面での基本操作

- カーソル（▲/▼/◀/▶）ボタンを使って を移動することができます。
- ◁ 1 / 3 ▷ のような表示項目では、 を項目に合わせ、カーソル（◀/▶）ボタンを使って設定を変更します。
- リピート の形の項目では、 を項目に合わせ、決定ボタンを押すと、その機能が働きます。
- メッセージ欄には、 が指している項目の操作方法などが表示されます。
- 数字入力をするときは、数字ボタンを使います。
- 入力を確定する必要があるときは、決定ボタンを押します。
- 通常画面に戻すには 、画面表示ボタンを押します。



オープニング画面

本機の電源をオンにした直後など、特定の状況で自動的に表示されます。

左の画面はディスクが入っていない状態で本機の電源を「オン」にしたときに現れます。

ディスクが入っていて本機が停止状態のとき、ディスクの種類に応じて以下のオープニング画面が表示されます。オーディオCDなど画像が収録されていないディスクでは、再生を始めてもオープニング画面が消えません。

（DVD ビデオが入っているとき）

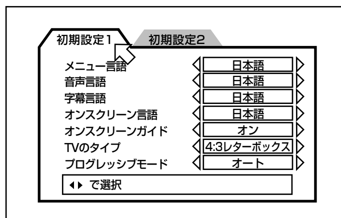


（オーディオ CD が入っているとき）



（ビデオ CD が入っているとき）



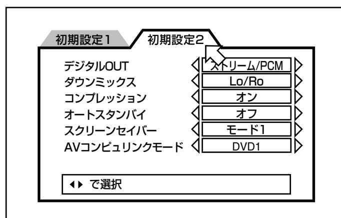


初期設定 1、2 の設定☞ 53 ページ

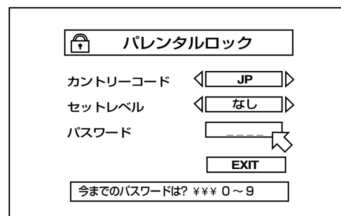
初期設定をするオンスクリーン画面です。

設定画面を表示するには

1　DVD ビデオが入っていて停止しているか、またはディスクが入っていないときに、設定ボタンを押します。



2　カーソル（◀/▶）ボタンを使って希望する画面のタグに を合わせて画面を切り換えます。

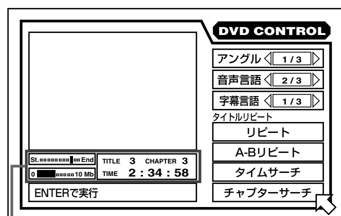


パレンタルロック ☞ 58 ページ

視聴制限を行なうオンスクリーン画面です。

パレンタルロックを設定するためのオンスクリーン画面を呼び出すには

DVD ビデオ停止中またはディスクが入っていない状態で、■停止ボタンを押しながら決定ボタンを押します。



再生中のタイトルの進行状況（St: はじまり / End: 終わり）

再生中のタイトル番号

再生中のチャプター番号

St. End
0 10 Mb
TITLE 3
CHAPTER 3
TIME 1 : 34 : 58

転送レート表示
緑色の部分がビデオの転送レート、黄色の部分がオーディオの転送レートを表します

再生中のタイトルの経過時間

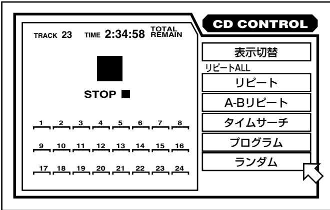
DVD ビデオコントロール

DVD ビデオの各種機能の設定／選択をします。DVD ビデオ再生中のみ表示できます。

DVD ビデオコントロールのオンスクリーン画面を表示するには

DVD ビデオ再生中に画面表示ボタンを押します。

操作上の予備知識（つづき）

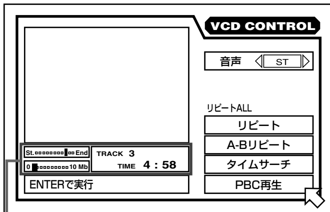


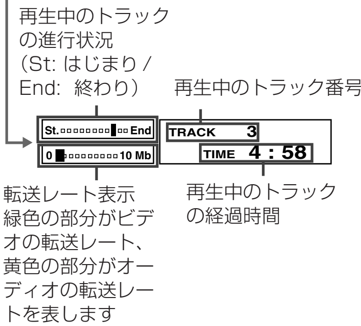
オーディオ CD コントロール

オーディオ CD の各種機能の設定／選択をします。オーディオ CD が入っているときはいつでも表示できます。

オーディオ CD コントロールのオンスクリーン画面を表示するには

オーディオ CD 再生中または停止中に画面表示ボタンを押します。



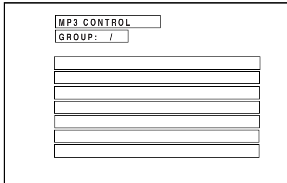


ビデオ CD コントロール

ビデオ CD の各種機能の設定／選択をします。ビデオ CD の場合、再生中と停止中でオンスクリーン画面が異なります。再生中は左のような画面が表示されます。また停止中は、オーディオ CD 停止中と同じようなオンスクリーン画面になります。

ビデオ CD コントロールのオンスクリーン画面を表示するには

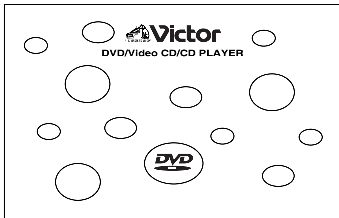
ビデオ CD 再生中または停止中に画面表示ボタンを押します。
本機の動作状態に応じて、上記のいずれかの画面が表示されます。



MP3 ディスクコントロール ☞ 50 ページ

MP3ディスクの再生機能の設定／選択をします。MP3ディスクを読み込むと、自動で表示されます。

画面の焼き付きを防ぐ[スクリーンセーバー]

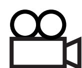


長い時間、静止画を映していると、テレビ画面が焼き付きを起こし静止画の残像が残ってしまうことがあります。これを防止するために本機は、スクリーンセーバー機能を備えています。オンスクリーン画面表示中、停止中、メニュー再生中など静止画が表示されてから５分以上何も操作しないと、画面が暗くなるか、動画が表示されます。動画はオンスクリーン画面の「初期設定２」の［スクリーンセーバー］で設定します。またスクリーンセーバー機能はいずれかの操作ボタンを押すと解除され、前の画面に戻ります。

☞ 57 ページ

再生中に通常画面に出る表示

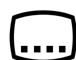
DVDディスクを再生していると、再生している映像に重ねてマークが表示されることがあります。それぞれ次のような意味があります。



マルチアングルで収録されたところの頭で表示されます。再生中にこの表示が出たら、[アングル]を切り換えることができます。
42 ページ



複数の音声が収録されたところの頭で表示されます。再生中にこの表示が出たら、[音声言語]を切り換えることができます。
45 ページ



複数の字幕が収録されたところの頭で表示されます。再生中にこの表示が出たら、[字幕言語]を切り換えることができます。
44 ページ

これらを表示しないようにすることもできます。設定の操作は「初期設定1」のオンスクリーンガイドで行ないます。54 ページ

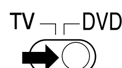
操作中に⃠が表示されたら…

操作をしたときに⃠が表示されたら、その操作は無効です。ディスクによっては⃠が表示されなくても操作が無効となることもあります。

ディスクによって早送り、早戻し、スローモーション再生などいくつかの操作ができないように収録されたディスクがあります。この場合も操作が無効となります。

数字ボタンの使いかた

数字ボタンの働きはTV/DVD切換スイッチの設定によって変わります。「DVD」側に切り換えたときはタイトルやトラックまたはグループ番号を選んだり、時間やチャプター番号を選ぶのに使います。「TV」側に切り換えたときは、テレビチャンネルを選ぶのに使います。



タイトル、トラック、グループ番号を選ぶには

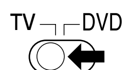
- **1～10を選ぶには**
  その番号の数字ボタンを押す。
- **11以上を選ぶには**
  +10ボタンを先に押してから1～10のボタンを押す。

例：13番を選ぶには........ +10 ➡ 3
24番を選ぶには .... +10 ➡ +10 ➡ 4
40番を選ぶには .... +10 ➡ +10 ➡ +10 ➡ 10

＊ MP3ディスクのときは別の方法を使います。
51 ページをご覧ください。

時間やチャプター番号を選ぶには

タイムサーチ機能での時間入力やチャプターサーチ機能でのチャプター番号入力は、上記と別のやりかたです。1～9、0の数字ボタンを使います。それぞれの機能説明をご覧ください。



テレビチャンネルを選ぶには

TV／DVD切換えスイッチを「TV」側に切り換えたあと、その番号の数字ボタンを押します。11チャンネルは 0 (TV11) ボタン、12チャンネルは +10 (TV12) ボタンを使います。

ディスクの予備知識

本機で再生できるディスク

本機で再生できるディスクは以下の通りです。

再生できるディスク	記録内容	ディスクの大きさ
DVD ビデオ	音声＋映像	12 センチ
		8 センチ
ビデオ CD	音声＋映像	12 センチ
		8 センチ
オーディオ CD	音声	12 センチ
		8 センチ

● 音楽用のCDフォーマットあるいはMP3フォーマットで記録したCD-R、CD-RWディスクも再生できます。ただし記録状態やディスクの特性により再生できないこともあります。

再生できないディスク

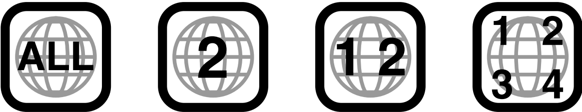
・DVD-ROM　・DVD-RAM　・DVD-R　・DVD-RW　・CD-ROM
・フォトCD

● これらのディスクを再生することはできません。誤って再生すると、ノイズが発生することがあります。また、発生したノイズによってスピーカーを破損することがあります。
CD-G、CD-EXTRA、CD TEXT の場合、音声のみ再生できます。

リージョン番号（ローカル番号）について

DVD ビデオにはリージョン番号と呼ばれる、再生可能地域番号がついています。この番号がＤＶＤ ビデオプレーヤーのリージョン番号と合致しないと再生できません。**本機のリージョン番号は「2」ですので、DVD ビデオのディスク上に「2」という番号が含まれているディスクに限り再生することができます。**

・本機で再生できる DVD ビデオの表示例



テレビ方式について

本機は日本やアメリカなどのテレビ方式であるNTSCに適合しています。NTSC以外のTV方式（PAL 等）用の DVD/ ビデオ CD は、NTSC 方式に変換して再生します。

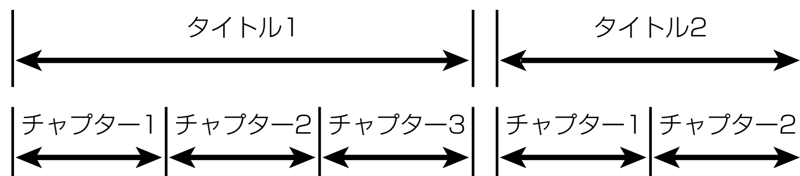
〈お知らせ〉

- DVDおよびビデオCDは、ソフト製作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機は、ソフト製作者が意図したディスク内容に従って再生をしますので、操作した通りに機能が働かないことがあります。
- NTSC以外のTV方式で収録されたDVD/ビデオCDを再生する場合、本機のスキャンモードをプログレッシブスキャンに設定しても、プログレッシブ再生機能が働きません。
☞ 21 ページ

ディスクの構成

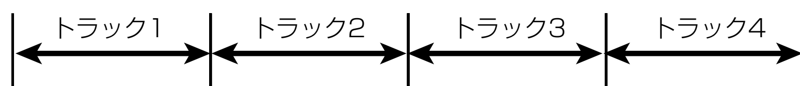
一般的に DVD ビデオは、タイトルと呼ばれる大きな単位で構成されています。それぞれのタイトルには番号（タイトル番号）が付いていて、希望のタイトルが選べるようになっています。またタイトルはさらにチャプター（章）という小さな単位で構成されています。それぞれのチャプターには番号（チャプター番号）が付いていて、希望のチャプターが選べるようになっています。ただし、ディスクによってはタイトルやチャプターに分割されていないものもあります。

（DVD 映画作品の構成の例）



一般的にオーディオ CD は、トラックという呼び名で 1 曲ごとに区切られ、番号（トラック番号）が付けられています。たとえば 2 曲目を指す場合には、「トラック 2」となります。ビデオ CD のカラオケなども同様です。ただし、ディスクによってはトラックに分割されていないものもあります。

（オーディオ CD の例）



MP3 ディスクの構成については 50 ページをご覧ください。

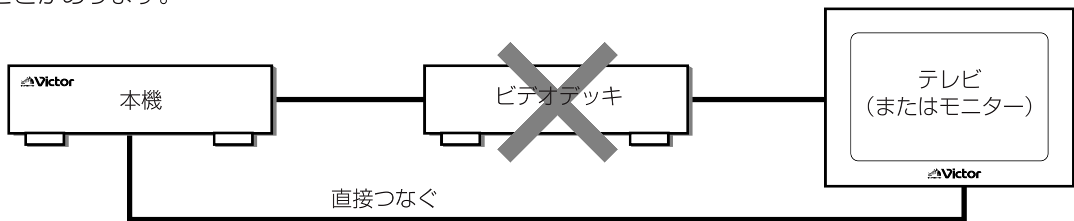
接続する

本機をお使いいただくにはテレビやモニターと接続する必要があります。また、デジタル端子付きの機器やドルビーデジタルデコーダー内蔵のアンプと接続すると、より本格的な音声がお楽しみいただけます。

＊ 説明上の煩雑さを避けるために、以下の説明では本機の映像出力をテレビに接続するものとして説明しますが、テレビの代わりにモニターやプロジェクターに接続することもできます。

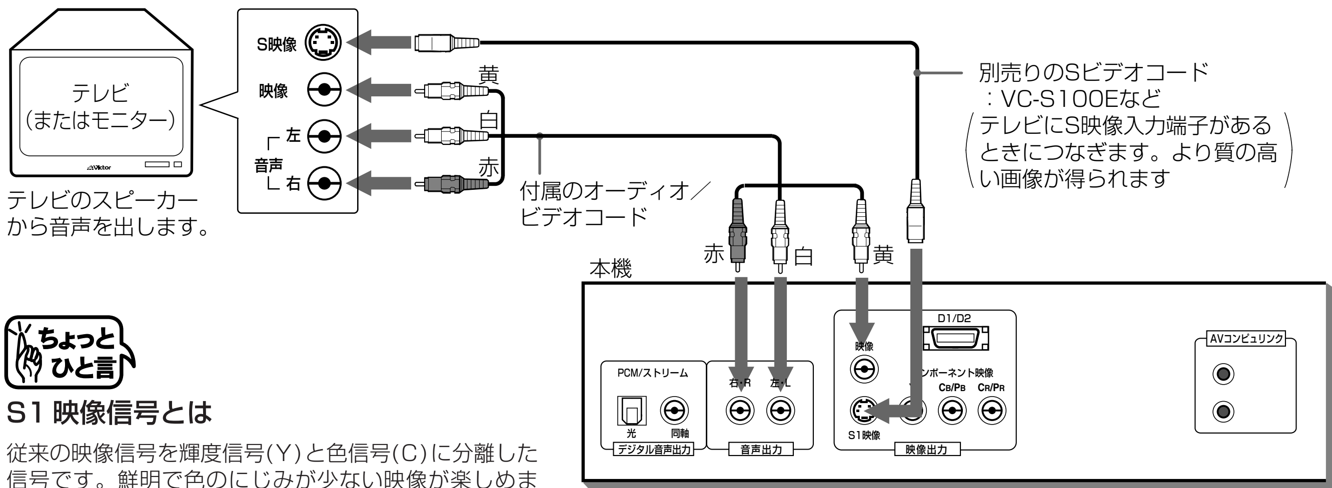
接続上の注意

- すべての接続が終わってから、電源コードをコンセントに差し込んでください。
- 各プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は雑音や音が出ないなどの原因となります。
- 接続間違いを防ぐため、接続コード（ピンコード）の黄色いプラグはVIDEO端子へ、白いプラグは音声のLEFT（左）端子へ、赤いプラグはRIGHT（右）端子につなぎます。
- 本機の映像出力は、直接テレビ（またはモニター）とつないでください。ビデオデッキを経由してつなぐと、再生中に画像が乱れることがあります。



従来のテレビと接続する

本機はテレビと接続するだけでお使いいただけます。より本格的な音声をお楽しみいただくには、オーディオ専用機器と接続してください。☞ 22、23 ページ





S1 映像信号とは

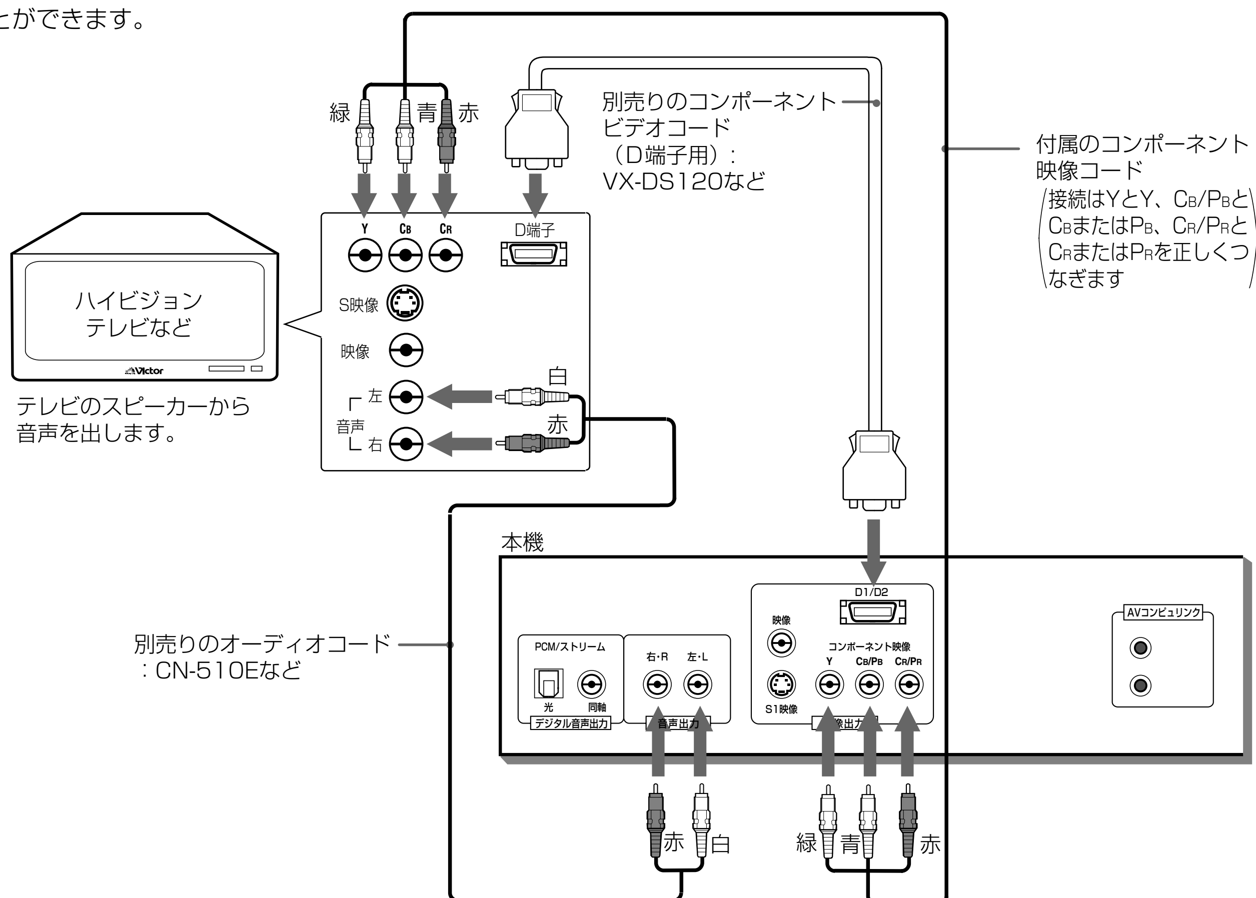
従来の映像信号を輝度信号(Y)と色信号(C)に分離した信号です。鮮明で色のにじみが少ない映像が楽しめます。これにフルモード（縦長の映像）を自動判別するための識別信号を重畳したのがS1映像信号です。

〈お知らせ〉

- スキャンモードを「プログレッシブスキャン」に設定すると、上記の接続ではテレビに映像が映りません。「インターレーススキャン」でお使いください。☞ 21 ページ
- 当社のテレビにAVコンピュリンクII端子がある場合、「AVコンピュリンクの活用」をご覧ください。☞ 62 ページ

DVD コンポーネント映像入力端子付きのテレビと接続する

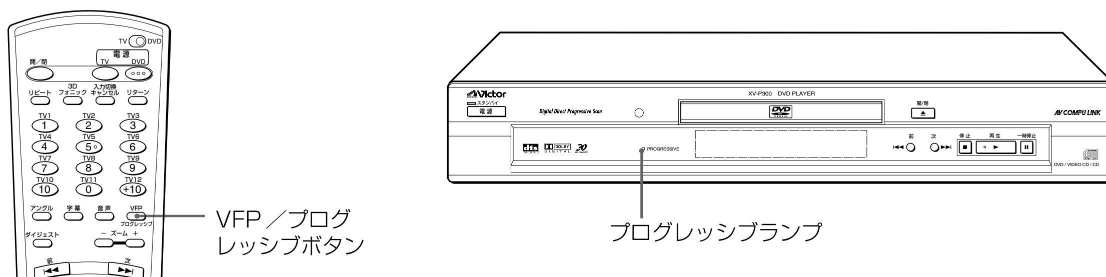
コンポーネント映像端子、またはD1/D2端子を使って本機とテレビを接続することで、より高画質の映像をお楽しみいただくことができます。



本機は従来のインターレーススキャンに加えてプログレッシブスキャンに対応しています。お使いのテレビがプログレッシブスキャン対応の場合、本機のスキャンモードをプログレッシブスキャンに設定すると、高画質映像がお楽しみいただけます。

スキャンモードの設定方法

停止中に、VFP ／プログレッシブボタンを数秒間押します。
押し続けるごとにスキャンモード（プログレッシブスキャン ⟺ インターレーススキャン）が切り換わります。プログレッシブスキャンが選択されているときは、プログレッシブランプランプが点灯します。



〈お知らせ〉

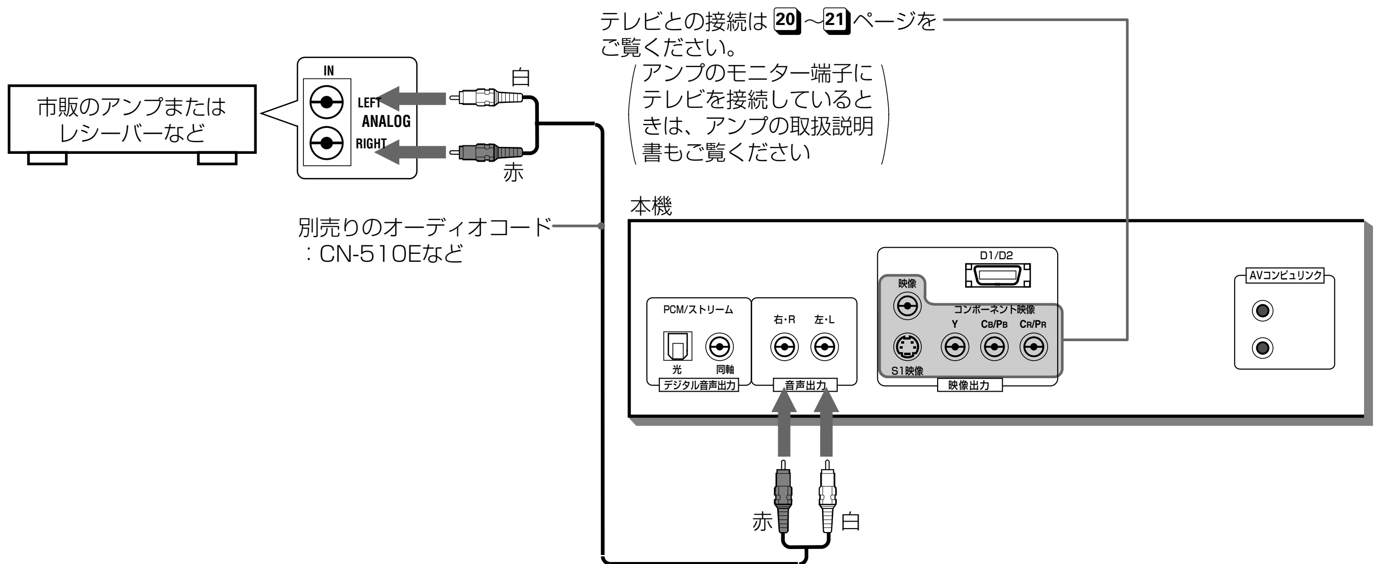
- テレビやモニターの映像入力端子が BNC タイプのときは、別売りのアダプター:VZ-90 を使用してください。
- Sビデオコードを使用した接続をしないと、ワイドテレビの画面サイズ切換と2画面機能が正常に機能しないことがあります。
- アンプにつないだスピーカーから音を出すときは、次ページ「ステレオアンプやレシーバーと接続する」をご覧ください。
- 当社のテレビに AV コンピュリンク II 端子があるときは、「AV コンピュリンクの活用」をご覧ください。 62 ページ
- **プログレッシブ映像出力の著作権保護信号について**
  本機のプログレッシブ映像出力(525p)には著作権保護信号が付加されていることがあります。この信号に対応していないテレビ、モニターでは映像が乱れることがあります。このようなときは、スキャンモードをインターレーススキャンに切り換えてお使いください。この信号に対応している当社のテレビはHD-32LS1やAV-32AD1などです。詳しくは「お客様ご相談センター」にお問い合わせください。

プログレッシブスキャン方式について

映画では毎秒２４コマの静止画フィルムを連続的に映し出すことによって連続した動き（動画）のように見せています。これと同じように、テレビでも静止画像を連続的に映し出しています。日本やアメリカのテレビフォーマット（NTSC）では毎秒３０コマ（フレーム）の画像を扱います。
従来のテレビ方式は「インターレーススキャン方式」と呼ばれ、それぞれのフレーム情報を半分に「間引き」して１つのフィールド情報とし、連続した２つのフィールドを使って１つの画面（フレーム）を作るという方式です。つまり実際には毎秒６０フィールドで３０フレームの画面を映し出しています。
これに対し「プログレッシブスキャン方式」では、すべてのフレーム情報を１つのフィールドで映し出します。したがって映像情報が従来方式に比べて倍になり、チラツキの少ない高密度の映像になります。
本機はプログレッシブスキャン方式に対応していますが、この方式による映像を楽しむにはテレビ（モニター）側もプログレッシブスキャン方式に対応している必要があります。
DVDビデオには、フィルム素材とビデオ素材の２種類の素材フォーマットがあります（ディスクの中にはこれらの素材が混在しているものもあります）。フィルム素材は２４フレーム／秒の完全な静止画情報として記録され、ビデオ素材は６０フィールド／秒の間引きされた情報で記録されています。
本機がフィルム素材のディスクを再生するとき、そのままコマ数を増やして６０フィールド／秒のプログレッシブ信号が作られます。ビデオ素材のディスク（＝すでに間引きされているフィールドで構成されている）を再生するときは、間引きされた部分を前後の情報から計算して補間することによって疑似的なプログレッシブ出力信号が作られます。

ステレオアンプやレシーバーと接続する

本機とステレオアンプやレシーバーを接続することで、より本格的なサウンドがお楽しみいただけます。



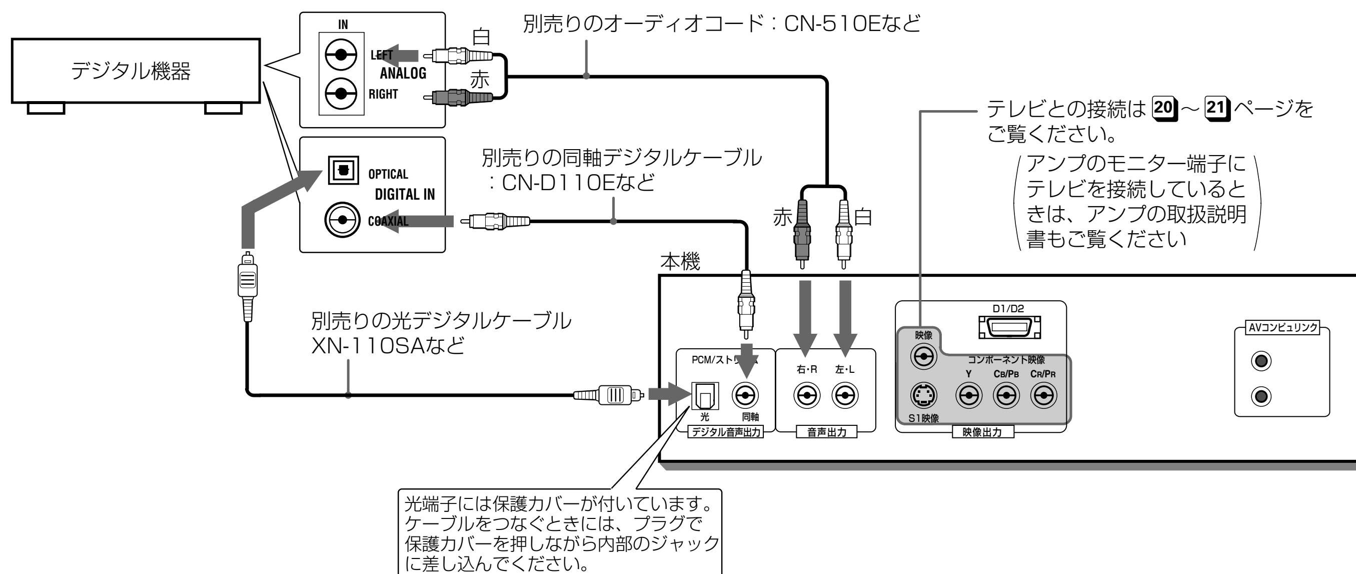
アンプのライン入力端子（AUX、DVD、CD など）を本機の音声出力端子（右・R、左・L）と接続します。

・ **接続が終わったら…**
  オンスクリーン画面の「初期設定２」のダウンミックスを "Lo/Ro" に設定してください。☞ 56 ページ
  接続するアンプに AV COMPULINK 端子があるときは、「AV コンピュリンクの活用」をご覧ください。☞ 62 ページ

デジタル入力端子付きの機器と接続する

本機のデジタル音声出力端子をアンプなどのデジタル入力端子と接続することにより、本機で再生したディスクのオーディオ信号をデジタルのまま外部機器へ送ることができます。またドルビーデジタルやDTSデコーダー（あるいはデコーダー内蔵アンプ）と接続することにより、高音質のサラウンドサウンドをお楽しみいただけます。

デジタル音声端子同士を接続する場合、アナログの音声端子を使った接続も行なってください。DVDの収録方式によってはデジタル音声信号が出力されないことがあります。



・接続が終わったら…

オンスクリーン画面の「初期設定2」でデジタルOUTの設定を、接続した機器に合わせて切り換えてください。☞ 56 ページ

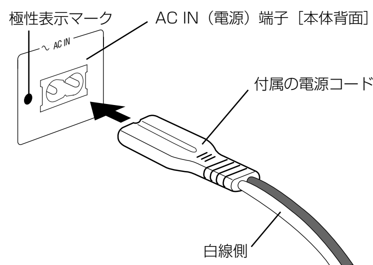
〈お知らせ〉

- ドルビーデジタルデコーダーの機能を持った機器と接続した場合、本機のデジタル音声出力からの音声に対して本機の「初期設定2」にあるコンプレッションは無効となります。

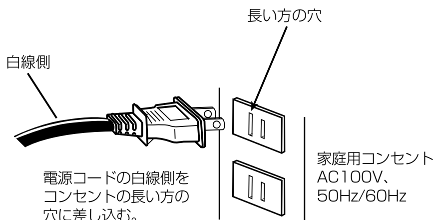
電源コードを接続する

すべてのオーディオ／ビデオの接続が終わったら、付属の電源コードを使って本機の～ AC IN端子と家庭用コンセント（交流100V）を接続します。電源コードのプラグをしっかりと確実に差し込んでください。

1 ～AC IN端子へ差し込んでから…



2 家庭用コンセントへ



交流電流にも「極性」があります。電源コードを極性に合わせて正しく接続することにより、より良い音質を得ることができます。

本体背面の～ AC IN端子との接続
電源コードの白線側を～ AC IN端子の極性表示マーク（●）側に合わせて接続します。

家庭用コンセントとの接続
電源コードの白線側をコンセントの長い穴側に合わせて接続します。
＊ 極性のわからないタイプ（穴の長さが同じタイプ）のコンセントの場合は、視聴して判断してください。

電源コードを接続すると、本体のスタンバイランプが点灯します。

〈お知らせ〉

- 形状の違いによる故障や事故を防止するため、指定以外の電源コードは絶対に使用しないでください。
- 電源コードを紛失したり電源コードが断線したときは、お買い上げの販売店で別売りの電源コード：CN-325Aをお買い求めください。

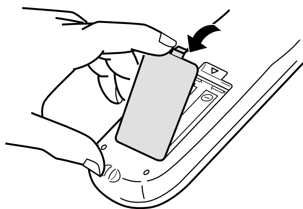
リモコンを使う

リモコンを使って、本機のコントロールのほかにテレビの基本操作を行なうことができます。

リモコンに電池を入れる

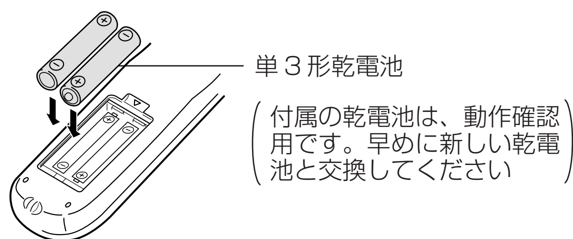
リモコンの背面に電池を入れる場所があります。

1 裏ブタの上部を指で手前に押しながら、外す

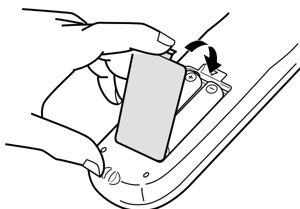


2 乾電池（単３形）２本を入れる

＋/－の極性がリモコン内部に表示されていますので、それに合わせ正しい向きに入れてください。



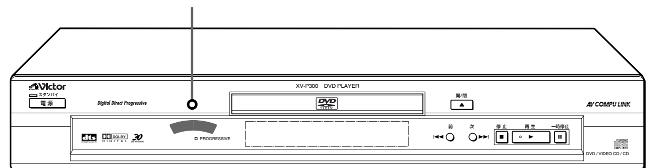
3 裏ブタを元通りに閉める

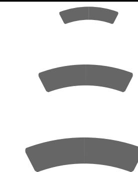


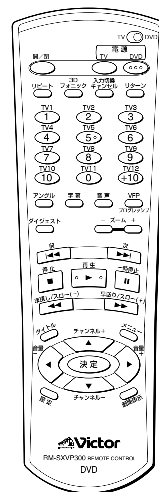
- リモコンで操作できる範囲がせまくなってきたり、本体に近づけないと操作できないときは、電池の交換時期です。
  ２本とも新しい乾電池（単３形）と交換してください。
  使用頻度によって変わりますが、寿命は半年程度です。

- 長期間使用しないときは、乾電池を取り出しておいてください。

リモコンの操作



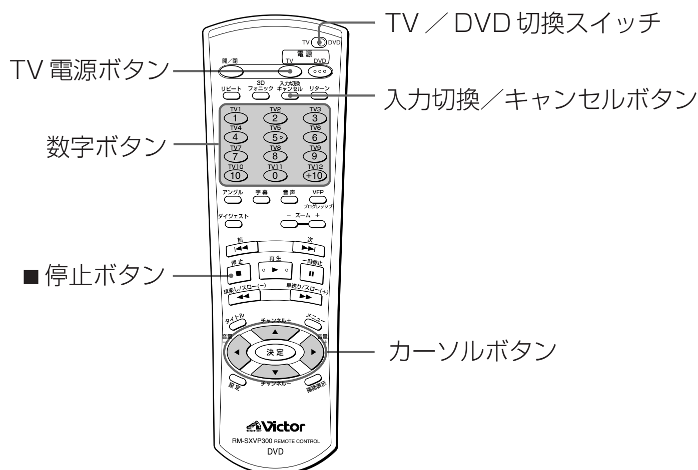




- リモコンの先端を本体のリモコン受光部に向けて操作します。
- 操作可能な距離は、リモコン受光部より約5mですが、斜めから操作すると短くなります。
- リモコン受光部に直射日光などの強い光が当たっていると、動作しないことがあります。

リモコンでテレビを操作する

本機のリモコンを使って、テレビを操作することができます。
ビクター製のテレビをお使いの場合は、電池を入れるだけでリモコンからテレビの操作ができます。
ビクター製以外のテレビをお使いの場合は、本機のリモコンのメーカー設定が必要となります。



メーカー設定のしかた

入力切換／キャンセルボタンは、操作が終わるまで押し続けてください。

1 入力切換／キャンセルボタンを押したまま数字ボタンでメーカーのコード番号（2 ケタ）を入力し、■停止ボタンを押す

例： 松下 1 の場合

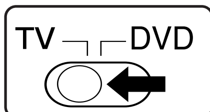
入力切換／キャンセルボタンを押したまま

5 ➡ 2 ➡ 停止 ■ と押す

・メーカーのコード番号（2 ケタ）は、左の「メーカーコード表」をご覧ください。

以下のボタンを使ってテレビの操作を行ないます。

カーソル（▲/▼/◄/►）ボタン、数字ボタン、入力切換／キャンセルボタンを使ってテレビを操作するときは、TV/DVD 切換スイッチを「TV」側に切り換えます。



ボタン	操作
TV	テレビの電源を「入」/「切（スタンバイ）」する
チャンネル＋ ▲ / ▼ チャンネル−	テレビのチャンネルを変える
音量− ◄ / ► 音量＋	テレビの音量を調節する
1 ～ 10 0 、 +10	テレビのチャンネルをダイレクトに変える ・テレビによっては、0 ボタンを押すと11チャンネル、+10 ボタンを押すと12チャンネルが選べます。
入力切換 キャンセル	テレビとビデオ入力を切り換える

メーカーコード表

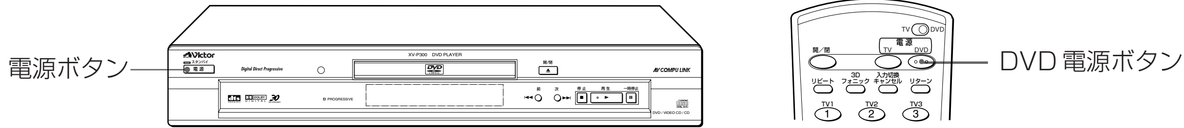
メーカー名	コード番号
ビクター	51
松下 1	52
松下 2	53
三菱	54
ソニー	55
日立	56
東芝	57
サンヨー 1	58
サンヨー 2	59
シャープ	60
パイオニア	61
NEC	62
フナイ　1	63
アイワ	64
フナイ 2	65
フナイ 3	66

〈お知らせ〉

- 複数のコードを持つメーカーの場合、機種によって動作するコード番号が異なります。順番に試してみて正しく動作するコード番号を選んでください。

電源を入れる

リモコンのDVD電源ボタンまたは本体の電源ボタンを押して電源を入れます。
スタンバイランプが消えて電源が入ります。電源を切るときも、リモコンのDVD電源ボタンまたは本体の電源ボタンを押します。





イチ押し操作

リモコンまたは本体の ► 再生ボタンを押して電源を入れることもできます。このとき、ディスクが入っていると再生が自動で始まります。
またリモコンまたは本体の ▲ 開／閉ボタンを押したときも電源が入り、ディスクトレイが出てきます。

〈お知らせ〉

- 本機は、電源を「切（スタンバイ)」にしていても、わずかな電流が流れる設計になっています。長期間お使いにならないときは安全および節電のため、電源コードをコンセントから抜いておいてください。

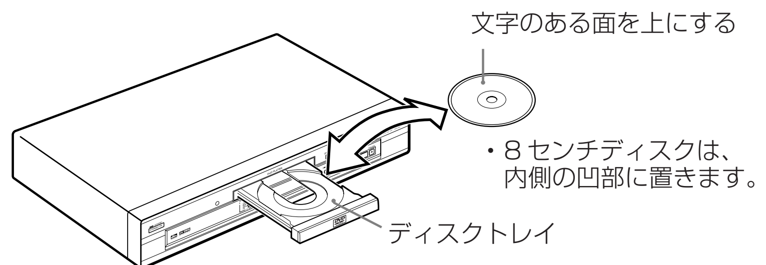
ディスクを入れる

1 開 / 閉ボタンを押す　[本体の場合は ▲ 開／閉ボタンを押す]

ディスクトレイが出てきます。

2 ディスクをトレイに置く

ディスクはトレイの溝に合わせて正しく置いてください。溝に合わないままディスクトレイを閉めると、ディスクが破損したり、ディスクが取り出せなくなることがあります。



3 開 / 閉ボタンを押す　[本体の場合は ▲ 開／閉ボタンを押す]

ディスクトレイが閉まります。
本機がディスク情報を読み込み、ディスクのタイプに応じたオープニング画面がテレビに表示されます。

〈お知らせ〉

- DVD ビデオの中にはディスクを入れると自動的に再生が始まるものがあります。
- 本機はDVDビデオ、ビデオCD、オーディオCD、MP3ディスクのみを再生します。その他の種類のディスクを入れないでください。詳しくは「本機で再生できるディスク」をご覧ください。 ☞ 18 ページ
- リージョン番号が合っていないDVDビデオを入れると、オープニング画面に "リージョンコードエラー!" が表示されます。リージョン番号については「本機で再生できるディスク」をご覧ください。 ☞ 18 ページ
- ディスクをトレイにセットするとき、内部の凹部に正しく置いてください。正しく置かないと、トレイを閉めたときにディスクを傷つけたり、トレイが開かなくなる場合があります。
- 本機にはスタビライザーを使わないでください。

再生する

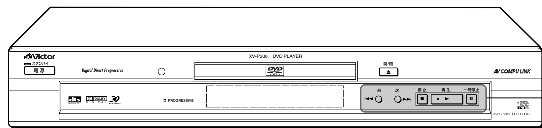
最も基本となる再生のしかた、停止、早送り、頭出しなどの操作を説明します。

はじめから再生する

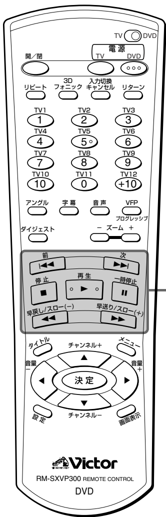
DVD ビデオ　オーディオ CD　ビデオ CD

1 ► 再生ボタンを押す

ディスクの最初から再生が始まります。



カンタン操作で使うボタン類



カンタン操作で使うボタン類

〈お知らせ〉

- DVD やPBC（プレイバックコントロール）で収録されたビデオ CD では、► 再生ボタンを押すとテレビ画面上にメニューが表示されることがあります。この表示されたメニューを見ながら項目を選択して、見たいところを呼び出すことができます。☞ 31 ページ
- DVD ビデオによっては、ディスクを入れると本機が自動的に再生を始めます。
- リジュームポイントを記憶している場合、その場所から再生が始まります。
- 再生中、そのディスクのトラックやチャプターなどがディスプレイに表示されます。

とりあえず、カンタン操作

停止する

DVD ビデオ　オーディオ CD　ビデオ CD

1 ■ 停止ボタンを押す

再生が停止します。

一時停止する

DVD ビデオ　オーディオ CD　ビデオ CD

1 ❚❚ 一時停止ボタンを押す

再生が一時停止になります。再生を再開するときは、► 再生ボタンを押します。

再生する（つづき）

早送り / 早戻し再生をする

DVDビデオ　オーディオCD　ビデオCD

■ 再生中に

【早送り / 早戻し再生 1】（リモコン使用時のみ）

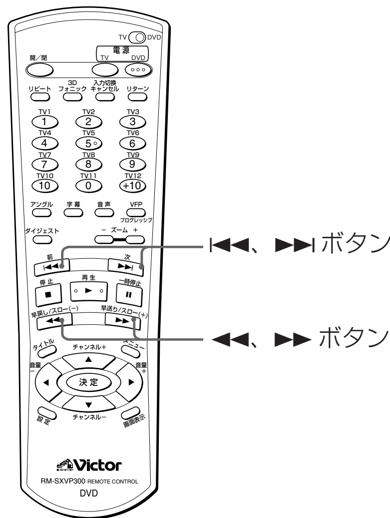
◀◀ または ▶▶ ボタンを押す

ボタンを押すごとに早送り／早戻しのスピードが速くなります（2 倍速〜 60 倍速）。
通常の再生に戻すときは、▶ 再生ボタンを押します。

【早送り / 早戻し再生 2】

▶▶I または I◀◀ ボタンを押したままにする

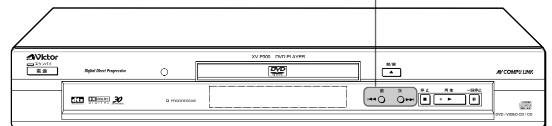
▶▶I ボタンを押したままにすると早送り再生、I◀◀ ボタンを押したままにすると早戻し再生ができます。
ボタンから手を離すと通常の再生に戻ります。



I◀◀、▶▶I ボタン

◀◀、▶▶ ボタン

▶▶I 次、I◀◀ 前ボタン



〈お知らせ〉

• MP3 ディスクの場合、早送り／早戻しができません。

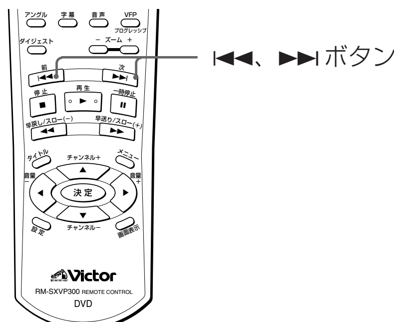
頭出しをする

DVDビデオ　オーディオCD　ビデオCD

■ 再生中に

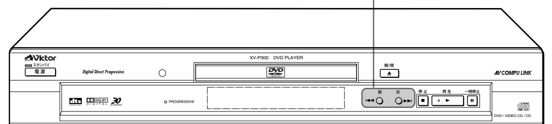
1　▶▶I または I◀◀ ボタンを押す［本体の場合は ▶▶I 次または I◀◀ 前ボタンを押す］

送る方向に頭出しをするには ▶▶I ボタンを押し、戻す方向に頭出しをするには I◀◀ ボタンを押します。DVD オーディオ、オーディオ CD あるいはや PBC（プレイバックコントロール）オフで再生しているビデオ CD では、曲の頭などのトラック番号の区切りで頭出しができます。DVD ビデオや PBC オンで再生しているビデオ CD では、収録された内容によって異なりますが、多くのディスクではタイトルやチャプターの区切りで頭出しができます。



I◀◀、▶▶I ボタン

▶▶I 次、I◀◀ 前ボタン



あとで続きを再生する

映画鑑賞などを途中で中断するときなど、その位置を本機に記憶させ、あとでその位置から続きを再生することができます。

位置を記憶させる

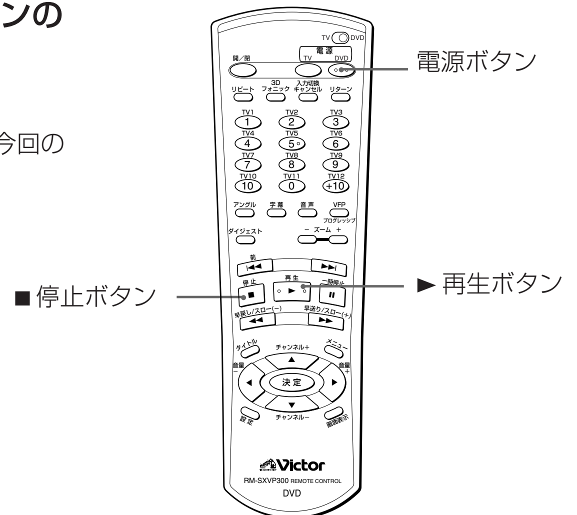
DVDビデオ　ビデオCD

■ 再生中に

1 **■停止ボタンまたは本体の電源ボタンまたはリモコンのDVD電源ボタンを押す**

押したときの再生位置が記憶されます（リジュームポイント）。

前回操作したときの記憶が残っていたときは、前回の記憶は消え、今回の位置が新しく記憶されます。



続きを再生する［リジューム再生］

DVDビデオ　ビデオCD

■ 停止中またはスタンバイ中（スタンバイランプ点灯中）に

1 **▶ 再生ボタンを押す**

記憶されている位置から再生が始まります。

・ **記憶を取り消すには**

以下のうちのいずれかの操作を行ないます。

＊ディスクを取り出す。

＊停止中に■停止ボタンを押す。

＊本体の電源ボタンまたはリモコンのDVD電源ボタンを使って電源を入れる。

〈お知らせ〉

- PBCで収録されたビデオCDでは、記憶されている位置よりも手前または後から再生されることがあります。
- オーディオCDおよびMP3ディスクの場合、リジューム機能が働きません。

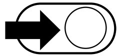
とりあえず、カンタン操作

再生するところを選ぶ

タイトル、チャプターまたはトラックなどを選んだり、再生位置の時間を指定して、そこから再生することができます。あるいはトラックを選んで好きな順番で再生することができます。

〈お知らせ〉

TV DVD

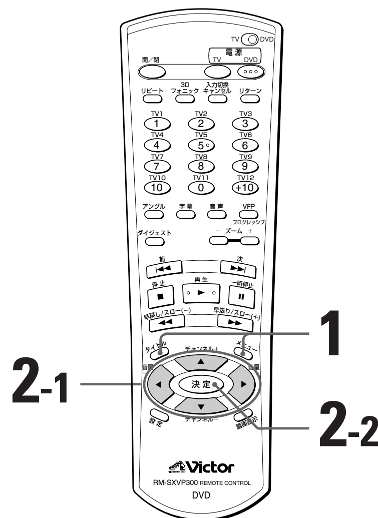


- カーソル（▲/▼/◀/▶）ボタン、入力切換／キャンセルボタン、数字ボタンを使って本機を操作するときは、TV/DVD 切換スイッチを「DVD」側に切り換えます。
- 以下の「いろいろな再生のしかた」ではDVDビデオ、オーディオCD、ビデオCDを使ったときについて説明します。MP3 ディスクを使ったときの再生については「MP3 ディスクの操作」（50 ページ）をご覧ください。

DVD メニューから選ぶ



DVD ソフトには、一般にメニュー画面が収録されています。メニュー画面の内容はさまざまで、映画のタイトルや曲目、あるいはアーティスト情報が表示されたりします。このメニュー画面から見たいところを選ぶことができます。

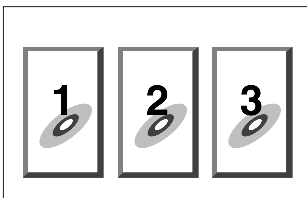


■ いつでも

1 メニューボタンまたはタイトルボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

例





メニューボタンとタイトルボタンの使い分け

複数のタイトルが収録されている DVD ビデオには目次のような役割を果たすタイトルメニュー画面を持つものが多く、タイトルボタンを押すとこうしたタイトルメニューが表示されます。またタイトルメニュー以外のメニューを持つ DVD ビデオも多くあり、こうした画面を表示するにはメニューボタンを押します。

各ディスクのメニュー構成についてはディスクの説明書をご覧ください。

2 カーソル（▲/▼/◀/▶）ボタンを使って見たいものを選び、決定ボタンを押す

選択したところから再生されます。



・メニュー画面によってはカーソル（▲/▼/◀/▶）ボタンによる操作だけではなく、数字ボタンを使って見たい画面を選ぶことができます。

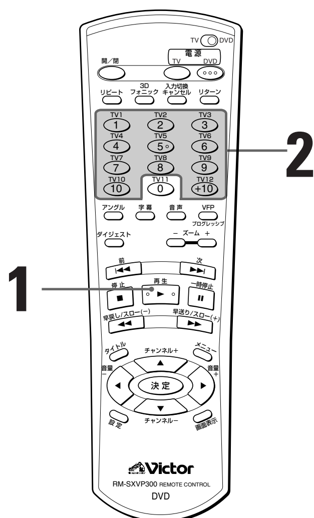
〈お知らせ〉

- **タイトルボタンを押したとき⃠が表示されたときは**
  そのディスクにタイトルやグループ一覧のリストを表示するような、メニュー画面が収録されておりません。
- **メニューボタンを押したとき⃠が表示されたときは**
  そのディスクにメニュー画面自体が収録されておりません。

ビデオ CD のメニューから選ぶ

ビデオ CD

PBC で 収録されたビデオ CD を再生すると、収録された内容の一覧がメニューとしてテレビ画面上に表示されます。
このメニュー画面によって、見たいところを選ぶことができます。

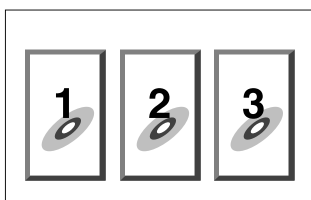


■ PBC 対応ビデオ CD が停止中

1 ► 再生ボタンを押す

PBC のメニュー画面が表示されます。

例：



2 数字ボタン（1～10、+10）を使って見たいところの番号を選ぶ

メニューの 3 番を見たいとき　：③ を押す
メニューの 11 番を見たいとき：+10 → ① と押す

選んだ番号のところが再生されます。

メニュー画面に戻したいときには、リターンボタンを押します。

テレビ画面上に［次］または［前］が表示された場合、

- ►►⏐ボタンを押すと、メニューの次のページへ進みます。
- ⏐◄◄ボタンを押すと、メニューの前のページへ戻ります。

※ 操作方法はディスクにより異なります。



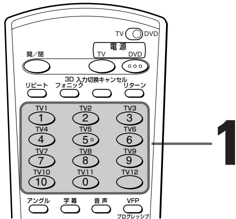
- PBCで再生中、本体のディスプレイに［PBC］と表示されます。PBCが機能していない再生をしている場合は、■停止ボタンを押して再生を停止した後に ► 再生ボタンを押すと PBC 機能が働くようになります。この操作は、次のようにオンスクリーン画面でも行なうことができます。
  1 画面表示ボタンを押します。
  2 カーソル（▲/▼/◄/►）ボタンを使って画面上の［PBC再生］に を合わせ、決定ボタンを押します。
- PBC 機能オフで再生するには 、停止中に、見たいトラック番号を数字ボタンを使って指定します。（32 ページ「再生するところを番号で指定する」をご覧ください。）

再生するところを選ぶ（つづき）

再生するところを番号で指定する



DVDビデオのタイトルやチャプター、オーディオCD/ビデオCDのトラックを指定し、そこから再生を始めることができます



■ DVDビデオ　　：いつでも
オーディオ CD ：いつでも
ビデオ CD　　 ：停止中または PBC オフで再生中に

1 数字ボタンを使って番号を指定する

ディスクの種類および本機の動作状態によって、指定する項目が異なります。

動作状態	ディスク種類	指定される項目
停止中	DVDビデオ	タイトルまたはチャプター*1
	オーディオCD/ビデオCD	トラック
再生中	DVDビデオ	チャプター
	オーディオCD/ビデオCD	トラック

*1 ディスクにタイトルが複数ある場合はタイトル指定、1つしかない場合はチャプター指定になります。

・ 数字ボタンの使いかたについては、17 ページをご覧ください。

指定した番号が本体ディスプレイに表示され、そこから再生が始まります（ダイレクト再生）。

ディスプレイ（表示窓）

GROUP TITLE TRACK CHAP
05 01



・オンスクリーン画面上にも指定した番号が表示されます。

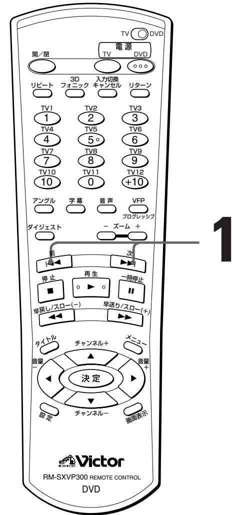
〈お知らせ〉

- **手順 1 で ⃠ が表示されたときは**
  押した番号のタイトルあるいはトラックが収録されておりません。
- DVDビデオによっては、この機能を使えないものもあります。
- ビデオCDをPBC再生しているときは、この機能は使えません。

►►I/I◄◄ ボタンを使ってチャプターやトラックを選んで再生する



前後のチャプター（DVD ビデオ）やトラック（オーディオ CD/ ビデオ CD）の頭にスキップすることができます。



■ DVDビデオ　　：再生中に
オーディオ CD ：いつでも
ビデオ CD　　 ：停止中または PBC オフで再生中に

1 ►►I または I◄◄ ボタンを押す

- 先のチャプター／トラックに進むには、必要な回数だけ ►►I ボタンを押します。
- 手前のチャプター／トラックに戻すには、必要な回数だけ I◄◄ ボタンを押します。
- 現在再生しているチャプター／トラックの頭に戻すには、1 回だけ I◄◄ ボタンを押します。

ディスプレイ（表示窓）

GROUP TITLE TRACK CHAP
05 01

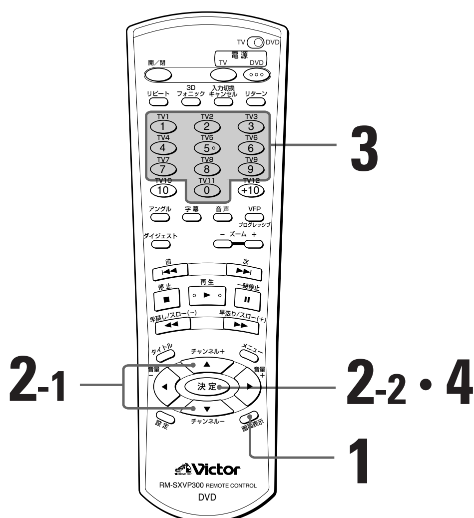
〈お知らせ〉

- DVDビデオによっては、この機能を使えないものもあります。
- ビデオCDをPBC再生しているときディスクによっては、この機能を使えません。

チャプター番号を指定する [チャプターサーチ]

DVDビデオ

DVD ビデオの画像再生中、チャプター番号をオンスクリーン画面上で指定することができます。



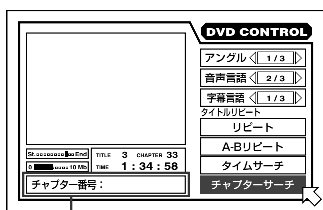
■ 再生中に

1 画面表示ボタンを押す

オンスクリーン画面が表示されます。

2 カーソル（▲/▼）ボタンを使って［チャプターサーチ］に を合わせ、決定ボタンを押す

（DVD ビデオの場合）



メッセージエリア

メッセージエリアに「チャプター番号：」が表示されます。

[チャプターサーチ]の色が変わります。

3 数字ボタン(1 ～ 9、0)を使ってチャプター番号を選ぶ

例：8 番のチャプターから再生したいとき⑧ を押す
37番のチャプターから再生したいとき③→⑦ の順に押す



・この機能では ⑩ と (+10) ボタンは使いません。

4 決定ボタンを押す

選んだ番号のチャプターから再生が始まります。

〈お知らせ〉

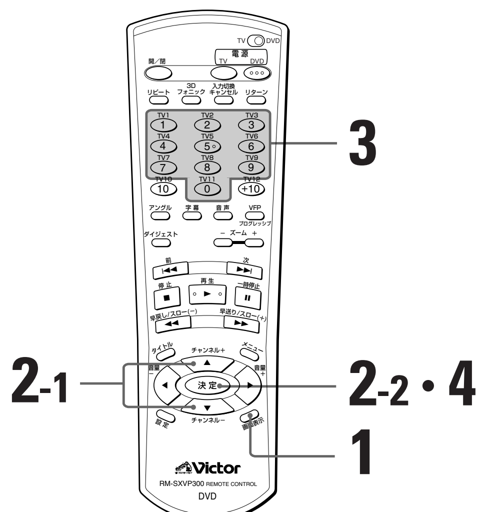
- 再生中に数字ボタンを使って直接チャプター番号を指定することもできます。[32ページ]
- **手順 3 で⃠が表示されときは**
  入力した番号のチャプターが収録されておりません。または、ディスクがこの機能を受け付けない構成になっおります。
- **手順 3 で番号を間違えたときは**
  正しい番号を押し直してください。
- **通常の画面に戻すには**
  画面表示ボタンを押すとオンスクリーン画面が消え、通常の画面に戻ります。

再生するところを選ぶ（つづき）

指定した時間から再生する [タイムサーチ]



タイムサーチ機能を使うと、現在のタイトル（DVD ビデオの場合）ディスクの頭（オーディオCD／ビデオCDの場合）からの経過時間を指定することによって希望の位置から再生を始めることができます。
ただしDVDビデオの中には時間情報が記録されていないものもあります。そのようなディスクに対してはこの機能を使えません。



■ DVD ビデオ　：再生中に
オーディオ CD　：いつでも
ビデオ CD　：停止中または PBC オフで再生中に

1 **画面表示ボタンを押す**

オンスクリーン画面が表示されます。

2 **カーソル(▲ / ▼)ボタンを使って[タイムサーチ]に ↖ を合わせ、決定ボタンを押す**

メッセージエリアに「タイム：」が表示されます。
[タイムサーチ]の色が変わります。

3 **数字ボタン(1 〜 9、0)を使って時間を入力する**

指定した時間がメッセージエリアに表示されます。

4 **決定ボタンを押す**

指定した時間から再生が始まります。



・この機能では (10) と (+10) ボタンは使いません。
・DVD ビデオでは「時・分・秒」で、オーディオ CD やビデオ CD では「分・秒」で指定します。
・メッセージエリアの「➡ENTER」は、リモコンの決定ボタンを次に押すことを表しています。

画面例：

（DVD ビデオ再生中の場合）（オーディオ CD の場合）



入力した時間　入力した時間

例 1： DVD ビデオを 2 時間 34 分から再生したいとき

タイム　_ :　:
↓ (2) を押す
タイム　2 : _ :
↓ (3) を押す
タイム　2 : 3_ :
↓ (4) を押す
タイム　2 : 34 : _　— (4) を押した後の "00" は省略することができます。
↓
決定ボタンを押す

時間を間違った場合

間違えた場所にカーソルを移動して、正しい数字ボタンを押し直してください。

例：２時間 34 分を間違えて２時間 35 分と押してしまったときは

タイム　2 : 35 : _
↓ カーソル(◄)ボタンを押してカーソルを戻す
タイム　2 : 35 :
↓ (4) を押す
タイム　2 : 34 : _

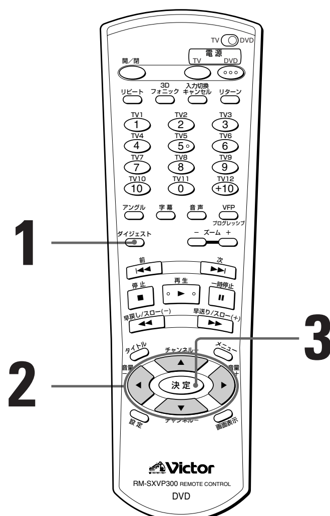
〈お知らせ〉

- **操作中に ⃠ が表示されたときは**
  入力した時間がディスクの収録時間の範囲にないので、タイムサーチは機能しません。または DVD ビデオによってはこの機能を受け付けない場合があります。
- PBC再生中のビデオCDではタイムサーチ機能が働きません。
- **通常の画面に戻すには**
  画面表示ボタンを押すとオンスクリーン画面が消え、通常の画面に戻ります。

ダイジェスト画面から選ぶ[ダイジェスト]

DVD ビデオ　ビデオ CD

DVD ビデオの各タイトル／チャプター、あるいはビデオ CD の各トラックの最初の場面を一覧表示して、その中から、見たいところを選ぶことができます。



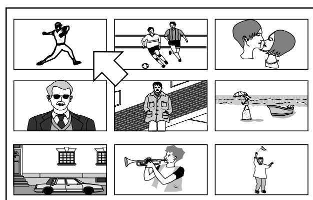
■ DVD ビデオ　：停止中または再生中に
ビデオ CD　　：停止中または PBC オフで再生中に

1 ダイジェストボタンを押す

DVD ビデオ停止中　：各タイトルの最初の場面が最大９つまで一覧表示されます。

DVD ビデオ再生中　：現タイトル内の各チャプターの最初の場面が最大９つまで一覧表示されます。

ビデオ CD　　　　：各トラックの最初の場面が最大９つまで一覧表示されます。



2 カーソル（▲/▼/◄/►）ボタンを使って見たい場面を選ぶ

の指しているところが選んだ場面です。



選んでいる場面

収録されているタイトル、チャプター、あるいはトラックが９つより多くある場合はダイジェスト画面が２ページ以上になります。この場合、►►I ボタンを押すと次ページが表示されます。

前のページに戻りたいときは I◄◄　ボタンを押します。

3 決定ボタンを押す

選んだ場面から再生が始まります。

ちょっとひと言

・分割画面右下に表示された場面を選んでいるとき、カーソル（►）ボタンを押すと次のページが表示されます。
・分割画面左上に表示された場面を選んでいるとき、カーソル（◄）ボタン を押すと前のページが表示されます。

〈お知らせ〉

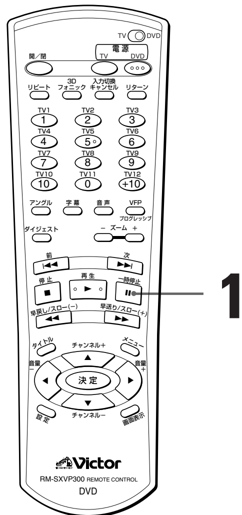
- ディスクによっては、すべての画面が表示されるまでに時間がかかる場合があります。

特殊な画像再生

動画を１コマずつ送ったり、連続写真のように表示したり、スローモーション再生したり、あるいはズームアップすることができます。

画像を 1 コマずつ送る

DVDビデオ　ビデオCD



■一時停止中に

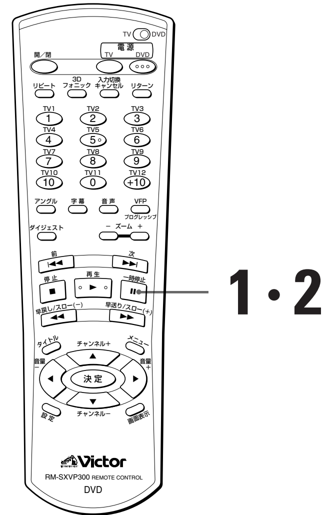
1 ❚❚ 一時停止ボタンを押す

❚❚ 一時停止ボタンを押すごとに静止画像が次のフレームに進みます。

► 再生ボタンを押すと通常の再生に戻ります。

連続写真のように表示する[ストロボ]

DVDビデオ　ビデオCD



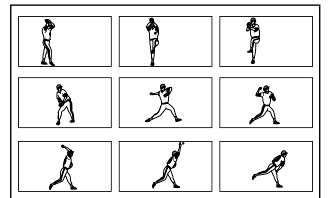
■ 再生中に

1 連続写真のように表示したいところで ❚❚ 一時停止ボタンを押す

2 ❚❚ 一時停止ボタンを 1 秒以上押す

連続した９ つの静止画像が画面に現れ、リアルタイムで先に進みます。

これをストロボ再生といいます。ただし音声は出ません。





・ストロボ再生中に❚❚一時停止ボタンを押すと、一時停止します。この状態で❚❚一時停止ボタンを押すと、押すごとに一画像ずつ変わります。► 再生ボタンを押すと９分割表示でストロボ再生をくり返します。

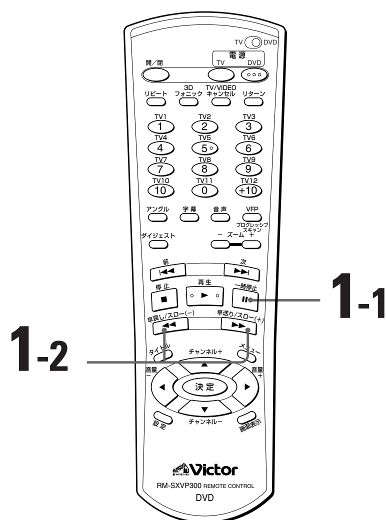
・ **ストロボ機能を解除するには**
  ❚❚ 一時停止ボタンを 1 秒以上押します。

〈お知らせ〉

- 再生中に❚❚一時停止ボタンを1秒以上押した場合も９つの連続静止画像が現れますが、これらはリアルタイムで先に進みます。

スローモーション再生する[スロー]

DVD ビデオ　ビデオ CD



■ 再生中に

1 II 一時停止ボタンを押してから、►► または ◄◄ ボタンを押す

►► ：順方向のスロー再生 ... スロー（＋）

◄◄ ：逆方向のスロー再生 ... スロー（－）
（DVD ビデオのみ）

◄◄ または ►► ボタンを押すごとにスロー再生のスピードが上がります。

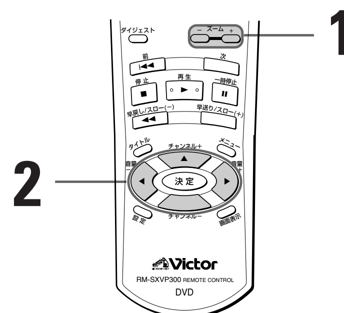
・ **通常の再生に戻すには**
► 再生ボタンを押します。

〈お知らせ〉

- スロー再生中、音声は再生されません。
- ビデオ CD では逆方向のスロー再生はできません。

画面を拡大／縮小する[ズーム]

DVD ビデオ　ビデオ CD



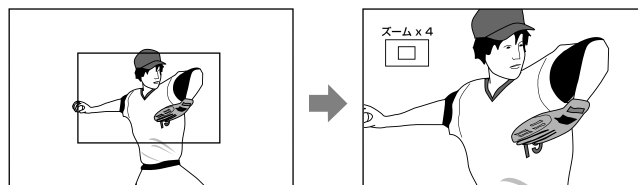
■ 再生中または一時停止中に

1 ズーム（+、ー）ボタンを押す

ズーム(+)ボタンを押すと画面の中央部が拡大され、ズーム(ー)ボタンを押すと画面が縮小されます。

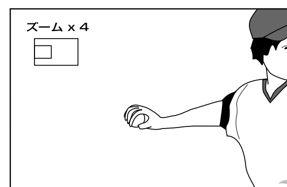
ズーム(+)ボタンを押すごとに 2 倍ずつ拡大され、最大で 1024 倍になります。

ズーム(ー)ボタンを押すごとに 1/2 ずつ縮小され、最小で 1/8 になります。



画面の左上部に現在の倍率が、ズームインしている画面上の位置とともに表示されます。ズームイン位置を動かすには以下の操作を行います。

2 カーソル（▲/▼/◄/►）ボタンを使って拡大したい部分を選ぶ



・ **ズームを解除するには**
決定ボタンを押します。

〈お知らせ〉

- 拡大すると、画質が悪化したり、画像がブレることがあります。

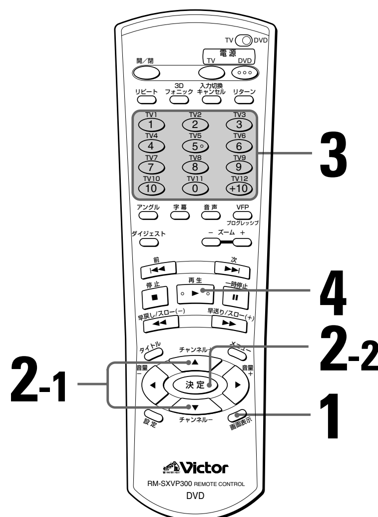
順番を変えて再生する

オーディオ CD、ビデオ CD のトラックをお好きな順番で、あるいはランダム（無作為）な順番で再生することができます。

順番を決めて再生する[プログラム再生]

オーディオ CD　ビデオ CD

再生するトラックの順番を、最大24 トラックの範囲で自由に決めることができます。同じトラックを２回以上再生することもできます。



■ 停止中に

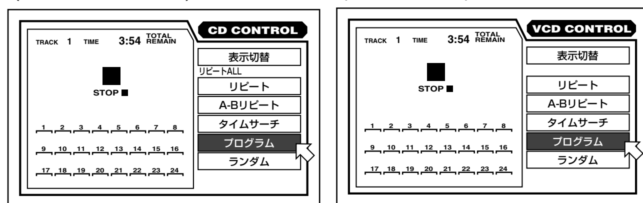
1 画面表示ボタンを押す

オンスクリーン画面が表示されます。

2 カーソル（▲/▼）ボタンを使って［プログラム］に を合わせ、決定ボタンを押す

[プログラム]の色が変わります。

（オーディオ CD）　（ビデオ CD）



3 数字ボタンを使って再生したい順にトラック番号を選ぶ

24 トラックまで設定することができます。また、一度選んだトラックをもう一度選ぶこともできます。

- **数字ボタンの使いかたについては、**
  17 ページをご覧ください。
- **プログラムの設定を間違えたときは**
  入力切換／キャンセルボタンを押すと、最後にプログラムしたトラック番号が消去されます。
- **プログラム全体をクリアするには**
  ■停止ボタンを押します。

4 ► 再生ボタンを押して再生する

プログラムした順番で再生が始まります。

- **プログラムの内容をクリアするには**
  ■停止ボタンを押してから、画面表示ボタンを押してオンスクリーン画面を表示させます。次に を[プログラム]に合わせて■停止ボタンを押すと、設定した全てのトラックが消去されます。
- **プログラム再生をやめるには**
  カーソル(▲/▼)ボタンを使って画面上の[プログラム]に を合わせ、決定ボタンを押します。[プログラム]の色がもとに戻ります。このときプログラムの内容も消去されます。



・プログラムされたトラックの再生が終わると停止しますが、プログラムの設定は残ります。

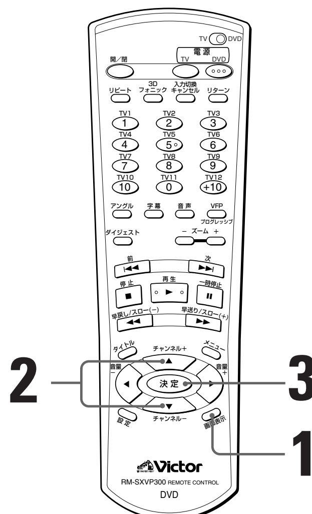
〈お知らせ〉

- プログラム再生中、►►|ボタンを押すと次にプログラムされているトラックにスキップし、|◄◄ボタンを押すと再生中のトラックの頭に戻ります。

無作為な順番で再生する[ランダム再生]

オーディオ CD　ビデオ CD

ランダム再生では、本機がトラックの順番をランダム（無作為）に再生します。



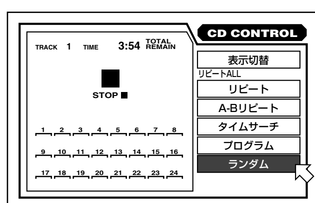
■ 停止中に

1 画面表示ボタンを押す

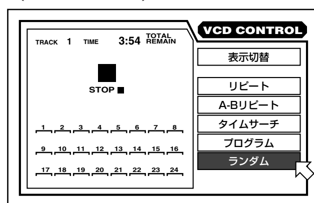
オンスクリーン画面が表示されます。

2 カーソル（▲/▼）ボタンを使って［ランダム］に ⇖を合わせる

（オーディオ CD）



（ビデオ CD）



3 決定ボタンを押す

[ランダム]の色が変わります。

ランダムな順番で再生が始まります。



・すべてのトラックを一回ずつ再生すると停止し、ランダム再生のモードが解除されます。
・一回のランダム再生で同じ曲が何回も再生されることはありません。
・オーディオＣＤ のランダム再生中に⇖を[ランダム] に合わせて、決定ボタンを押すと、ランダム再生が解除され、再生しているところからの通常再生になります。

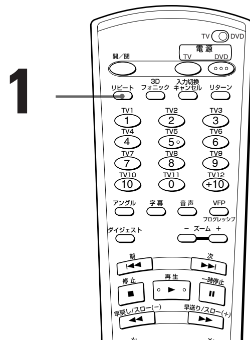
● **ランダム再生を途中でやめるには**
■停止ボタンを押します。

くり返し再生する

再生中のチャプターやタイトル(DVD ビデオ)、再生中のトラックや全トラック（オーディオ CD ／ビデオ CD）をくり返して再生することができます。また、ある一部分をくり返し再生ことができます。

タイトル/チャプター/トラック/全トラックをくり返す[リピート]

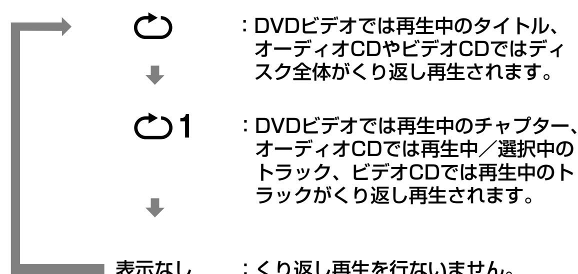
DVD ビデオ　オーディオ CD　ビデオ CD



■ DVD ビデオ　　：再生中に
オーディオ CD　：いつでも
ビデオ CD　　　：停止中または PBC オフで再生中に

1 リピートボタンを押す

リピートボタンを押すごとにリピートモードが切り換わります。リピートモードは本体のディスプレイに以下のように表示されます。



・ **リピート再生をやめるには**

■停止ボタンを押します。

DVDビデオの場合、再生を停止すると同時にリピート設定も解除されます。オーディオ CD やビデオ CD の場合、再生を停止しますがリピート設定は解除されません。

・ **リピートの設定を解除するには**

以下の 2 通りの方法があります。

＊ リピートボタンを押してディスプレイのリピート表示（[ ] または [1]）を消します。

＊ オンスクリーン画面上の［リピート］に を合わせ、決定ボタンを押して［リピート］を元の色に戻します。



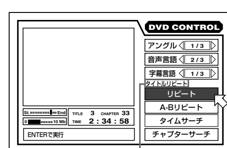
・オンスクリーン画面を使ってリピートモードを切り換えることもできます。

1　画面表示ボタンを押します。

2　カーソルボタンを使って画面上の［リピート］に を合わせ、決定ボタンを押します。

決定ボタンを押すごとにリピートモードが切り換わります。リピートモードは本体ディスプレイに表示されるほか、オンスクリーン画面上にも以下のように表示されます。

［DVD ビデオ］



リピート表示

〈お知らせ〉

● オーディオ CD やビデオ CD のプログラム再生中にリピートを行なう場合、[ ] 表示時はプログラム全体のリピート、[1] 表示時は現在のトラックのリピートになります。

● ビデオ CD の PBC 再生中は、リピート再生ができません。PBC 機能をオフにしてください。

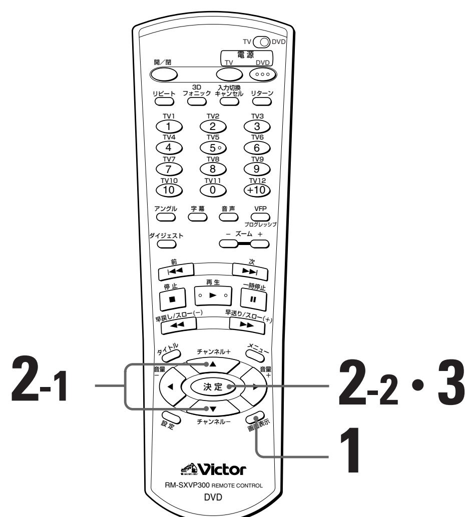
● DVD ビデオ再生中、リピートボタンを押して が表示された場合、ディスクが機能を無効とする収録方法になっております。

● **通常の画面に戻すには**

画面表示ボタンを押します。

指定した範囲をくり返し再生する [A-B リピート]

DVD ビデオ　オーディオ CD　ビデオ CD



■ 再生中に

1 画面表示ボタンを押す

オンスクリーン画面が表示されます。

2 カーソル（▲/▼）ボタンを使って [A-B リピート] に ☞ を合わせ、くり返したい部分の頭で、決定ボタンを押す

[A-B リピート]の色が変わります。

くり返し部分の最初のところが「A ポイント」として表示されます。

3 くり返したい部分の終わりで 、決定ボタンを押す

くり返し部分の最後のところが「B ポイント」として表示されます。

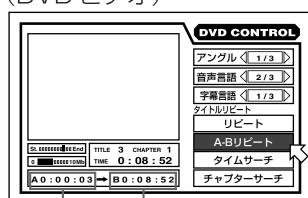
A-B 間がくり返し再生されます。



・ B ポイントは A ポイントを指定したタイトル、またはトラックの中でのみ指定できます。

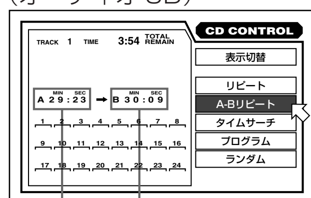
・ **画面表示の例：**

（DVD ビデオ）



A ポイント　B ポイント

（オーディオ CD）



A ポイント　B ポイント

・ **A-B リピートの設定を解除するには**

■ 停止ボタンを押すと、再生を停止し、設定を解除します。またはカーソル（▲/▼）ボタンを使って画面上の[A-B リピート]に ☞ を合わせ、決定ボタンを押すと、設定を解除します。この場合、通常の再生を続けます。

〈お知らせ〉

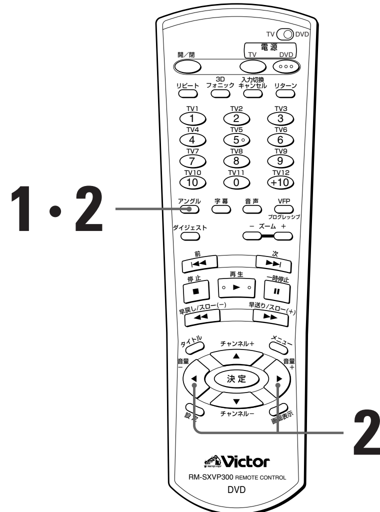
- **DVD ビデオ再生中、手順 2 で ⃠ が表示されたときは**
  そのディスクでは A-B リピート機能が使えません。
- **通常の画面に戻すには**
  画面表示ボタンを押します。

DVD ビデオ映像のアングルを変える

DVD ビデオの中には、複数のカメラを使って異なる角度から撮影した映像（マルチアングル）が複数収録されたものがあります。このようなディスクを再生するときに、どの角度からの映像を見るか選択することができます。
マルチアングル収録された個所の冒頭でテレビ画面に が表示されます。

見る角度を切り換える[アングル]

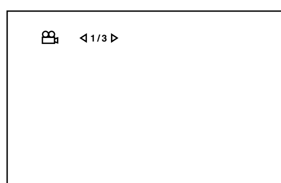
DVD ビデオ



■ 再生中に

1 アングルボタンを押す

アングル選択表示がテレビ画面に現れます。



2 アングルボタンまたはカーソル（◄/►）ボタンを使って見たいアングル番号を選ぶ

アングルボタンまたはカーソル（◄/►）ボタンを押すごとにアングルが変わります。

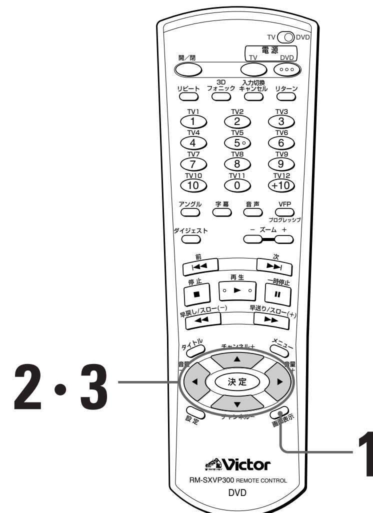
〈お知らせ〉

- ⃠が表示されたときは
  今再生しているところはマルチアングルで収録されておりません。

オンスクリーン画面からアングルを選ぶ[アングル]

DVD ビデオ





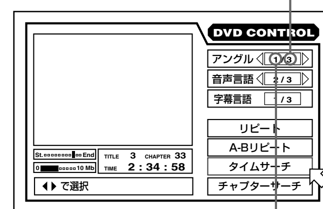
■ 再生中に

1 画面表示ボタンを押す

オンスクリーン画面が表示されます。

2 カーソル（▲/▼）ボタンを使って［アングル］に を合わせる

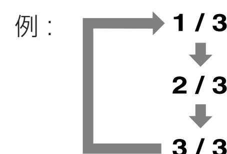
全体のアングル数



現在のアングル番号

3 カーソル（◄/►）ボタンを使ってアングルを選ぶ

例：



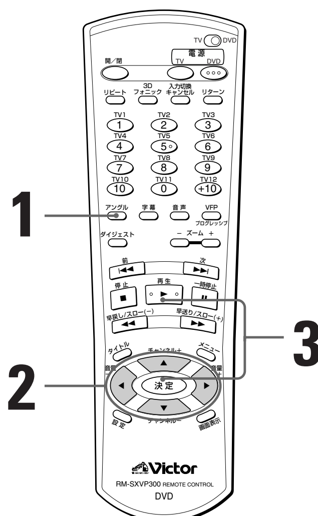
〈お知らせ〉

- ⃠が表示されたときは
  今再生しているところはマルチアングルで収録されておりません。
- 通常の画面に戻すには
  画面表示ボタンを押します。

アングル一覧からアングルを選ぶ　[アングル]

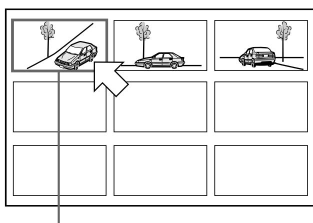
DVDビデオ

■ 再生中に



1 **アングルボタンを 1 秒以上押す**

テレビ画面上に、アングル一覧（最大９アングル）が表示されます。



選んでいるアングル

2 **カーソル（▲/▼/◀/▶）ボタンを使ってアングルを選ぶ**

選んだアングルに↖が移ります。

3 **決定ボタンまたは ▶ 再生ボタンを押す**

選んだアングルによる通常画面再生が始まります。

〈お知らせ〉

- ⃠が表示されたときは
  今再生しているところはマルチアングルで収録されておりません。
- 上記の操作中は、音声が消えます。

音声や字幕を切り換える

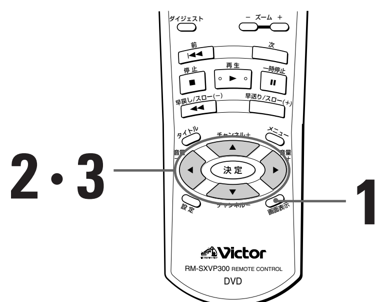
ＤＶＤビデオの中には複数の字幕言語や音声言語／サウンドが収録されているものがあります。それらの中から希望する言語／サウンドを選ぶことができます。
またビデオCDではオーディオチャンネルを切り換えることによって、カラオケの歌あり／なしを選ぶことができます。

字幕を切り換える[字幕言語]

DVD ビデオ

■ 再生中に

[オンスクリーン画面で切り換える]

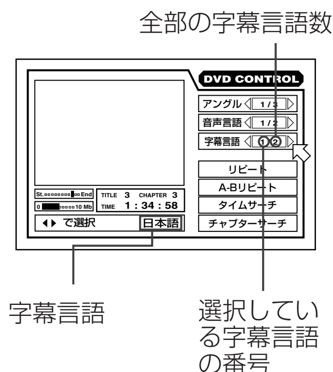


1 画面表示ボタンを押す

オンスクリーン画面が表示されます。

2 カーソル（▲/▼）ボタンを使って［字幕言語］に を合わせる

全部の字幕言語数



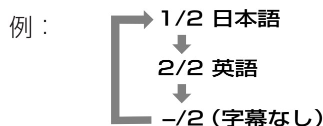
字幕言語

選択している字幕言語の番号

3 カーソル（◀/► ボタン）を使って字幕言語を選ぶ

カーソル（◀/►）ボタンを押すごとに字幕言語が切り換わります。

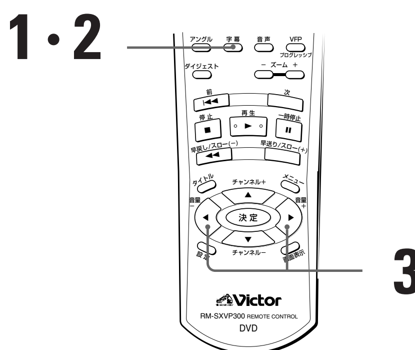
例：





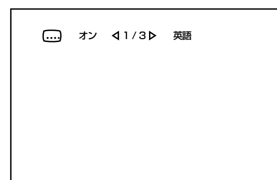
・上記の手順 2 と 3 で、カーソルボタンの代わりに字幕ボタンを使ってカーソル移動や字幕選択をすることもできます。
・DVD ビデオ再生中、オンスクリーン画面のメッセージ欄に選択中の字幕言語が表示される場合、英語、スペイン語、フランス語、中国語、ドイツ語、イタリア語、日本語以外は言語コードで表示されます。☞ 67 ページ

[通常画面のまま切り換える]



1 字幕ボタンを押す

字幕選択表示がテレビ画面に現れます。



2 字幕を表示する（オン）/ しない（オフ）を切り換えるには、字幕ボタンを押す

3 字幕言語を切り換えるには、カーソル（◀/►）ボタンを押す

〈お知らせ〉

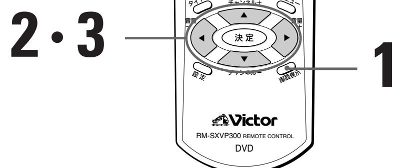
- ⃠ が表示されたときは
  ディスクに字幕が収録されていないか、その操作が禁止されています。
- マルチ字幕機能は、その内容が DVD ソフトに記録されていないときは、ご使用になれません。

音声を選ぶ[音声言語/音声]



■ 再生中に

[オンスクリーン画面で切り換える]

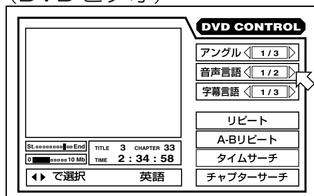


1 画面表示ボタンを押す

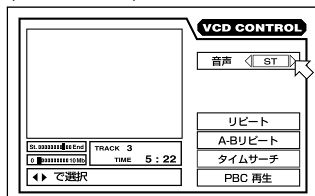
オンスクリーン画面が表示されます。

2 カーソル（▲/▼）ボタンを使って DVD ビデオは［音声言語］、ビデオ CD は［音声］に を合わせる

(DVD ビデオ)



(ビデオ CD)

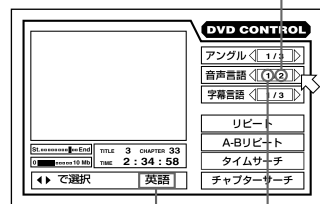


3 カーソル（◀/▶）ボタンを使って音声 / サウンドを選ぶ

押すごとに音声／サウンドが切り換わります。

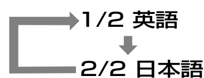
DVD ビデオの音声言語選択の例：

全部の音声言語数

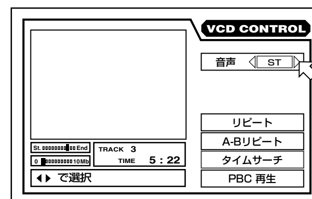


音声言語

選択している音声言語の番号



ビデオ CD のチャンネル選択：

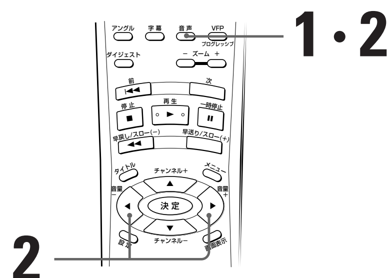


ST ：普通のステレオ再生
↓
L ：左チャンネルの音を再生
↓
R ：右チャンネルの音を再生



・DVDビデオ再生中、オンスクリーン画面のメッセージ欄に選択中の音声言語が表示される場合、英語、スペイン語、フランス語、中国語、ドイツ語、イタリア語、日本語以外は言語コードで表示されます。☞ 67 ページ

[通常画面のまま切り換える]



1 音声ボタンを押す

音声選択表示がテレビ画面に現れます。

(DVD ビデオの例)



2 音声ボタンまたはカーソル（◀/▶）ボタンを使って音声を切り換える

〈お知らせ〉

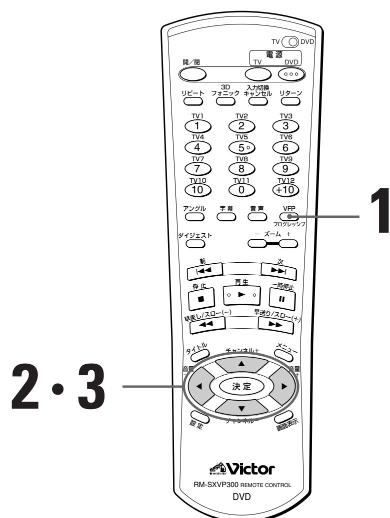
- **⃠ が表示されたときは**
  DVDビデオに複数の音声言語が収録されていないか、その操作が禁止されています。
- **DVDビデオのマルチ音声機能は、その内容がディスクに記録されていないときは、ご使用になれません。**
- **通常の画面に戻すには**
  画面表示ボタンを押します。

その他の機能

画質を調節する[VFP]



VFP(Video Fine Processing)機能を使うことにより、映像を観賞する部屋の照明やお好みに合わせて画質を調節することができます。

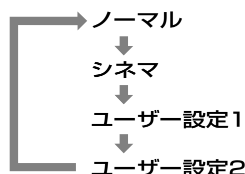


■ 再生中に

1 VFP／プログレッシブボタンを「ポン・ポン」と押して設定を選ぶ



VFP／プログレッシブボタンを押すごとに以下のように切り換わります。



「ノーマル」と「シネマ」は標準設定モードです。これらの設定内容を変更できません。「ユーザー１」と「ユーザー２」は、ご自分の好みに合わせて画質を調節して設定を保存できるユーザー設定モードです。「ユーザー１」または「ユーザー２」を選んでいるときに、以下の手順で画質に関する各種パラメータの調節を行ないます。

2 ユーザー設定をするときは、カーソル(▲/▼)ボタンを使ってパラメータを選ぶ

以下のパラメータがあります。

ガンマ	：	画面の暗い部分と明るい部分の明るさを変えずに、中間の明るさを調節します。
明るさ	：	画面の明るさを調節します。
コントラスト	：	画面のコントラストを調節します。
色の濃さ	：	画面の色の濃さを調節します。
色合い	：	画面の色合いを調節します。
シャープネス	：	画面のシャープさを調節します。
Y ディレイ	：	画面の色ズレを調節します。

3 カーソル（◀/▶）ボタンを使って各パラメータのレベルを調節する

カーソル（◀）ボタンを使って画面上のバーを左側に動かすとレベルが下がり、カーソル（▶）ボタンを使って画面上のバーを右側に動かすとレベルが上がります。

設定したレベルが選択中のユーザー設定におけるパラメータ値としてとして保存されます。

〈お知らせ〉

- 各パラメータのレベル段階数はパラメータによって異なります。



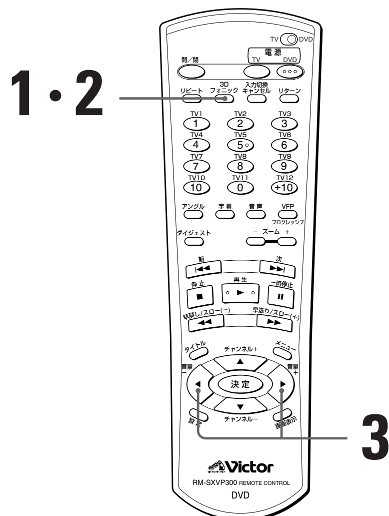
・画質の画面を消すには決定ボタンを押します。また10秒以上何も操作しないと、画質の画面は自動的に消えます。

・VFP ／プログレッシブボタンを数秒間押し続けると、スキャンモードの切り換えになります。

サラウンド感を出す [3D フォニック]



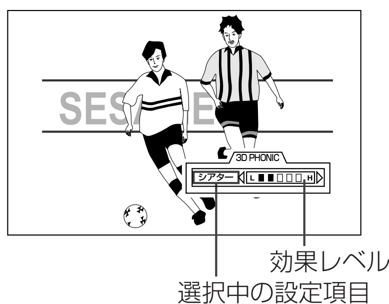
スピーカーが２本でも、サラウンドの効果を擬似的に演出することができます。



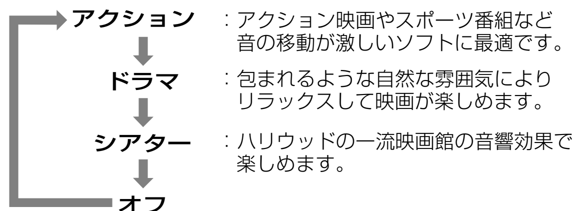
■ 再生中に

1 3D フォニックボタンを押す

2 3D フォニックボタンを押して好みの設定を選ぶ

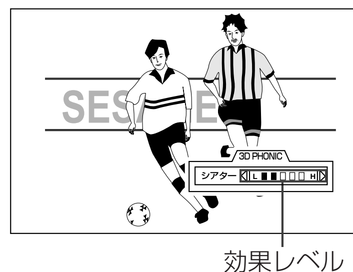


3D フォニックボタンを押すごとに、設定が以下のように切り換わります。



3 カーソル（◄／►）ボタンを使って効果レベルを調節する

効果レベルは、５段階に切り換わります。



L 側　：効果が弱まります。
H 側　：効果が強まります。



・3D フォニックの画面を消すときは、決定ボタンを押します。また、10 秒以上何も操作しないと、3D フォニックの画面は自動的に消えます。

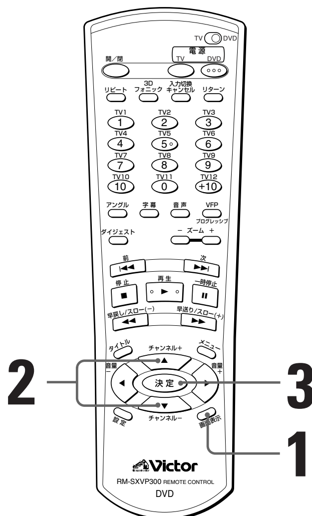
〈お知らせ〉

- 3D フォニックの効果は、ドルビーデジタルで収録されたDVDビデオの音声に限り正しい効果を得られます。その他のソースでは3Dフォニックボタンを押しても効果が得られません。
- ドルビーデジタルでリアの音声成分が収録されていないDVDビデオの場合、3Dフォニックの設定は切り換えられますが、正しい効果は得られません。
- デジタル音声出力端子から出力される DVD ビデオのドルビーデジタルビットストリーム信号には、3D フォニックの効果はかかりません。
- 3D フォニック機能を働かせると、「初期設定２」にあるダウンミックスとコンプレッションの設定が無効になります。☞ 56 57 ページ

時間表示を切り換える[表示切換]



オーディオCDやビデオCDの収録時間などを、オンスクリーン画面上あるいは本体のディスプレイウィンドウ内で見ることができます。

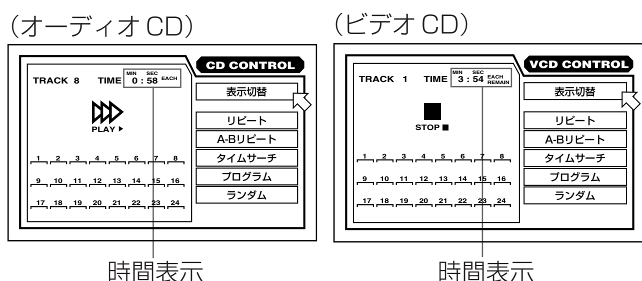


■ オーディオCD　：再生中または停止中に
　ビデオ CD　　：停止中に

1 画面表示ボタンを押す

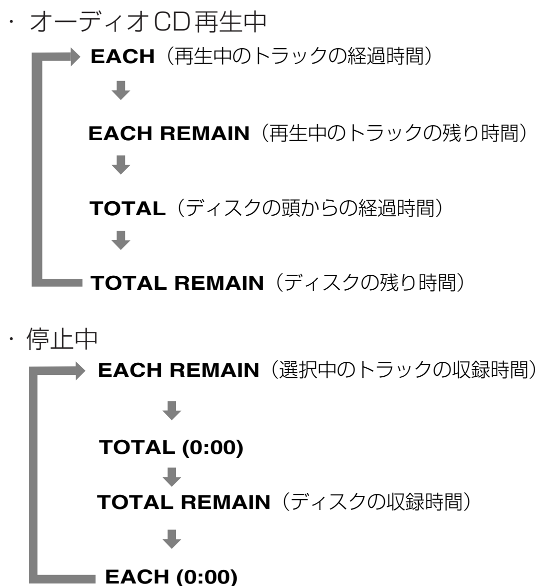
オンスクリーン画面が表示されます。

2 カーソル（▲/▼）ボタンを使って［表示切換］に を合わせる



3 決定ボタンを押す

決定ボタンを押すごとに、時間表示が以下のように切り換わります。

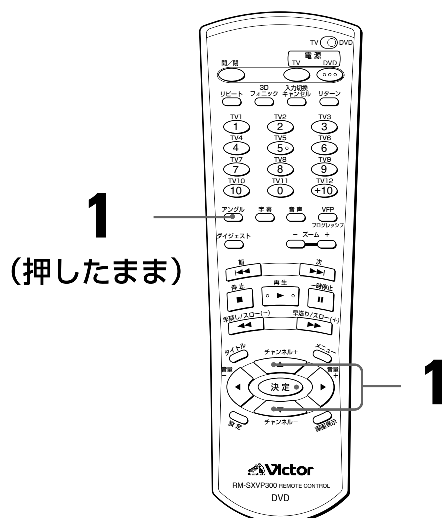




・ディスク停止中にEACH REMAINを選択した場合、⏮または⏭ボタンを使ってトラックを選ぶことにより、各トラックの収録時間を見ることができます。

ディスプレイ表示の明るさを変える

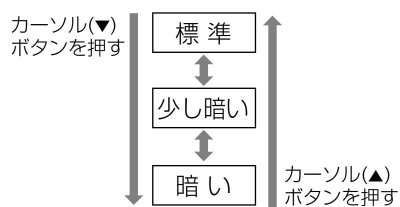
ディスプレイ表示の明るさを変えることができます。



■ ディスクがセットされていないとき、または停止中

1 アングルボタンを押したままカーソル（▲／▼）ボタンを押す

ディスプレイ表示の明るさを 3 段階の中から設定できます。



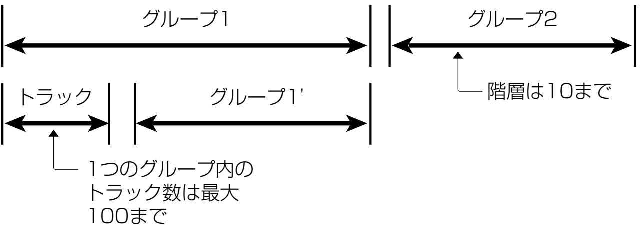
MP3 ディスクについて

本機はMP3フォーマットで記録されたCD-R/CD-RWディスクを再生することができます（本取扱説明書ではこれらのディスクを「MP3 ディスク」と呼んでいます）。
MP3 ディスクの場合、本機で使用できる機能は限られていますが、その操作はオーディオCDの場合の操作に似ています。

MP3 は正式には "MPEG-1 Audio Layer-3" と呼ばれ、MPEG 規格の 1 つです。人間の耳によく聞こえない音を無視して、聞こえる音のみを記録するというデータ圧縮方法により、少ないデータ容量でステレオオーディオを記録することができます。

MP3 ディスクには、それぞれの曲が各「トラック(ファイル)」に記録されています。また一般的に、複数のトラックをカテゴリー別、アーティスト別などの「グループ(フォルダ)」にまとめて分類してあります。また「グループのグループ」を作って、グループを階層構造にすることができます。このグループ階層はパソコンにおけるフォルダの階層構造と同じです。

本機は各グループ内に最大 100 トラック、各グループ階層内に最大 100 グループ、また最大 10 グループ階層を扱うことができます。これらを超える場合、本機は超えた分を認識せず、再生を行ないません。

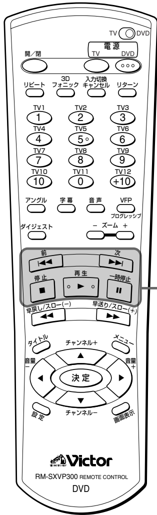


〈お知らせ〉
- MP3 ディスク再生時、デジタル音声出力からは信号が出力されません。
- トラックのプログラム再生、およびランダム再生はできません。
- ディスクの記録状態や特性により再生できない場合があります。
- ISO9660 フォーマットで記録された MP3 ディスクに限り再生できます。
- マルチセッション記録やパケットライト方式で記録されたディスクは、再生できません。
- ファイナライズされていないディスクは、再生できません。

MP3 ディスクの操 作

基本操作



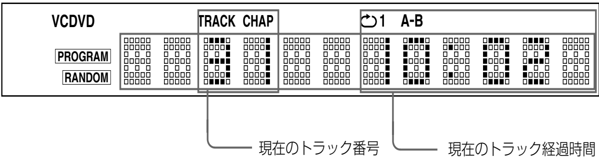


基本操作ボタンの機能を以下の表にまとめます。
ご覧のように、これらのボタンはオーディオCDの場合と同じ働きをします。

ボタン	機　能
再生 ▶	再生を始めます。
停止 ■	再生を停止します。
一時停止 ❚❚	再生を一時停止します。
前 ◀◀ / 次 ▶▶	前後のトラックを選択します。 *1

*1: グループをまたいだ前後のトラックは選択できません。

〈お知らせ〉
- MP3ディスク の場合、早送り／早戻し再生ができません。
- 現在のトラックは、以下のように本体ディスプレイ上に表示されます。

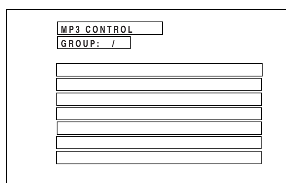


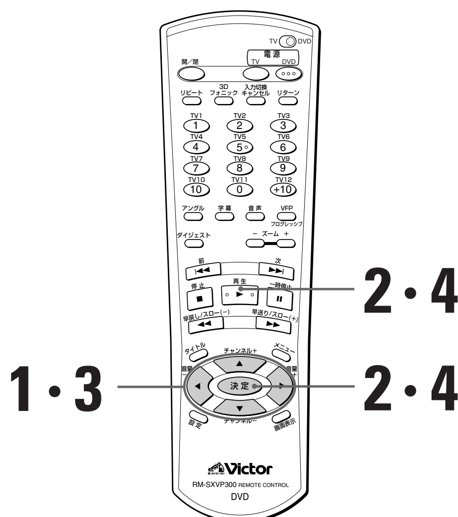
- グループ番号の表示はできません。
- ディスクに MP3 以外のファイルが収録されている場合、それらは表示されません。
- 現在のトラック経過時間以外の時間情報は表示できません。

再生するグループやトラックを指定する

MP3

MP3 ディスクをセットすると、ディスクを読み込んだ後に、MP3 コントロール画面が自動的にテレビに表示されます。
この画面から再生するグループやトラックを指定することができます。





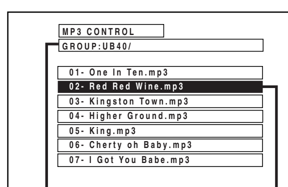
■ 停止中、MP3 コントロール画面が表示されているときに

1 カーソル（▲／▼）ボタンを使って希望のグループを選ぶ（反転表示される）

2 決定ボタンまたは ▶ 再生ボタンを押す

グループ内のトラックが表示されます。

3 カーソル（▲／▼）ボタンを使って希望のトラックを選ぶ（反転表示される）

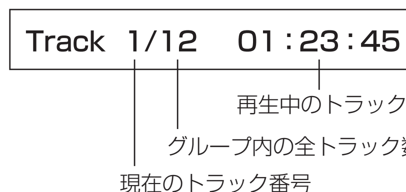


選択されたグループ　選択されたトラック

4 決定ボタンまたは ▶ 再生ボタンを押す

指定したトラックから再生が始まります。

再生中、画面の最下行の表示が以下のようになります。



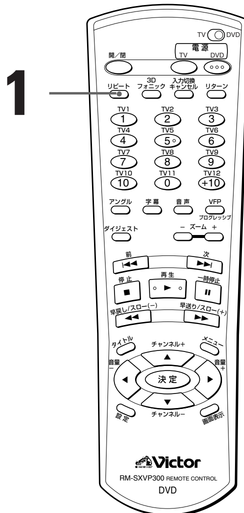
〈お知らせ〉

- MP3 ディスク内にグループに属さないトラックがある場合、左記手順 **1** でそれらを選ぶこともできます。その場合、決定ボタンまたは▶再生ボタンを押すと直ちに再生が始まります。
- 左記手順 **1**、**2** で指定したグループ内にさらにグループがある場合、再び手順 **1**、**2** を繰り返します。

リピート再生

MP3

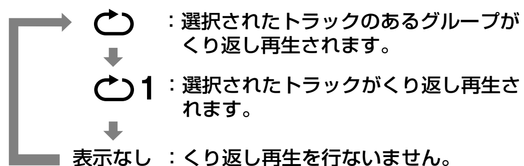
トラックまたはグループ内をくり返し再生することができます。



■ いつでも

1 リピートボタンを押す

リピートボタンを押すごとにリピートモードが切り換わります。リピートモードは、本体のディスプレイに以下のように表示されます。



・ **リピート再生をやめるには**

■停止ボタンを押します。このとき、リピートモードは残ります。

・ **リピートの設定を解除するには**

リピートボタンを押してディスプレイのリピート表示（ または 1）を消します。

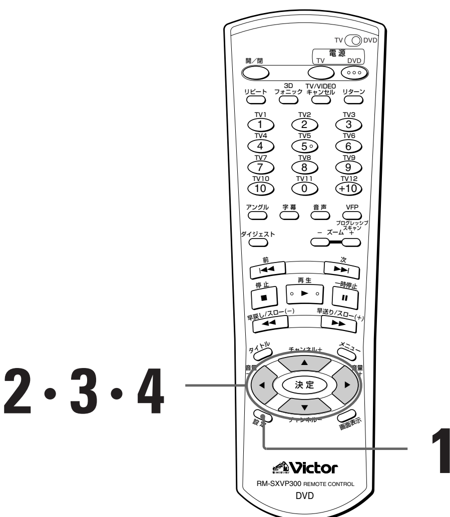
〈お知らせ〉

- ディスク全体のリピートはできません。

初期設定をする

初期設定画面（1、2）やスピーカー設定画面を使って再生に関する初期設定をします。

初期設定をする



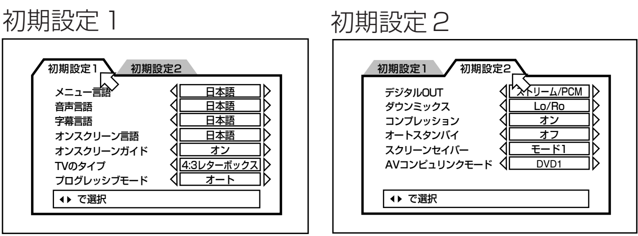
■ いつでも（電源が切れているときを除き）

1 **設定ボタンを押す**

設定画面が表示されます。

初期設定画面 1 と 2 があります。

2 **これらの画面を切り換えるには、カーソル（◄/►）ボタンを使ってタグに を合わせる**



3 **カーソル（▲/▼）ボタンを使って設定したい項目に を合わせる**



選択した項目

4 **カーソル（◄/►）ボタンを押して項目の設定をする**

〈お知らせ〉

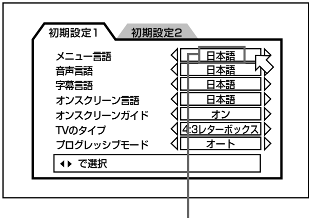
- 通常の画面に戻すには設定ボタンを押します。
- DVD ビデオまたはビデオ CD 再生中に設定画面を表示させた場合、設定画面を表示させたときの再生位置が記憶されます。
  通常の画面に戻ったときに、その位置から再生を開始します。
- それぞれの詳しい設定方法については以下の ❑ 内のページをご参照ください。

・ **初期設定 1**
メニュー言語 54
音声言語 54
字幕言語 54
オンスクリーン言語 54
オンスクリーンガイド 54
TV のタイプ 55
プログレッシブモード 55
・ **初期設定 2**
デジタル OUT 56
ダウンミックス 56
コンプレッション 57
オートスタンバイ 57
スクリーンセーバー 57
AV コンピュリンクモード 57

初期設定 1

メニュー言語

DVD のディスクには複数の言語によるメニュー画面が収録されているものがあります。このようなディスクを再生するときに、最初にどの言語でメニュー表示するか決めておくことができます。



言語の選択

カーソル（►）ボタンを押すごとに、言語は以下の順で変わります。またカーソル（◄）ボタンを押すごとに、逆の順で変わります。

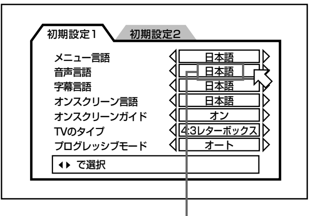
英語→スペイン語→フランス語→中国語→ドイツ語→イタリア語→日本語→さらにＡＡ からＺＵ までの言語コード

☞ 67 ページ

※ 選択したメニュー言語がディスクに収録されていないときには、ディスクに標準設定されているメニュー言語で表示されます。

音声言語

DVD のディスクには複数の音声言語が収録されているものがあります。このようなディスクを再生するときに、最初にどの音声言語で再生するかを決めておくことができます。



言語の選択

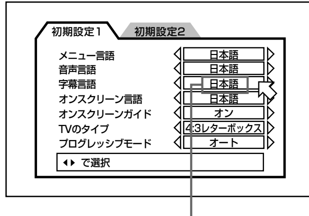
カーソル（►）ボタンを押すごとに言語は以下の順で変わります。また カーソル（◄）ボタンを押すごとに、逆の順で変わります。

英語→スペイン語→フランス語→中国語→ドイツ語→イタリア語→日本語→さらにＡＡ からＺＵ までの言語コード
☞ 67 ページ

※ 選択した音声言語がディスクに収録されていないときには、ディスクに標準設定されている音声言語で再生されます。

字幕言語

外国映画などのDVD のディスクには複数の言語で字幕が収録されているものがあります。このようなディスクを再生するときに、最初にどの言語を表示するか決めておくことができます。



言語の選択

カーソル（►）ボタンを押すごとに、言語は以下の順で変わります。また カーソル（◄）ボタンを押すごとに、逆の順で変わります。

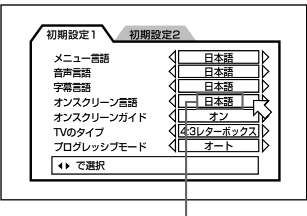
英語→スペイン語→フランス語→中国語→ドイツ語→イタリア語→日本語→さらにＡＡ からＺＵ までの言語コード（☞ 67 ページ）**→オフ**

※ 選択した言語の字幕がディスクに収録されていないときには、ディスクに標準設定されている言語で字幕が表示されます。

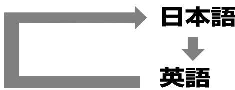
オンスクリーン言語

オンスクリーン画面の言語を切り換えることができます。

カーソル（◄/►）ボタンを押すごとに言語が切り換わります。



言語の選択



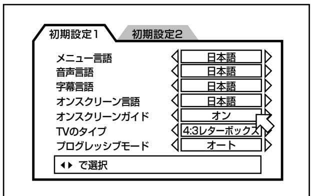
日本語

英語



オンスクリーンガイド

本機には再生している映像に重ねてマークや文字などを表示させる機能があります。表示されたマークや文字によってディスクの収録状態を把握したり、本機の動作状態を把握することができます。またこれらの表示は出さないようにすることもできます。



・ **オン** ： マークや文字が表示されます。
・ **オフ** ： マークや文字が表示されません。

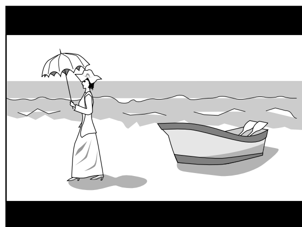
例：など
☞ 17 ページ

TVのタイプ

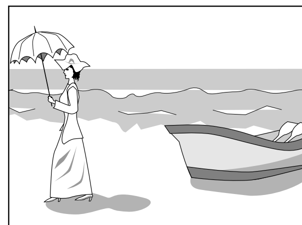
初期設定1	初期設定2
メニュー言語	日本語
音声言語	日本語
字幕言語	日本語
オンスクリーン言語	日本語
オンスクリーンガイド	オン
TVのタイプ	4:3レターボックス
プログレッシブモード	オート
◀▶ で選択	

DVDビデオの映画ソフトの多くは、ワイドテレビ（縦横比16：9の横長テレビ）用の映像が収録されています。その映像を通常のテレビ（縦横比4：3）に映すときの変換方式として「レターボックス」か「パンスキャン」の2種類あります。この2種類の変換方式がディスクに収録されているとき、どちらの変換方式で映すかを選択できます。接続したテレビがワイドテレビ（縦横比16：9の横長テレビ）のときは「16:9オート」か「16:9ノーマル」を選択します。接続したテレビが通常のテレビ（縦横比4：3）のとき、お好みに応じて「レターボックス」か「パンスキャン」を選択します。

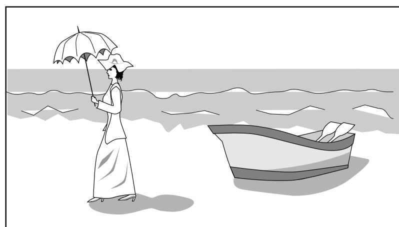
- **4:3 レターボックス**
  上下に黒い隙間がある状態で映ります。左右両端の映像は切り取られません。通常のテレビ（縦横比4：3）に接続したとき、この設定にします。



- **4:3 パンスキャン**
  左右両端が切り取られる状態で映ります。上下に黒い隙間は映りません。通常のテレビ（縦横比4：3）に接続したとき、この設定にします。



- **16:9 オート**
  普通のワイドテレビと接続したとき、この設定にします。



- **16:9 ノーマル**
  画面サイズが16:9に固定されているワイドテレビと接続したとき、この設定にします。（本機が4：3で収録されたDVDソフトを再生するとき、出力信号の画面幅を自動調節します）

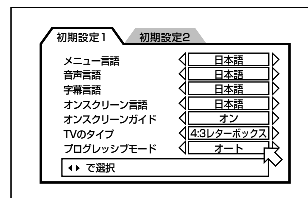


・ディスクが4:3パンスキャンに対応していないときは、4:3パンスキャンを選択していてもレターボックス表示になります。

・「16:9ノーマル」設定で4:3画面のDVDソフトを再生すると、画面幅を変換しているため画質が変わります。

プログレッシブモード

以下の中からプログレッシブモードを設定します。
スキャンモードが「プログレッシブスキャン」に設定（プログレッシブランプ点灯 ☞ 21 ページ）されているときに限り有効です。



- **オート**
  本機がDVDビデオの映像素材タイプ（フィルム素材またはビデオ素材）をディスク情報に基づいて判別し、これに基づいてプログレッシブ変換します。

- **ビデオ1**
  ディスクに収録された素材をビデオ素材として奇数フィールドと偶数フィールドを合成してから、プログレッシブ変換します。
  比較的動きの少ないビデオ素材のディスクの再生に適しています。

- **ビデオ2**
  ディスクに収録された素材をビデオ素材として1つのフィールド内で補間することで、プログレッシブ変換します。
  比較的動きの多いビデオ素材のディスクの再生に適しています。

- **フィルム**
  ディスクに収録された素材をフィルム素材としてプログレッシブ変換します。
  フィルム素材、またはプログレッシブスキャン方式で記録されたビデオ素材のディスクの再生に適しています。

- **スマート**
  ディスクの再生から素材のタイプ（フィルムまたはビデオ）を判定して、モードを切り換えます。フィルム素材とビデオ素材が混在しているディスクの再生に適しています。

〈お知らせ〉

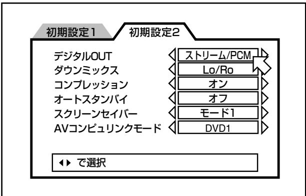
- 通常は「オート」に設定します。
- ディスクの中には「オート」モードで正しく再生されないものがあります。特定のDVDビデオで映像にスジ状のノイズが入ったり不鮮明なときは、設定を変えてみてください。

初期設定をする（つづき）

初期設定 2

デジタル OUT

デジタル音声出力端子に接続する機器の種類によって、設定を合わせる必要があります。デジタル音声出力端子に何もつながない場合は設定する必要がありません。



- ストリーム /PCM :
  DTS デコーダー、ドルビーデジタルデコーダー、MPEG デコーダーの機能を備えたアンプまたはそれぞれのデコーダーと接続するとき、この設定にします。
- DOLBY DIGITAL/PCM :
  ドルビーデジタルデコーダーの機能を備えたアンプ、あるいはドルビーデジタルデコーダーと接続するとき、この設定にします。
- PCM のみ :
  リニア PCM のみ対応しているデジタル端子付きアンプやMDレコーダー、DATデッキなどと接続するとき、この設定にします。

ディスクの種類と出力信号の関係は次の表をご覧ください。

再生ディスク	出力		
	ストリーム/PCM	DOLBY DIGITAL/PCM	PCMのみ
48/44.1kHz、16ビットPCMのDVD	48/44.1kHz、16ビットステレオのリニアPCM		
48/44.1kHz、20/24ビットPCMのDVD	48/44.1kHz、16ビットステレオのリニアPCM*		
96/88.2 kHz、リニアPCMのDVD	出力しない		
DTSのDVD	DTSビットストリーム	48kHz、16ビットステレオのリニアPCM	
ドルビーデジタルのDVD	ドルビーデジタルビットストリーム		48kHz、16ビットステレオのリニアPCM*
オーディオCD	44.1kHz、16ビットステレオのリニアPCM		
ビデオCD	44.1kHz、16ビットステレオのリニアPCM		
DTSのオーディオCD	DTSビットストリーム	44.1kHz、16ビットステレオのリニアPCM	

* 著作権保護の設定されていないDVD ソフトの中には 20 または 24 ビットで出力されるものがあります。

〈お知らせ〉

- 本機のデジタル音声出力端子が、DTSデコーダー搭載以外のアンプと接続されているときは、DTSのオーディオ CD を再生しないでください。ノイズによりスピーカーを破損する恐れがあります。

ダウンミックス

サラウンドオーディオで収録されたDVD ビデオを正しく再生するために、接続する機器に合わせて音声出力端子（アナログ）から出力される信号を切り換えます。この設定は、サラウンドオーディオで収録されたDVD ビデオを再生するときにのみ影響します。

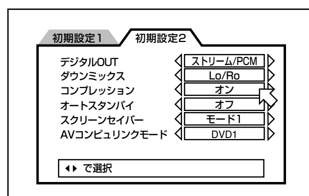


- Lo/Ro ：本機の音声出力を通常のステレオアンプやレシーバーあるいはテレビに接続してステレオ音声を楽しむときに、この設定にします。また、サラウンドオーディオで収録されたDVDビデオのオーディオをMD やカセットテープに録音するときにも、この設定にします。
- Lt/Rt ：本機の音声出力をサラウンドデコーダー（または内蔵アンプ）に接続してサラウンドオーディオを楽しむときにこの設定にします。

〈お知らせ〉

- 3D フォニック機能が働いているときは、ダウンミックスは機能しません。

コンプレッション



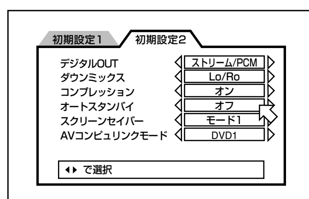
5.1ch で収録されたソースをそのままダウンミックスするとダイナミックレンジが過大になりますが、コンプレッション機能によってアナログ音声出力信号のダイナミックレンジを適正に保つことができます。
5.1ch ソースを再生するときは常にこの機能が自動的にオンになります。

・ **オン** ： ソースにかかわらず常にコンプレッション機能が働きます。
・ **オフ** ： 1chや2chのソースを再生するときにコンプレッション機能がオフになります。

〈お知らせ〉

- 3D フォニック機能が働いているときは、コンプレッションは機能しません。

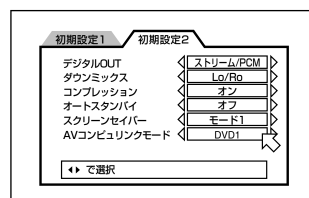
オートスタンバイ



一定時間、本機の停止状態が続くと、自動的に本機を電源「切（スタンバイ状態）」にすることができます。

・ **60** ： 60 分後に電源「切」になります。
・ **30** ： 30 分後に電源「切」になります。
・ **オフ** ： オートスタンバイ機能は働きません。

AV コンピュリンクモード



ビクターのテレビやレシーバーなどと連動させるとき、接続した機器の入力端子に合わせてAVコンピュリンクモードを設定します。「DVD1」「DVD2」「DVD3」の中から選択し、設定してください。
☞ 62 ページ

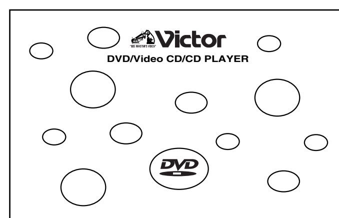
〈お知らせ〉

- AV コンピュリンクコードをつながないときは、設定する必要がありません。

スクリーンセーバー

長い時間、静止画を映しているとモニター画面が焼き付きを起こし、静止画の画像が残ってしまうことがあります。これを防止するための機能がスクリーンセーバーです。以下の設定が選択できます。

・ **モード１** ： 画面が暗くなります。
・ **モード２** ： スクリーンセーバー画面が現れ、画面が暗くなります。



・ **オフ** ： スクリーンセーバーは機能しません

ご注意

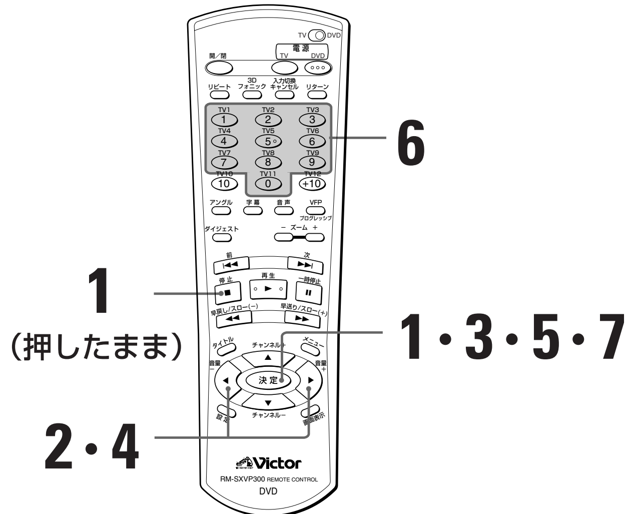
- **再生中に静止画が長く続く場合、スクリーンセーバーは機能しますが、このときモード２に設定していてもモード１の動作（画面が暗くなる）になります。**
- **スクリーンセーバーを「オフ」にした場合、モニター画面の焼き付きには十分ご注意ください。**
- **オーディオCDやMP3ディスクをセットしているときは、スクリーンセーバー機能が働きません。**

視聴制限を設定する

たとえば過激なシーンを含むDVDビデオの映画ソフトを再生する場合など、ディスクが対応しているとパレンタルロック機能の設定に応じて過激シーンをカットしたり別のシーンに差し換えることができます。

はじめに設定する[パレンタルロック]





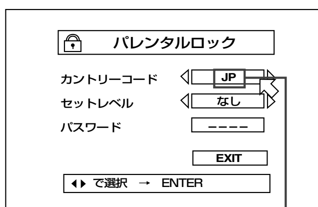
■ ディスク停止中、またはディスクが入っていないときに

1 ■ 停止ボタンを押したまま決定ボタンを押す

パレンタルロック画面が表示されます。

↖ が[カントリーコード]を指します。

2 ↖ が[カントリーコード] を指しているときに、カーソル(◄/►)ボタンを使ってカントリーコードを選ぶ



カントリーコード例：通常は JP (Japan) を選択します。

カントリーコード一覧 ☞ 68 ページ

3 決定ボタンを押す

↖ が[セットレベル]に移動します。

4 ↖ が[セットレベル] を指しているときに、カーソル(◄/►)ボタンを使ってレベルを選ぶ

「レベル 1」～「レベル 8」の中から選びます。セットレベル「なし」が視聴制限を全くしない設定です。設定したレベル値以上のレベルの DVD ビデオは再生できなくなります。したがってレベル数値が小さいほど、制限が厳しくなります。

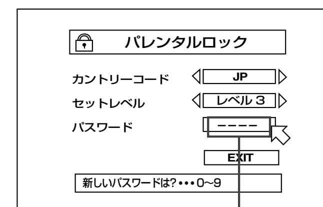


選択レベル

5 決定ボタンを押す

↖ が[パスワード]に移動します。

6 数字ボタン（1 ～ 9、0）を使って任意のパスワード（ 4 ケタの数字）を入力する



パスワードの入力

7 決定ボタンを押す

パレンタルロックのレベルとパスワードが設定されます。

↖ が[EXIT]に移動します。

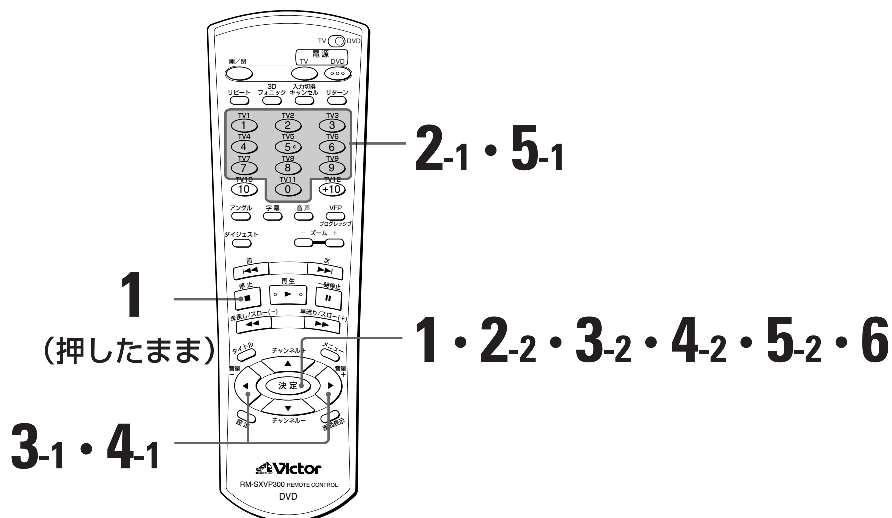
もう一度決定ボタンを押すと、オープニング画面に戻ります。



・ パスワードの数字入力を間違えたときは、手順 **7** で決定ボタンを押す前に入力し直します。

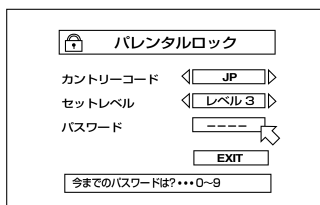
設定を変更する[パレンタルロック]

DVDビデオ



■ ディスク停止中、またはディスクが入っていないときに

1 ■ 停止ボタンボタンを押したまま決定ボタンを押す



パレンタルロック画面が表示されます。

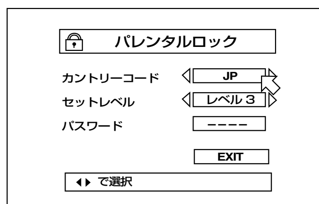
☞ が[パスワード]を指します。

2 数字ボタン（1～9、0）を使って現在のパスワードを入力し、決定ボタンを押す

正しいパスワードを入力すると ☞ が[カントリーコード]に移動します。

間違って入力した場合、「違います。やり直してください」と表示されます。

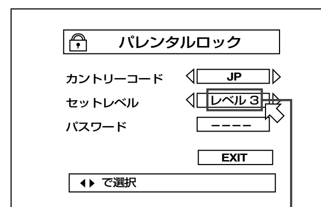
3 カントリーコードを変更するには、カーソル(◄/►)ボタンを使って設定を変更し、決定ボタンを押す



☞ が[セットレベル]に移動します。

カントリーコードを変更した場合、セットレベルも設定し直してください。

4 セットレベルを変更するには、☞ が[セットレベル]を指しているときにカーソル(◄/►)ボタンを使って設定を変更し、決定ボタンを押す



レベルの選択

☞ が[パスワード]に移動します。

5 数字ボタン（1～9、0）を使ってパスワードを入力し、決定ボタンを押す

☞ が[EXIT]に移動します。

ここで入力したパスワードが新しいパスワードになります。パスワードを変更しないときは、現在のパスワードを入力してください。

カントリーコードやセットレベルを変更する場合も、必ずこの操作（パスワード入力→決定ボタン）を行なってください。この操作をやらないと、カントリーコードやセットレベルが変更されません。

6 もう一度決定ボタンを押す

オープニング画面に戻ります。

〈お知らせ〉

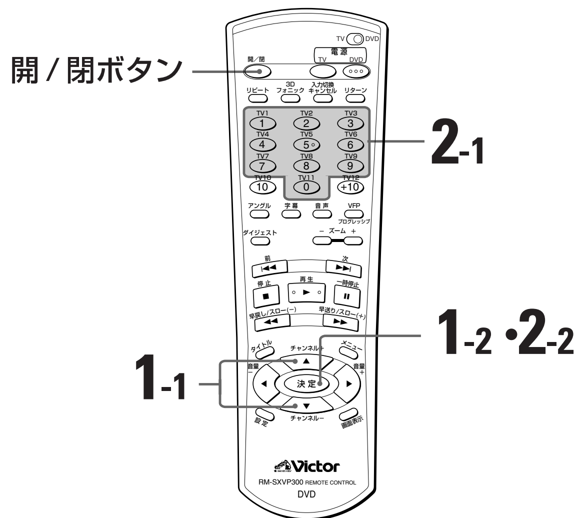
- 手順 **2** で、設定されているパスワードを忘れてしまったときは「8888」を入力します。
- 手順 **2** でパスワードの入力を 3 回間違えると、パレンタルロックの設定変更ができなくなります。このとき ☞ が[EXIT]に移動しますので、決定ボタンを押してオープニング画面に戻してください。

視聴制限を設定する（つづき）

設定を一時解除する[パレンタルロック]



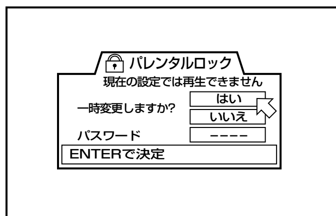
パレンタルロックの視聴制限を厳しく設定しているときには、再生しようとしても全く見ることができないことがあります。このようなときは、パレンタルロックの視聴制限を一時的に解除するかどうかを選ぶ画面が表示されます。



1 カーソル（▲/▼）ボタンを使って「はい」に を合わせ、決定ボタンを押す

「はい」を選ぶと、 が［パスワード］に移動します。

「いいえ」を選んだときは、開 / 閉ボタンを押してディスクを取り出します。



2 設定されているパスワードを数字ボタン（1～9、0）を使って入力し、決定ボタンを押す

間違って入力した場合、「違います。やり直してください」と表示されます。

正しいパスワードを入力してください。

パレンタルロックが一時解除され、ディスクが再生されます。

〈お知らせ〉

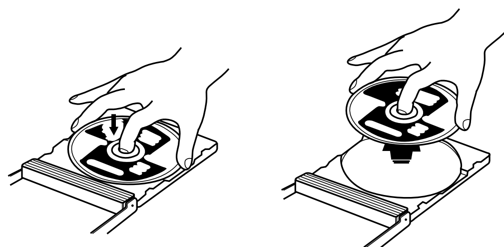
• パスワードの入力を３回間違えると、 は［いいえ］に移動し、カーソル（▲/▼）は働かなくなります。

ディスクの取り扱い

取り扱い時の注意

ディスクを取り扱う際、以下のようなことに注意してください。正しく取り扱わないと、信号を読み取れなくなったり、ノイズが生じたり、また誤動作の原因となることがあります。

- ディスクをケースから取り出すときは、ケースの中心を押したままディスクを持ち上げてください。
- ディスクに傷をつけないでください。
- ディスクの信号面（鏡面）を汚したり、ラベル面に紙やセロハンテープなどを張らないでください。
- ディスクを反らせないでください。



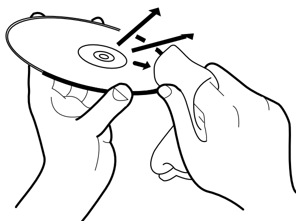
ディスクの保管

使用するディスクは、ほこり、傷、変形などを防ぐため、必ず専用のケースの中に入れて保管し、次のようなところには絶対に置かないでください。

- **直射日光の当たるところ**
- **湿気やほこりの多いところ**
- **暖房器のそばや車の中など**

ディスクのクリーニング

- ディスクの信号面についたほこりや指紋は、柔らかい乾いた布でディスクの中心から外側に向かって軽く拭いてください。ディスクの円周方向には拭かないでください。
- レコードクリーナーやレコードスプレー、シンナーおよびベンジンなどの溶剤を、ディスクのクリーニングには使用しないでください。



AV コンピュリンクの活用

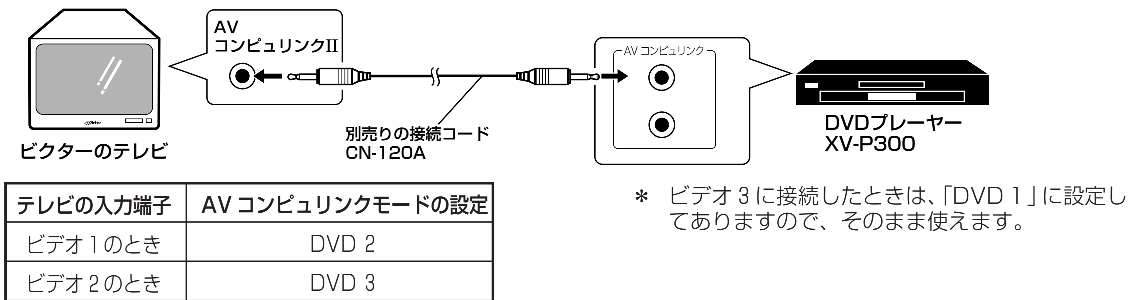
テレビ、ビデオカセットレコーダー、DVD プレーヤー、レシーバーなどいくつかの機器をつないで、再生するための接続をしても、操作はそれぞれ別々に行なわなければならない煩わしさがあります。一つの機器の操作に連動してほかの機器を動作させることによって、簡単な操作を実現したものが AV コンピュリンク機能です。

接続と設定をする

AV コンピュリンクコードを使用し、各機器の AV コンピュリンク端子どうしを接続します。機器によっては、AV COMPU LINK 端子と英語で表記されていますが、同様の端子です。
AV コンピュリンクコードがない場合は、モノラルミニプラグ付き接続コード:CN-120A をお買い求めのうえご使用ください。

- AV コンピュリンクモードの設定（DVD1 ~ DVD3）の切り換えは、「初期設定 2」（☞ 57 ページ）で操作します。

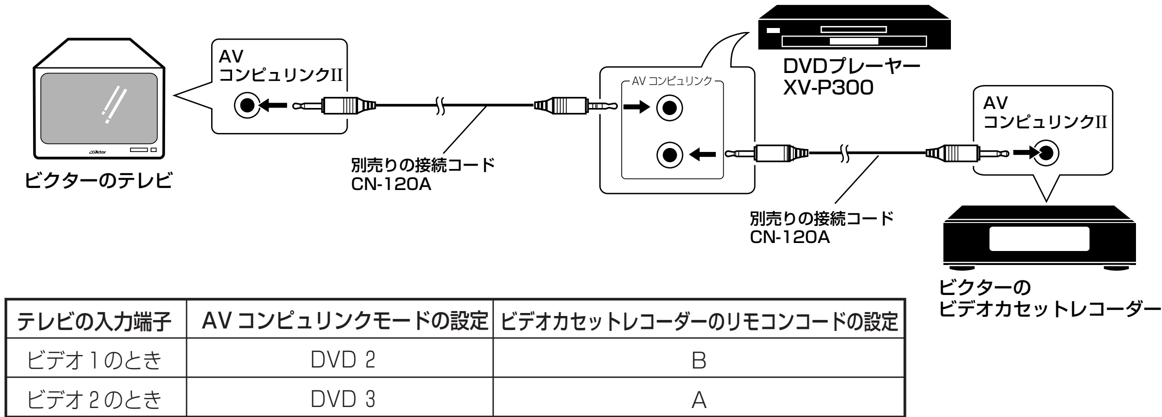
■ テレビとの AV コンピュリンク接続



テレビの入力端子	AV コンピュリンクモードの設定
ビデオ 1 のとき	DVD 2
ビデオ 2 のとき	DVD 3

＊ ビデオ 3 に接続したときは、「DVD 1」に設定してありますので、そのまま使えます。

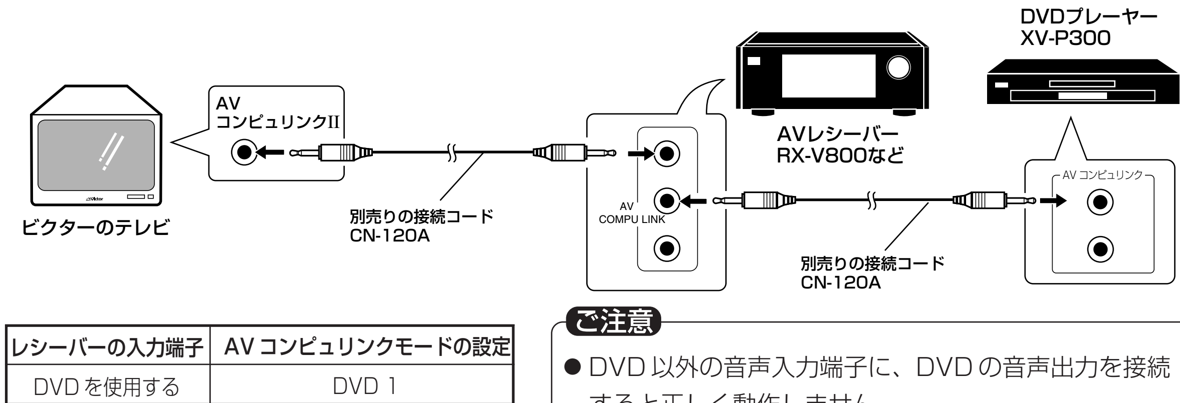
■ テレビおよびビデオカセットレコーダーとの AV コンピュリンク接続



テレビの入力端子	AV コンピュリンクモードの設定	ビデオカセットレコーダーのリモコンコードの設定
ビデオ 1 のとき	DVD 2	B
ビデオ 2 のとき	DVD 3	A

＊ ビデオ 3 に接続したときは、「DVD1」に設定してありますので、そのまま使えます。リモコンコードの設定は「A」にします。

■ テレビおよびレシーバーとの AV コンピュリンク接続



レシーバーの入力端子	AV コンピュリンクモードの設定
DVD を使用する	DVD 1

ご注意

- DVD 以外の音声入力端子に、DVD の音声出力を接続すると正しく動作しません。
- コンポーネント映像出力をテレビにつなぐときは、DVD プレーヤーの AV コンピュリンクモードの設定を「DVD1」にしてください。またレシーバーの S ビデオ端子とは接続しないでください。

操作をする

ソース機器（DVDプレーヤーやビデオカセットレコーダーなどの再生する機器のことをいいます）を再生するだけで音や映像を鑑賞することができます。テレビやレシーバーの入力を切り換えたり、あらかじめ電源を「入」にする操作は必要ありません。

1 テレビの主電源スイッチを「入」にする

2 ソース機器にディスクまたはビデオカセットを入れる

3 ソース機器の ► 再生ボタンを押す

次の動作が自動的に行なわれます。

- テレビの電源が「入」になります。
- テレビの入力切り換えがソース機器を接続している外部入力（ビデオ 1、ビデオ 2、またはビデオ 3）になります。
- レシーバーの電源が「入」になります。
- レシーバーのソース切り換えが再生ボタンを押した機器に切り換わります。

ご参考に

故障かな?と思う前に

故障かな？と思ったら、修理を依頼される前に以下の点検をしてください。

症状	原因	処置
電源が入らない。	電源コードがコンセントから抜けている。	電源コードをしっかりと差し込む。
リモコンが働かない。	本体と離れすぎている。 本体のほうに向けていない。	リモコン受光部に向けて約 5m 以内で障害物を避けて送信する。
	電池が消耗している。	電池を交換する。
	電池の極性（＋ / － ）が違う。	電池を正しく入れ直す。
	リモコン受光部に日光が直接当たっている。	直射日光をさえぎる。
入力切換 / キャンセルボタン、カーソルボタン、数字ボタンが働かない。	TV/DVD 切換スイッチが正しく設定されていない。	本機を操作するときは "DVD" 側、テレビを操作するときは "TV" 側に設定する。
映像が出ない。	ビデオコードを正しく接続していない。	正しく接続する。☞ 20～23 ページ
	テレビの入力選択が間違っている。	正しい選択を行う。
	再生可能なディスクをセットしていない。	再生可能なディスクをセットする。☞ 18 ページ
	映像端子（コンポジット）にテレビを接続しているのに、スキャンモードが「プログレッシブスキャン」に設定されている。	スキャンモードを「インターレーススキャン」に変更する。☞ 21 ページ
音が出ない。	オーディオコードを正しく接続していない。	正しく接続する。☞ 20～23 ページ
	アンプの入力選択 / 操作が間違っている。	正しい選択 / 操作を行う。
再生できない。	本機とディスクのリージョン番号(ローカル番号)が異なっている。	ディスクを取り換える。
映像が乱れる / 音声がひずむ。	ディスクが汚れている。	ディスクをクリーニングする。
	本機とテレビの間にビデオカセットレコーダーを接続している。	本機とテレビを直接接続する。☞ 20 ページ
映像の端が欠けている。	初期設定が間違っている。	初期設定を正しくする。☞ 55 ページ
	テレビの設定が間違っている。	テレビの設定を正しく合わせる。☞ 55 ページ
正しく動作しない。	雷や静電気などでマイコンが誤動作している。	いったん電源を切り、電源コードを接続し直す。
	暖房を始めた直後や、寒いところから急に暖かいところへ移動したことによって製品内部に水滴がついている。	電源を「入」にしたまま約 1 ～ 2 時間待ち、乾いてから使う。

以上の項目に当てはまらないときは、本機以外の原因も考えられます。接続している機器なども併せてお調べください。それでもなお異常のあるときは、「保証とアフターサービス」（☞ 65 ページ）の項をお読みの上、修理を依頼してください。

別売りアクセサリー

- オーディオ / ビデオコード : VX-35G （モノラル音声テレビとの接続用）
- オーディオコード : CN-510E
- 光デジタルケーブル : XN-110SA
- 同軸デジタルケーブル : CN-D110E
- S ビデオコード : VC-S110E
- コンポーネントビデオコード : VX-D115E （ピンプラグ× 3）
VX-DS120 （D プラグ）
- BNC プラグ変換アダプター : VZ-90
- 接続コード : CN-120A (モノラルミニプラグ)

・別売りアクセサリーは、お買い上げの販売店でお求めください。

保証とアフターサービス

保証書（別添）

保証書は、お買い上げの販売店よりお受け取りください。「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、記載内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げの日から1年間

補修用性能部品の最低保有期間

この機器の補修用性能部品の
最低保有期間は、製造打切り後8年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、**お買い上げの販売店**にご相談ください。

ご転居等で、保証書記載のお買い上げ販売店にご依頼になれない場合には、「ビクターサービス窓口案内」（66ページ）をご覧のうえ最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

修理を依頼されるときは　出張修理

64ページの「故障かな？と思う前に」に従ってお調べください。それでもなお異常のあるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。このとき不具合の発生したディスクなどのメディアもご用意ください。

保　証　期　間　中　は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、お客様のご要望により修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　名	DVDプレーヤー
型　名	XV-P300
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	付近の目印等も併せてお知らせください
お　名　前	
電話番号	
訪問ご希望日	

便利メモ	お買い上げ店名	☎（　　）　-

修 理 料 金 の 仕 組 み

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。

＋

部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

＋

出張料	製品のある場所へ技術者を派遣するための費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

お願い

- 本機の故障または不具合等によりディスクの再生などにおいて利用の機会を逸したたため発生した損害等の付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

ビクターサービス窓口案内 （ビクターサービスエンジニアリング株式会社）

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご相談ください

ご転居等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

都府県名	窓口名	TEL	〒	所在地
北海道				
北海道	札幌 S.C.	(011)898-1180	004-0005	札幌市厚別区厚別東5条1-2-29
	旭川 S.C.	(0166)61-3659	070-8012	旭川市神居二条3-2-15
	北見 S.S.	(0157)25-8557	090-0037	北見市山下町4-7-19
	釧路 S.S.	(0154)24-0797	080-0005	釧路市松浦町3番3号
	帯広 S.S.	(0155)24-4493	080-0806	帯広市東六条南12-11
	函館 S.S.	(0138)52-5324	040-0001	函館市五稜郭町4-16函館あおば生命ビル1F
東北				
青森	青森 S.C.	(017)723-2261	030-0844	青森市桂木4-6-17
	八戸 S.S.	(0178)44-4521	031-0804	八戸市青葉2-21-2
	弘前 S.S.	(0172)28-0165	036-8084	弘前市高田1-13-1
岩手	盛岡 S.C.	(019)637-0121	020-0835	盛岡市津志田9地割24-1
	水沢 S.S.	(0197)22-2773	023-0815	水沢市天文台通り3-12
秋田	秋田 S.C.	(018)824-3189	010-0953	秋田市山王中園町4-1
	大館 S.S.	(0186)43-0980	017-0874	大館市美園町5-6
	横手 S.S.	(0182)32-8873	013-0064	横手市赤坂字大道向3-6
宮城	仙台 S.C.	(022)287-0151	984-0011	仙台市若林区六丁の目西町7-13
	石巻 S.S.	(0225)94-7711	986-0853	石巻市門脇字四番谷地8-18
山形	山形 S.C.	(023)642-0279	990-2412	山形市松山3-12-18
	酒田 S.S.	(0234)26-7145	998-0842	酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡山 S.C.	(024)952-6331	963-0205	郡山市堤1-3
	いわき S.S.	(0246)28-4991	970-8034	いわき市平上荒川字桜町19-4
	会津若松 S.S.	(0242)38-1355	965-0831	会津若松市表町1-44ハイツシンフォニー101
	福島 S.S.	(024)553-9437	960-0103	福島市本内字南原26-1
関東・甲信越				
新潟	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(025)241-4003	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	新潟 S.C.	(025)242-3431	950-0084	新潟市明石1-2-19
	長岡 S.S.	(0258)24-8391	940-0012	長岡市下下条2-1366-1
	上越 S.S.	(0255)45-1734	942-0081	上越市五智1-11
長野	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(026)221-7607	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	長野 S.C.	(026)221-6583	380-0913	長野市川合新田962-1
	松本 S.S.	(0263)25-9165	390-0828	松本市庄内2-4-21
群馬	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(027)255-5982	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	前橋 S.C	(027)255-5921	371-0854	前橋市大渡町1-19-1
栃木	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(028)635-2938	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	宇都宮 S.C	(028)638-1639	321-0953	宇都宮市東宿郷3-5-22
茨城	土浦 S.C.	(0298)21-8756	300-0813	土浦市富士崎1-10-1
	水戸 S.S.	(029)246-1560	310-0836	水戸市元吉田町1077
山梨	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(055)227-5773	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	甲府 S.S.	(055)237-4016	400-0864	甲府市湯田2-11-5
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	千葉 S.C.	(043)246-2588	261-0001	千葉市美浜区幸町2-1-1
	柏 S.C.	(0471)75-4322	277-0863	柏市豊四季512-10-67
	浦安 S.S.	(047)353-6189	279-0001	浦安市当代島2-13-27
東京	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	本郷 S.C.	(03)5684-8254	113-0033	文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル1F
	秋葉原 S.S	(03)3251-2128	101-0021	千代田区外神田1-6-6
	練馬 S.C.	(03)3993-7520	176-0014	練馬区豊玉南1-19-1
	大田 S.C.	(03)3727-9385	145-0062	大田区北千束2-20-6
	八王子 S.C.	(0426)46-6914	192-0045	八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	首都圏メンテナンスセンター	(03)3874-5231	110-0003	台東区根岸5-4-3
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大宮 S.C.	(048)654-5241	330-0037	さいたま市東大成町2-658-1
	熊谷 S.S.	(048)553-5105	361-0057	行田市城西2-7-39ツインハイツ石山B
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	横浜 S.C.	(045)651-0403	231-0028	横浜市中区翁町1-3-1
	川崎 S.C.	(044)975-1879	216-0024	川崎市宮前区南平台3-2（第2石原ビル）
	平塚 S.C.	(0463)36-2160	254-0065	平塚市南原2-4-5
	相模原 S.C	(042)776-2052	229-0004	相模原市古淵3-7-4

都府県名	窓口名	TEL	〒	所在地
東海・北陸				
静岡	静岡 S.C.	(054)282-4141	422-8006	静岡市曲金6-5-28
	沼津 S.S.	(0559)22-1557	410-0041	沼津市筒井町6-5
	浜松 S.S.	(053)421-3441	435-0041	浜松市北島町785
愛知	名古屋 S.C.	(0568)25-3235	481-0041	西春日井郡西春町九之坪鴨田121-1
	三河 S.C.	(0564)51-5931	444-0833	岡崎市桂曙3-10-12
	豊橋 S.S.	(0532)64-0815	440-0853	豊橋市佐藤5-19-1
岐阜	岐阜 S.S.	(058)274-1947	500-8367	岐阜市宇佐南3-1-28
三重	三重 S.S.	(0593)52-0841	510-0076	四日市市堀木2-15-2
	津 S.S.	(059)229-7780	514-0815	津市大字藤方485-18
富山	富山 S.C.	(076)425-2397	939-8211	富山市二口町四丁目1-3
石川	金沢 S.C.	(076)269-4821	921-8062	金沢市新保本四丁目65-17
福井	福井 S.S.	(0776)53-6916	910-0843	福井市西開発3-211
近畿				
滋賀	滋賀 S.S.	(077)582-5812	524-0033	守山市浮気町268
京都	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	京都 S.C.	(075)644-0247	612-8401	京都市伏見区深草下川原町31-1
京都北部	福知山 S.S.	(0773)22-8664	620-0059	福知山市厚東町145-2
奈良	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	奈良 S.S.	(0744)24-6271	634-0007	橿原市葛本町834-2
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	大阪南 S.C.	(06)6768-5489	543-0028	大阪市天王寺区小橋町10-16
	堺 S.C.	(0722)54-2881	591-8032	堺市百舌鳥梅町3丁目21-2 伊助ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	大阪メンテナンスセンター	(06)6304-6715	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	和歌山 S.S.	(073)472-6799	640-8323	和歌山市太田430-8
	田辺 S.S.	(0739)22-9976	646-0031	田辺市湊1581-12
兵庫中東部	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	神戸 S.C.	(078)252-0562	651-0086	神戸市中央区磯上通3-2-16
兵庫西部	姫路 S.S.	(0792)34-3833	670-0975	姫路市中地南町11-1
中国				
岡山	岡山 S.C.	(086)243-1566	700-0927	岡山市西古松西町8-23
広島	広島 S.C.	(082)243-9839	730-0825	広島市中区光南3-9-17
	福山 S.S.	(0849)31-6984	721-0973	福山市南蔵王町3-5-15
山口	山口 S.C.	(083)973-3708	754-0022	吉敷郡小郡町花園町5-28
	徳山 S.S.	(0834)27-1331	745-0042	徳山市野上町2-35
	下関 S.S.	(0832)51-1040	751-0852	下関市熊野町2-14-23
島根	山陰ビクター販売(株)サービスセンター（松江・米子担当）	(0852)31-8900	690-0823	松江市学園1-16-39
	出雲営業所サービス係	(0853)21-4611	693-0001	出雲市今市町854
	浜田営業所サービス係	(0855)22-1584	697-0023	浜田市長沢町671-1
鳥取	鳥取営業所サービス係	(0857)23-2151	680-0911	鳥取市千代水1丁目22-1
四国				
香川	高松 S.C.	(087)866-1200	761-8057	高松市田村町205-1
徳島	徳島 S.C.	(088)622-7387	770-8052	徳島市沖浜2-37
高知	高知 S.S.	(088)882-0546	780-8122	高知市高須新町4-143
愛媛	松山 S.C.	(089)923-0372	791-8015	松山市中央1-4-12
	宇和島 S.S.	(0895)20-1018	798-0087	宇和島市坂下津甲407-40
九州・沖縄				
福岡	福岡 S.C.	(092)-431-1261	812-0011	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米 S.S	(0942)-39-3495	830-0038	久留米市西町字神浦1-1192
	北九州 S.C.	(093)921-3981	802-0064	北九州市小倉北区片野2-15-2
長崎	長崎 S.C.	(095)862-5522	852-8021	長崎市城山町9-13
	佐世保 S.S	(0956)33-5568	857-1166	佐世保市木風町1467-2
大分	大分 S.S.	(097)543-1422	870-0882	大分市大道町4-1-2
熊本	熊本 S.C.	(096)353-4536	861-4101	熊本市近見町8-1-10
宮崎	宮崎 S.S.	(0985)24-5401	880-0032	宮崎市霧島町3-59
	延岡 S.S	(0982)35-7707	882-0857	延岡市惣領町24-3
鹿児島	鹿児島 S.C.	(099)282-8818	890-0034	鹿児島市田上七丁目9-8
沖縄	沖縄 S.C.	(098)898-3631	901-2224	沖縄県宜野湾市真志喜1-13-16

（平成13年7月現在）

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。 0701

●略号について S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。

言語コード一覧

字幕や音声の言語は、言語コードで表示されることがあります。表示された言語コードから言語名を知ることができます。以下に言語コードと言語名の対応表を示します。

AA	アファル語
AB	アブバジア語
AF	アフリカーンス語
AM	アムハラ語
AR	アラビア語
AS	アッサム語
AY	アイマラ語
AZ	アゼルバイジャン語
BA	バシキール語
BE	ベラルーシ語
BG	ブルガリア語
BH	ビハーリー語
BI	ビスラマ語
BN	ベンガル語、バングラ語
BO	チベット語
BR	ブルトン語
CA	カタロニア語
CO	コルシカ語
CS	チェコ語
CY	ウェールズ語
DA	デンマーク語
DZ	ブータン語
EL	ギリシャ語
EO	エスペラント語
ET	エストニア語
EU	バスク語
FA	ペルシャ語
FI	フィンランド語
FJ	フィジー語
FO	フェロー語
FY	フリジア語
GA	アイルランド語
GD	スコットランドゲール語
GL	ガルシア語
GN	グアラニ語
GU	グジャラード語
HA	ハウサ語
HI	ヒンディー語
HR	クロアチア語
HU	ハンガリー語
HY	アルメニア語
IA	国際語
IE	国際語

IK	イヌピック語
IN	インドネシア語
IS	アイスランド語
IW	ヘブライ語
JI	イディッシュ語
JW	ジャワ語
KA	グルジア語
KK	カザフ語
KL	グリーンランド語
KM	カンボジア 語
KN	カンナダ語
KO	韓国（朝鮮）語
KS	カシミール語
KU	クルド語
KY	キルギス語
LA	ラテン語
LN	リンガラ語
LO	ラオス語
LT	リトアニア語
LV	ラトビア語、レット語
MG	マダガスカル語
MI	マオリ語
MK	マケドニア語
ML	マラヤーラム語
MN	モンゴル語
MO	モルダビア語
MR	マラータ語
MS	マライ（マレー）語
MT	マルタ語
MY	ミャンマー語
NA	ナウル語
NE	ネパール語
NL	オランダ語
NO	ノルウェー語
OC	プロバンス語
OM	（アフォン）オロモ語
OR	オリヤー語
PA	パンジャブ語
PL	ポーランド語
PS	パシュトー語
PT	ポルトガル語
QU	ケチュア語
RM	ラエティ - ロマン語

RN	キルンディ語
RO	ルーマニア語
RU	ロシア語
RW	キニヤルワンダ語
SA	サンスクリット語
SD	シンド語
SG	サンド語
SH	セルボアクロアチア語
SI	シンハラ語
SK	スロバキア語
SL	スロベニア語
SM	サモア 語
SN	ショナ語
SO	ソマリ語
SQ	アルバニア語
SR	セルビア語
SS	シスワティ語
ST	セストゥ語
SU	スンダ語
SV	スウェーデン語
SW	スワヒリ語
TA	タミール語
TE	テルグ語
TG	タジク語
TH	タイ語
TI	ティグリニャ語
TK	トゥルクメン語
TL	タガログ語
TN	セツワナ語
TO	トンガ語
TR	トルコ語
TS	ツォンガ語
TT	タタール語
TW	トウィ語
UK	ウクライナ語
UR	ウルドゥー語
UZ	ウズベク語
VI	ベトナム語
VO	ヴラピュク語
WO	ウォロフ語
XH	コーサ語
YO	ヨルバ語
ZU	ズール語

カントリーコード一覧

パレンタルロックの画面で表示されるカントリーコードの一覧表です。

AD	Andorra
AE	United Arab Emirates
AF	Afghanistan
AG	Antigua and Barbuda
AI	Anguilla
AL	Albania
AM	Armenia
AN	Netherlands Antilles
AO	Angola
AQ	Antarctica
AR	Argentina
AS	American Samoa
AT	Austria
AU	Australia
AW	Aruba
AZ	Azerbaijan
BA	Bosnia and Herzegovina
BB	Barbados
BD	Bangladesh
BE	Belgium
BF	Burkina Faso
BG	Bulgaria
BH	Bahrain
BI	Burundi
BJ	Benin
BM	Bermuda
BN	Brunei Darussalam
BO	Bolivia
BR	Brazil
BS	Bahamas
BT	Bhutan
BV	Bouvet Island
BW	Botswana
BY	Belarus
BZ	Belize
CA	Canada
CC	Cocos (Keeling) Islands
CF	Central African Republic
CG	Congo
CH	Switzerland
CI	Côte d'Ivoire
CK	Cook Islands
CL	Chile

CM	Cameroon
CN	China
CO	Colombia
CR	Costa Rica
CU	Cuba
CV	Cape Verde
CX	Christmas Island
CY	Cyprus
CZ	Czech Republic
DE	Germany
DJ	Djibouti
DK	Denmark
DM	Dominica
DO	Dominican Republic
DZ	Algeria
EC	Ecuador
EE	Estonia
EG	Egypt
EH	Western Sahara
ER	Eritrea
ES	Spain
ET	Ethiopia
FI	Finland
FJ	Fiji
FK	Falkland Islands (Malvinas)
FM	Micronesia (Fedelated States of)
FO	Faroe Islands
FR	France
FX	France, Metropolitan
GA	Gabon
GB	United Kingdom
GD	Grenada
GE	Georgia
GF	French Guiana
GH	Ghana
GI	Gibraltar
GL	Greenland
GM	Gambia
GN	Guinea
GP	Guadeloupe
GQ	Equatorial Guinea

GR	Greece
GS	South Georgia and the South Sandwich Islands
GT	Guatemala
GU	Guam
GW	Guinea-Bissau
GY	Guyana
HK	Hong Kong
HM	Heard Island and McDonald Islands
HN	Honduras
HR	Croatia
HT	Haiti
HU	Hungary
ID	Indonesia
IE	Ireland
IL	Israel
IN	India
IO	British Indian Ocean Territory
IQ	Iraq
IR	Iran (Islamic Republic of)
IS	Iceland
IT	Italy
JM	Jamaica
JO	Jordan
JP	Japan
KE	Kenya
KG	Kyrgyzstan
KH	Cambodia
KI	Kiribati
KM	Comoros
KN	Saint Kitts and Nevis
KP	Korea, Democratic People's Republic of
KR	Korea, Republic of
KW	Kuwait
KY	Cayman Islands
KZ	Kazakhstan
LA	Lao People's Democratic Republic
LB	Lebanon
LC	Saint Lucia

LI	Liechtenstein
LK	Sri Lanka
LR	Liberia
LS	Lesotho
LT	Lithuania
LU	Luxembourg
LV	Latvia
LY	Libyan Arab Jamahiriya
MA	Morocco
MC	Monaco
MD	Moldova, Republic of
MG	Madagascar
MH	Marshall Islands
ML	Mali
MM	Myanmar
MN	Mongolia
MO	Macau
MP	Northern Mariana Islands
MQ	Martinique
MR	Mauritania
MS	Montserrat
MT	Malta
MU	Mauritius
MV	Maldives
MW	Malawi
MX	Mexico
MY	Malaysia
MZ	Mozambique
NA	Namibia
NC	New Caledonia
NE	Niger
NF	Norfolk Island
NG	Nigeria
NI	Nicaragua
NL	Netherlands
NO	Norway
NP	Nepal
NR	Nauru
NU	Niue
NZ	New Zealand
OM	Oman
PA	Panama

PE	Peru
PF	French Polynesia
PG	Papua New Guinea
PH	Philippines
PK	Pakistan
PL	Poland
PM	Saint Pierre and Miquelon
PN	Pitcairn
PR	Puerto Rico
PT	Portugal
PW	Palau
PY	Paraguay
QA	Qatar
RE	Réunion
RO	Romania
RU	Russian Federation
RW	Rwanda
SA	Saudi Arabia
SB	Solomon Islands
SC	Seychelles
SD	Sudan
SE	Sweden
SG	Singapore
SH	Saint Helena
SI	Slovenia
SJ	Svalbard and Jan Mayen
SK	Slovakia
SL	Sierra Leone
SM	San Marino
SN	Senegal
SO	Somalia
SR	Suriname
ST	Sao Tome and Principe
SV	El Salvador
SY	Syrian Arab Republic
SZ	Swaziland
TC	Turks and Caicos Islands
TD	Chad
TF	French Southern Territories
TG	Togo
TH	Thailand

TJ	Tajikistan
TK	Tokelau
TM	Turkmenistan
TN	Tunisia
TO	Tonga
TP	East Timor
TR	Turkey
TT	Trinidad and Tobago
TV	Tuvalu
TW	Taiwan, Province of China
TZ	Tanzania, United Republic of
UA	Ukraine
UG	Uganda
UM	United States Minor Outlying Islands
US	United States
UY	Uruguay
UZ	Uzbekistan
VA	Vatican City State (Holy See)
VC	Saint Vincent and the Grenadines
VE	Venezuela
VG	Virgin Islands (British)
VI	Virgin Islands (U.S.)
VN	Viet Nam
VU	Vanuatu
WF	Wallis and Futuna Islands
WS	Samoa
YE	Yemen
YT	Mayotte
YU	Yugoslavia
ZA	South Africa
ZM	Zambia
ZR	Zaire
ZW	Zimbabwe

主な仕様

一般

再生可能ディスク	DVD ビデオ、ビデオ CD、オーディオ CD
映像信号方式	EIAJ 標準、NTSC カラーテレビジョン方式（525i/525P 選択可）
電源	AC 100 V (50 Hz/60 Hz)
消費電力	電源 入時 15 W (電気用品取締法基準) 切（STANDBY）時 1.5W
質量	2.6 kg
外形寸法	(幅) 435 mm × (高さ) 73 mm × (奥行) 267.5 mm

ビデオ出力

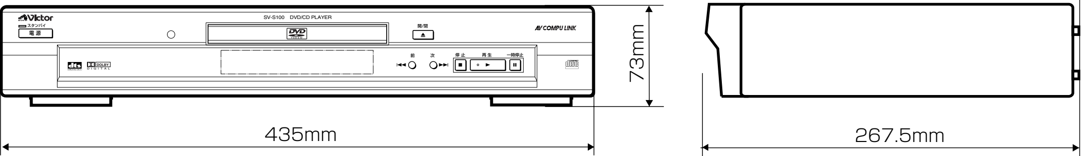
VIDEO OUT （コンポジット映像出力）	1.0 V(p-p) / 75 Ω
S1-VIDEO （S1 映像出力）	Y 出力 ：1.0 V(p-p) / 75 Ω C 出力 ：0.286 V(p-p) / 75 Ω
COMPONENT、D_1/D_2 （コンポーネント映像出力）	Y 出力 ：1.0 V(p-p) / 75 Ω C_B/P_B、C_R/P_R 出力 ：0.7 V(p-p) / 75 Ω
水平解像度	500 本以上

オーディオ出力

ANALOG （アナログ音声出力）	2.0 Vrms / 10 k Ω
DIGITAL （デジタル音声出力） OPTICAL（光） COAXIAL（同軸）	 －21dBm ～－15 dBm (ピーク) 0.5 V(p-p)/75 Ω

オーディオ特性

周波数特性	CD (サンプリング周波数 44.1 kHz) :2 Hz～20 kHz DVD (サンプリング周波数 48 kHz) :2 Hz～22 kHz* * DTS、ドルビーデジタルのビットストリーム信号は 2 Hz～20 kHz DVD (サンプリング周波数 96 kHz/88.2kHz) :2 Hz～44 kHz
ダイナミックレンジ	16 ビット ： 98 dB以上 20 ビット /24 ビット ：106 dB 以上 (EIAJ)
ワウ・フラッター	測定限界（± 0.002% W.PEAK）以下 (EIAJ)
全高調波ひずみ率	0.002% 以下(EIAJ)



- 付属品は、3 ページをご覧ください。
- 本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。
- EIAJ は、日本電子機械工業会規格の測定方法による数値です。

用語解説

記号

DTS (Digital Theater System)

新しいサラウンド方式で、チャンネル数はドルビーデジタルと同じ5.1 チャンネルです。

音声圧縮率を低くしたフォーマットであるため、音に厚みのある高S／N感の再生が可能です。[☞ 23 ページ]

ムービング　ピクチャ　エキスパート　グループ
MPEG（Moving Picture Experts Group）音声圧縮方式

MPEG-2オーディオは、MPEGオーディオエキスパートグループにより開発された高効率圧縮技術を用いたデジタルマルチチャンネルオーディオの国際規格の名称です。最大 7.1 チャンネルまで拡張されています。MPEG-1 オーディオは、最大２チャンネルの音声を圧縮する方式です。

MP3 ディスク

MP3は、音声情報圧縮の国際規格で「MPEG-1 Audio Layer-3」の略です。元の音声データの音質を大きく損なうことなく約1/10に圧縮することができるシステムです。このMP3フォーマットで記録した CD-R/CD-RW ディスクを、本機では「MP3 ディスク」と呼んでいます。

NTSC

日本やアメリカで採用されているテレビ／ビデオ方式です。ヨーロッパなどでは別の方式（PAL あるいは SECAM）を採用しています。フレーム数や走査線数が異なるため、方式間の互換性はありません。

あ

アスペクト比

表示される映像の縦横比のことです。通常のテレビの横：縦の比は４：３、ワイドテレビおよび HD テレビの横：縦は 16：９の比率をもっています。

インターレーススキャン方式（飛び越し走査）

映像の各フレーム情報を半分に「間引き」して１つのフィールド情報とし、連続した２つのフィールドを使って１つの画面（フレーム）を作るビデオ方式。従来のテレビ／ビデオで使われています。[☞ 21 ページ]

エンコード

信号を、ある規則に合わせて符号化することをいいます。

か

カーソル

一般的には数字などの挿入ポイントのことをいいます。

片面ディスク

DVDのディスクのうち、信号読み出し面が片面のみのものをいいます。片面１層と片面２層があります。

コンポジット

輝度信号と色信号を周波数多重技術で複合した映像信号と、色の基準となるバースト信号、同期信号を組み合わせた複合映像信号のことです。

コンポーネント

光の３原色からなる映像信号を再現するために必要な情報の一部を、各々別の信号線で伝送するビデオ信号方式。G/B/R や Y/CB/CR などの信号形式があります。

さ

再生可能地域管理（リージョン番号）

あらかじめ設定された地域についてのみ、再生を可能とするシステムのことです。世界各国を８つの地域に分け、これに各地域番号（リージョン番号）をつけ識別します。ディスクに設定された再生可能地域番号の中に、プレーヤーに付与された地域番号と合致する番号があれば、プレーヤーはこのディスクを再生できます。

サラウンド

視聴者の周囲にスピーカーを複数配置し、臨場感あふれる立体音場を作りだすシステムをいいます。

サンプリング周波数

アナログ信号からデジタル信号に変換する際の標本化周波数のこと。１秒間に何回の割合で、もとのアナログ信号を標本化し、デジタル信号に変換するかを数値で表したもの。

色差信号

G/B/R のそれぞれの信号から輝度信号（Y 信号）を引いた信号で、色相と色の濃さを表す信号をいいます。

スクイーズ映像

16：９映像データを横方向にのみ一様に縮めて（スクイーズ）４：３画像データサイズにし、ディスクに記録する方法をいいます。これをテレビやモニター側で左右を伸長して本来の正しい比率に戻します。

た

タイトル

DVD ビデオの構成単位。一般に DVD ビデオはいくつかの「タイトル」で構成され、各タイトル内には複数のチャプターがあります。[☞ 19 ページ]

ダウンミックス

サラウンド方式（3チャンネル以上）で記録されたマルチチャンネル音声トラックを、ステレオ2チャンネル音声に変換して再生する機能をいいます。一般には、プログラムチャンネル数よりも、スピーカーの数が少ないときに行なわれるミキシングのことです。

チャプター

DVD ビデオのタイトル内を区切った単位です。[☞ 19 ページ]

デコード

ある規則に合わせて符号化（エンコード）された信号を、もとの原信号に戻す操作をいいます。

転送レート

１秒間に送りだすデジタルデータのデータ量のことで、MPEG-2 の圧縮には可変転送レート方式を採用しています。

ドルビーデジタル

家庭用デジタルサラウンド方式として開発されたドルビーデジタル（AC-3）方式のことをいいます。最大フロント３チャンネル、リア2チャンネルおよびサブウーハー0.1チャンネルで構成される5.1チャンネルが特長です。

用語解説 （つづき）

は

パレンタルコントロール機能

映像および音声の内容が視聴者に対して適切なものかどうか（たとえば教育上好ましくないシーン等に対して）を、あらかじめソフトに設定されたパレンタルレベルと、プレーヤーに視聴者が設定した再生可能パレンタルレベルの上限とを照らし合わせ、プレーヤーが自動的に判断し再生する機能。

ビットストリーム

各種エンコード作業によって作成されたデジタルデータをさします。

プレイバックコントロール（PBC）

ビデオ CD（バージョン 2.0）に記録されている、再生をコントロールするための信号。PBC対応ビデオCDに記録されているメニュー画面を使って、対話型のソフトや検索機能を持ったソフトなどが楽しめます。

プログレッシブスキャン方式（順次走査）

従来のインターレーススキャン方式のように映像の各フレーム情報を「間引き」せず、各フィールドごとに完全な映像を持つビデオ方式。映像情報が従来方式に比べて倍になるため、チラツキの少ない高密度の映像が得られます。[☞ 22 ページ]

ま

マルチアングル

一つのタイトルの中に、同一時間で進行する複数の場面を収録し、これをユーザーの操作により切り換えて視聴できるようにした機能。

マルチストーリー

一つのタイトルに複数のストーリー展開を持たせた構成。あらかじめメニューなどでストーリーの選択を行なったり、分岐点ごとに設けられたタイトル内のメニューで分岐先を次々に選ぶなどの方法で再生する構成が一般的です。

マルチチャンネル

DVDビデオでは、一本の音声トラックで一つの音場を構成するように定められていますが、このうち３つ以上のチャンネルをもった音声トラックの構成をいいます。

マルチランゲージ

一つのタイトルが複数の言語に対応して制作されていることを一般的にマルチランゲージといいます。

メニュー

DVDビデオに複数記録されたタイトルの映像や音声、字幕、マルチアングル等を選ぶために用意された画面をいいます。

ら

リニア PCM 音声

アナログ音声信号をデジタル信号に変換して扱う方式の一つで、変換に際して圧縮を全くしない方式。

両面ディスク

DVDのディスクのうち、信号読み出し面が両側のもの。反対の面を再生するには、ディスクを裏返す必要があります。

レターボックス

４:３テレビに映画などの横長の画像を欠けることなく映し出すために画面の上下に黒などの帯を付け、画面中央部にこの横長画像を映し出す手法。画面が文字通り郵便受けに似ていることから名付けられたものです。

用語索引

ボタンについては、10 ～ 13 ページの「各部の名前」をご覧ください。

ア

カ

サ

タ

ハ

マ

ラ

英字・数字

メモ

XV-P300　DVDビデオプレーヤー　取扱説明書

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記のご相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 **ビクターサービスエンジニアリング株式会社**	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 **お客様ご相談センター**
66 ページの「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。	**東京 ☎(03) 5684-9311** 〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目14-7 ビクター本郷ビル **大阪 ☎(06) 6765-4161** 〒543-0028 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル

ビクターホームページ　http://www.jvc-victor.co.jp/



JVC

日本ビクター株式会社

パーソナル＆モビールネットワークビジネスユニット
〒242-8514　神奈川県大和市下鶴間1644　☎ダイヤルイン 046-278-1743

0401MOMUBNJSC